

**実地・面接用**

**大学番号：私立025**

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

**認可**

国際医療福祉大学 医学部 医学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学  
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務部長 コミネ 小峰 タツヤ 辰也

電話番号 0476-20-7703

（夜間） 0476-20-7703

F A X 0476-28-1159

e-mail narita\_gakumu@iuhw.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 医学部

＜医学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	107
7. その他全般的事項	119

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

## (2) 大学名

国際医療福祉大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( タカギ クニノリ ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	( オオトモ クニ ) 大友 邦 (平成28年4月)		
学部長	( キタムラ キヨシ ) 北村 聖 (平成29年4月)	( カワカミ ユタカ ) 河上 裕 (平成31年4月)	自己都合による退職のための変更(元)
学科長等		( ヨシダ モトフミ ) 吉田 素文 (平成29年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学部 医学科 学士（医学）	医学関係	6年	140人	— 年次人	840人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	140 (—) [20]	—	140 (—) [20]	—	140 (—) [20]	—	140 (—) [20]	—	1.00倍	—	
志願者数	3,478 (—) [85]	— (—) [—]	3,453 (—) [99]	— (—) [—]	4,192 (—) [98]	— (—) [—]	4,001 (—) [102]	— (—) [—]			
受験者数	3,356 (—) [83]	— (—) [—]	3,346 (—) [94]	— (—) [—]	4,058 (—) [87]	— (—) [—]	3,882 (—) [95]	— (—) [—]			
合格者数	284 (—) [21]	— (—) [—]	341 (—) [21]	— (—) [—]	375 (—) [20]	— (—) [—]	413 (—) [20]	— (—) [—]			
B 入学者数	140 (—) [20]	— (—) [—]	140 (—) [20]	— (—) [—]	140 (—) [20]	— (—) [—]	140 (—) [20]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [ 20 ] ( - )	- [ - ] ( - )	140 [ 20 ] ( - )	- [ - ] ( - )	145 [ 20 ] ( 5 )	- [ - ] ( - )	152 [ 21 ] ( 12 )	- [ - ] ( - )			
2年次			140 [ 20 ] ( - )	- [ - ] ( - )	133 [ 20 ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	132 [ 19 ] ( 4 )	- [ - ] ( - )			
3年次					138 [ 20 ] ( - )	- [ - ] ( - )	134 [ 20 ] ( 2 )	- [ - ] ( - )			
4年次							136 [ 18 ] ( - )	- [ - ] ( - )			
計	140 [ 20 ] ( - )		280 [ 40 ] ( - )		416 [ 60 ] ( 6 )		554 [ 78 ] ( 18 )				

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	140 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	280 人	3 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(3名)
令和元年度	417 人	3 人	平成29年度	2 人	1 人	除籍(死亡)(1名)、[成績不振(1名)]
			平成30年度	1 人	1 人	[進路変更(1名)]
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	554 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合計		6 人		6 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{280} = \boxed{1.07} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{417} = \boxed{0.71} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{554} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 医学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】											【令和2年度】															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合教育科目	死生学	1①		1								兼1	死生学	123①		1									兼1	
	医学史	1①		1								兼1	医学史	123①		1		3							兼3	
	芸術政策論	1①		1								兼1	芸術政策論	123①		1										兼1
	日本の近現代史	1①		1								兼1	日本の近現代史	123①		1										兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③		2		10	2						医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③		2		8				1				
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②		1		8	2						医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②		1		7				1				
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①		1		8	2						医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①		1		7				1				
	法と医療	1①		1								兼1	法と医療	1①		1										兼1
	社会保障と医療制度	1①		1								兼2	社会保障と医療制度	1①		1										兼1
	英字新聞で読む社会学・政治学	1①			1	2						兼1	英字新聞で読む社会学・政治学	123①			1	1								兼1
	国際機関論	1①		1								兼1	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～ 国際機関論(未開講)	123①			1									兼1
	持続可能な発展	1①		1								兼1	国際機関論(未開講)	1①		1										兼1
	異文化コミュニケーション	1①		1								兼1	持続可能な発展	1①		1										兼1
	国際関係論	1①		1								兼1	異文化コミュニケーション	1①		1										兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②		1		5		6	2				国際関係論	1①		1										兼1
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①		1		4		5	1				経済成長をめぐる世界の諸問題	123①			1									兼1
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①		1		3		5	1				国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②		1		5		2	1					兼1
	数学	1①			1							兼1	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①		1		4		1	1					兼1
	生物学	1①			1	1						兼1	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①		1		3		2	1					兼1
	化学	1①			1							兼1	数学	123①			1									兼1
	物理学	1①			1							兼1	生物学	123①			1	2								兼1
	医療生物学	1①			1							兼1	化学	123①			1			1						兼1
	医療化学	1①			1							兼1	物理学	123①			1									兼1
	医療物理学・医用工学	1①			1							兼1	医療生物学	1①			1									兼1
	統計学	1③			1							兼1	医療化学	1①			1			1						兼1
	英語Ⅰ(入門)	1①			2	2	2	3	1			兼1	医療物理学・医用工学	1①			1									兼1
	英語Ⅱ(応用)	1①②③			6	2	2	3	1			兼1	統計学	1③			1									兼1
	英語コミュニケーションA(入門)	1①②③			6	1	1	3				兼1	英語Ⅰ(入門)	1①			2	3	1	5	3					兼1
英語コミュニケーションB(実践)	1①②③			6	1	1	3				兼1	英語Ⅱ(応用)	1①②③			6	3	1	5	3					兼1	
ドイツ語入門(会話含む)	1①			1							兼1	英語コミュニケーションA(入門)(未開講)	1①②③			6	2	1	5	3					兼1	
中国語入門(会話含む)	1①			1							兼1	英語コミュニケーションB(実践)(未開講)	1①②③			6	2	1	5	3					兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①			1							兼1	ドイツ語入門(会話含む)(未開講)	1①			1									兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①			1							兼1	中国語入門(会話含む)(未開講)	1①			1									兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①			1							兼1	韓国語入門(会話含む)(未開講)	1①			1									兼1	
タイ語入門(会話含む)	1①			1							兼1	フランス語入門(会話含む)(未開講)	1①			1									兼1	
				1							兼1	スペイン語入門(会話含む)(未開講)	1①			1									兼1	
				1							兼1	タイ語入門(会話含む)(未開講)	1①			1									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1
医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼1	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼1	
小計(57科目)	-											
専門 教育 科目 (専門 基礎 科目)	医学英語	2 ①②	8			1	3	3	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			4	2		2			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			3	3		1			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			3	3		1			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			1		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1		1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1 ②	2			2						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			1		1				
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			3	1		1			兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			5		2				
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			5		2				
	発生・出産	1 ②	2			4						
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			8	2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目	ベトナム語入門(会話含む) (未開講)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む) (未開講)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文) (未開講)	1 ①			1							兼3
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) (未開講)	1 ①			1							兼3
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1							兼3
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ①			1							兼3
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ①			1							兼4
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1							兼2
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼2
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1 ①			1							兼2
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ①			1							兼4
医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼3	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼4	
日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1	
日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1	
日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1	
日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼3	
小計(63科目)	-											
専門 教育 科目 (専門 基礎 科目)	医学英語	2 ①②	8			2	1	2	2			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①②	1			10	1	1	3			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			4	1		2			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			4	1	1	2			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			2		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1		1	1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1 ②	2			3						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			2		1	1			
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			3		1	1			兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			6						
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			6		1	3			
	発生・出産	1 ②	2			4	1		1			
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			9	4	2	1			





【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	死生学	1 ①		1								兼1
	医学史	1 ①		1		5	1					兼1
	芸術政策論	1 ①		1								兼1
	日本の近現代史	1 ①		1								兼1
	医療プロフェッショナル ズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	1					
	医療プロフェッショナル ズムⅡ(応用)	2 ①②	1			8	1					
	医療プロフェッショナル ズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	1					
	法と医療	1 ①	1									兼1
	社会保障と医療制度	1 ①	1									兼2
	英字新聞で読む社会学・政治学	1 ②		1	2							兼1
	現代日本書～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1 ①		1								兼1
	国際機関論	1 ①		1								兼2
	持続可能な発展	1 ①		1								兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1								兼1
	国際関係論	1 ①		1								兼2
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1 ②	1			5		4	2			
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2 ①	1			4		4	1			
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3 ①	1			3		4	1			
	数学	1 ①		1								兼1
	生物学	1 ①		1	1							
	化学	1 ①		1				1				
	物理学	1 ①		1								兼1
	医療生物学	1 ①	1			1						
	医療化学	1 ①	1			1				1		
	医療物理学・医用工学	1 ①	1			1						
	統計学	1 ③	1									兼1
	英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			2	2	4	1			
	英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			2	2	4	1			
	英語コミュニケーションA(入門)	1 ①②③		6	1	1	4					兼1
	英語コミュニケーションB(実践)	1 ①②③		6	1	1	4					兼1
	ドイツ語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1
中国語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
韓国語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
フランス語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
タイ語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
ベトナム語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
ビルマ語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③		1								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	死生学	123 ①										兼1
	医学史	123 ①		1		5	1					兼2
	芸術政策論	123 ①		1								兼1
	日本の近現代史	123 ①		1								兼1
	医療プロフェッショナル ズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	1					
	医療プロフェッショナル ズムⅡ(応用)	2 ①②	1			8	1					
	医療プロフェッショナル ズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	1					
	法と医療	1 ①	1									兼1
	社会保障と医療制度	1 ①	1									兼2
	英字新聞で読む社会学・政治学	123 ①		1	1							兼2
	現代日本書～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123 ①		1								兼1
	国際機関論	1 ①		1								兼2
	持続可能な発展	1 ①		1								兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1								兼1
	国際関係論	1 ①		1								兼1
	経済成長をめぐる世界の 精問題	123 ①		1								兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1 ②	1			5	1	4	2			
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2 ①	1			5		3	1			
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3 ①	1			4	1	4	1			
	数学	123 ①		1								兼1
	生物学	123 ①		1	4							
	化学	123 ①		1				1				
	物理学	123 ①		1								兼1
	医療生物学	1 ①	1			1						
	医療化学	1 ①	1			1			1			
	医療物理学・医用工学	1 ①	1			1						
	統計学	1 ③	1									兼1
	英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			3	2	6	1			
	英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			3	2	6	1			
	英語コミュニケーションA(入門)	1 ①②③		6	2	1	6	1				兼1
	英語コミュニケーションB(実践)	1 ①②③		6	2	1	6	1				兼1
ドイツ語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
中国語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
韓国語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
フランス語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
タイ語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
ベトナム語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
ビルマ語入門(会話含む)	1 ①		1								兼1	
ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③		1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合 教育科目	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1①			1							兼4
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1①			1							兼4
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1							兼4
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1①			1							兼4
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1①			1							兼5
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1							兼3
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼3
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1①			1							兼3
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1①			1							兼5
医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼4	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼5	
小計(58科目)	-											
専門 教育科目 (専門 基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			1	3	2	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			3	3	1	1			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			3	2		1			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			3	2		1			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			1		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1		1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1②	2			2						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			1		1				
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			2	2	1	0			兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			5		2				
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			5		2				
	発生・出産	1 ②	2			4						
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			8	3	2				
	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1 ③	5			11	2	2				兼1
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2 ①	5			9	4	7	1			
器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2 ①	4			6	2						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合 教育科目	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ①			1					1		兼3
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ①			1					1		兼3
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1					1		兼3
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1					1		兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1①			1					1		兼3
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1①			1					1		兼4
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1					1		兼2
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1					1		兼2
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1①			1					1		兼2
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1①			1					1		兼4
医療福祉専門漢字	1 ②③			1					1		兼4	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1					1		兼4	
日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1	
日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1	
日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1	
日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1	
小計(63科目)	-											
専門 教育科目 (専門 基礎科目)	医学英語	2 ①②	8					2	3	2	1	
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1					11	4	1	1	兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1					5	3		1	
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1					5	3	1	1	
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3					3		1		
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2					1	1	1	1	
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1					1				
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1②	2					3				
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2					2		2		
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1					2				
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1					2	2	1		兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1					5		2		
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1					5		3	2	
	発生・出産	1 ②	2					4				
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5					9	4	2		
	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1 ③	5					13	3	2		
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2 ①	5					10	4	6	1	
器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2 ①	4					9	3	1	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義V(腎泌尿器系)	2①	3			12	1	1				兼2 兼8
	器官別統合講義VI(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			7	1	1				
	器官別統合講義VII(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			4	1					
	器官別統合講義VIII(脳神経・精神系)	2②	6			7	2					
	器官別統合講義IX(感覚器系)	2②	3			5	1	1				
	器官別統合講義X(血液系)	2②	3			3	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			2	2	1	0			
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						
	関連職種連携実習	4①		1		2						
	海外医療体験	1①			2	2				6		
小計(28科目)	-											
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			4						兼8 兼8 兼2 兼10
	感染症	2②	3			3		1	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			16		1				
	救急と集中治療	2③	1			1	1	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			5		2				
	老年医学	2③	1			3						
	社会医学I(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学II(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2						
	社会医学III(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学IV(臨床疫学・EBM)	3①	1			3						
	社会医学V(演習)	3①	2			4		1	3			
	総合臨床医学	3①	11			38	2	5	1			
	臨床診断入門	3②	14			22	2	2				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			8	1					
	総括講義	6②	15			9	1					
	臨床実習I(基礎)	4①②③	40			78	28	24	18			
臨床実習II(発展)	5①	15			78	27	24	18				
臨床実習III(専門)	5②③	25			54	12	14	11				
臨床実習IV(実践)	6①	10			123	35	34	28				
小計(20科目)	-											
合計(106科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義V(腎泌尿器系)	2①	3			14	3	2	1			兼2 兼8
	器官別統合講義VI(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8	1	1				
	器官別統合講義VII(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			6	2	2	2			
	器官別統合講義VIII(脳神経・精神系)	2②	6			19	2	1				
	器官別統合講義IX(感覚器系)	2②	3			9	1	1				
	器官別統合講義X(血液系)	2②	3			4	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			3	3	1				
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						
	関連職種連携実習	4①		1		2						
	海外医療体験	1①			2	2				7		
小計(28科目)	-											
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			8	1					兼5 兼5 兼5
	感染症	2②	3			4	1	2	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			23	3	1				
	救急と集中治療	2③	1			5	3	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			6		1				
	老年医学	2③	1			10						
	社会医学I(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学II(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			1						
	社会医学III(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学IV(臨床疫学・EBM)	3①	1			2						
	社会医学V(演習)	3①	2			3		1	2			
	総合臨床医学	3①	11			40	2	5	1			
	臨床診断入門	3②	14			23	2	2				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			9	1					
	総括講義	6②	15			8	1					
	臨床実習I(基礎)	4①②③	40			86	37	28	30			
臨床実習II(発展)	5①	15			88	36	28	30				
臨床実習III(専門)	5②③	25			62	14	18	19				
臨床実習IV(実践)	6①	10			136	47	43	47				
小計(20科目)	-											
合計(111科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	死生学	123①		1								兼1
	医学史	123①		1		4	1					兼2
	芸術政策論	123①		1								兼1
	日本の近現代史	123①		1								兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③	2			8	1					
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②	1			7	1					
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①	1			7	1					
	法と医療	1①	1									兼1
	社会保障と医療制度	1①	1									兼1
	英字新聞で読む社会学・政治学	123①		1		1						兼2
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123①		1		1						兼1
	国際機関論	1①		1								兼2
	持続可能な発展	1①		1								兼1
	異文化コミュニケーション	1①		1								兼1
	国際関係論	1①		1								兼1
	経済成長をめぐる世界の諸問題	123①		1								兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②	1			5	1	2	1			
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①	1			5		1	1			
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①	1			4	1	2	1			
	数学	123①		1								兼1
	生物学	123①		1		4						
	化学	123①		1				1				
	物理学	123①		1								兼1
	医療生物学	1①	1			1						
	医療化学	1①	1			1		1				
	医療物理学・医用工学	1①	1			1						
	統計学	1③	1									兼1
	英語Ⅰ(入門)	1①	2			3	2	5	1			
	英語Ⅱ(応用)	1①②③	6			3	2	5	1			
	英語コミュニケーションA(入門)	1①②③		6		2	1	5	1			兼1
	英語コミュニケーションB(実践)	1①②③		6		2	1	5	1			兼1
	ドイツ語入門(会話含む)	1①		1								兼1
中国語入門(会話含む)	1①		1								兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①		1								兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①		1								兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①		1								兼1	
タイ語入門(会話含む) (未開講)	1①		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む) (未開講)	1 ②③			1							
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文) (未開講)	1 ①			1			1				兼3
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) (未開講)	1 ①			1			1				兼3
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1			1				兼3
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1			1				兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1①			1			1				兼3
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1①			1			1				兼4
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1			1				兼2
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1			1				兼2
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1①			1			1				兼2
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1①			1			1				兼4
	医療福祉専門漢字	1 ②③			1			1				兼4
	医療福祉専門語彙	1 ②③			1			1				兼4
	日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1
	日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1
	日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1
	日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼3
小計(63科目)	-											
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			2	2	2	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			9	4	1	1			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			5	2		1			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			5	2	1	1			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			2		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1	1	1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1 ②	2			3						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			1		1	1			
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			2	2	1				兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			5		2				
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			5		3	2			
	発生・出産	1 ②	2			4						
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			11	4	2	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			13	3	2				
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			11	4	6	1			
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2①	4			9	3		1			
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			14	3	2	2			
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8	1	1				
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			6	3	3				
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			18	2					
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			9	1	1				
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			4	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			3	2	1				兼2
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼23
	関連職種連携実習	4①		1		2						
	海外医療体験	1①		2		1			7			
	小計(28科目)	-										
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			9						兼1
	感染症	2②	3			4		2	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			23	4	1	1			
	救急と集中治療	2③	1			6	3	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			6						
	老年医学	2③	1			11						
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			2						
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2		1				
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			2						
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4	1	2	1			
	総合臨床医学	3①	11			44	3	3	1			
	臨床診断入門	3②	14			22	2	2				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			7	1					
	総括講義	6②	15			8	1					
臨床実習Ⅰ(基礎)	4①②③	40			86	33	25	29			兼5	
臨床実習Ⅱ(発展)	5①	15			86	33	25	29			兼5	
臨床実習Ⅲ(専門)	5②③	25			59	14	20	17				
臨床実習Ⅳ(実践)	6①	10			136	44	43	44			兼5	
小計(20科目)	-											
合計(111科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【※】」による授業科目には「【臨】」、「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【平成29年度】**

- ・教育効果を考慮して、「医学史」専任教員等の配置を「兼1」から「教授5、准教授1、兼2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療プロフェッショナリズムⅠ(入門)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療プロフェッショナリズムⅡ(応用)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療プロフェッショナリズムⅢ(発展)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮して「英字新聞で読む社会学・政治学」の開講学期を「1学期」から「2学期」に変更。
- ・より専門性を考慮し、「国際機関論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅲ(発展)」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅳ(応用)」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語コミュニケーションA(入門)」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更し、「兼0」から「兼3」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語コミュニケーションB(実践)」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更し、「兼0」から「兼3」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅰ-A(作文)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅰ-B(文法・語彙)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅱ-A(作文)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅱ-B(文法・語彙)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅱ-C(発表討論)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅱ-D(専門日本語)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅲ-A(作文)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅲ-B(文法・語彙)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅲ-C(発表・討論)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「日本語Ⅲ-D(専門日本語)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「医療福祉専門漢字」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負担軽減のため、「医療福祉専門語彙」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医学英語」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、助教2、兼1」から「教授3、准教授3、講師1、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療面接・身体診察Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療面接・身体診察Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、助教1、兼1」から「教授2、准教授2、講師1、兼1」に変更。
- ・教育の充実のためなどの理由により、「器官別統合講義Ⅰ(循環器系)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授2、講師1」を「教授8、准教授3、講師2」に変更。
- ・教育を充実させるため、「器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅲ(消化器系)」の専任教員等の配置を「教授10、准教授3」から「教授9、准教授4」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授1」から「教授6、准教授2」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)」の専任教員等の配置を「教授13、講師1」から「教授12、准教授1、講師1」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))」の専任教員等の配置を「教授8、講師1」から「教授7、准教授1、講師1」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4、准教授1」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)」の専任教員等の配置を「教授9、准教授1」から「教授7、准教授2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「正常人体解剖実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1」に変更。
- ・教員の自己都合により「社会医学Ⅴ(演習)」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2」から「准教授1、助教3」に変更。
- ・教員の自己都合に伴う担当者の変更により、「総合臨床医学」の専任教員等の配置を「教授37、准教授4、講師4、助教1」から「教授38、准教授2、講師5、助教1」に変更。
- ・教育を充実させるため、「臨床診断入門」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により「症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により「総括講義」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置を「教授79、准教授30、講師24、助教20、兼8」から「教授79、准教授29、講師24、助教18、兼8」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅱ(発展)」の専任教員等の配置を「教授79、准教授29、講師24、助教20、兼8」から「教授79、准教授28、講師24、助教18、兼8」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅲ(専門)」の専任教員等の配置を「教授60、准教授13、講師14、助教11、兼1」から「教授54、准教授12、講師14、助教11、兼2」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅳ(実践)」の専任教員等の配置を「教授128、准教授39、講師36、助教30、兼9」から「教授124、准教授36、講師34、助教28、兼10」に変更。



【平成30年度】

- ・担当教員の所属の変更により、「英字新聞で読む社会学・政治学」の専任教員等の配置を「教授2、兼1」から「教授1、兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英字新聞で読む社会学・政治学」の開講学期を2学期から1学期に変更。
- ・教育の充実のため、「国際医療保健学Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」に変更。
- ・教育の充実のため、「国際医療保健学Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置のうち、「教授4、講師4、助教1」を「教授5、講師3、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「国際医療保健学Ⅲ(発展)」の専任教員等の配置を「教授3、講師4、助教1」から「教授4、准教授1、講師4、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「生物学」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授4」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療化学」の専任教員等の配置について、「講師1」を追加。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師4、助教1」から「教授3、准教授2、講師6、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅱ(実践)」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師4、助教1」から「教授3、准教授2、講師6、助教1」に変更。
- ・担当教員の交代等により、「英語コミュニケーションA(入門)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師4、兼2」から「教授2、准教授1、講師6、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の交代等により、「英語コミュニケーションB(実践)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師4、兼2」から「教授2、准教授1、講師6、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅰ-A(作文)」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅰ-B(文法・語彙)」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-A(作文)」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-B(文法・語彙)」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-C(発表討論)」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-D(専門日本語)」の専任教員等の配置を「兼5」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-A(作文)」の専任教員等の配置を「兼3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-B(文法・語彙)」の専任教員等の配置を「兼3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-C(発表・討論)」の専任教員等の配置を「兼3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-D(専門日本語)」の専任教員等の配置を「兼5」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「医療福祉専門漢字」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「医療福祉専門語彙」の専任教員等の配置を「兼5」から「講師1、兼5」に変更。
- ・教育の充実のため、「医学英語」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育の充実等のため、「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師1、助教1、兼1」から「教授11、准教授4、講師1、助教1、兼1」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療面接・身体診察Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、助教1」から「教授5、准教授3、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療面接・身体診察Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、助教1」から「教授5、准教授3、講師1、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅰ(生化学)」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授3」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)」の専任教員等の配置に、「講師1」を追加。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅳ(生理学)」の専任教員等の配置のうち、「教授2」を「教授3」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅴ(薬理学)」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」を「教授2、講師2」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅹ(病理学演習)」の専任教員等の配置のうち、「講師2」を「講師3」に、「助教0」を「助教2」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅰ(循環器系)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授3、講師2」から「教授9、准教授4、講師2」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」の専任教員等の配置を「教授11、准教授2、講師2」から「教授13、准教授3、講師2」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅲ(消化器系)」の専任教員等の配置のうち、「教授9」を「教授10」、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)」の専任教員等の配置を「教授6、准教授2」から「教授9、准教授3、講師1、助教1」に変更。(一部について、平成30年3月教員審査提出中)
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)」の専任教員等の配置を「教授12、准教授1、講師1」から「教授14、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))」の専任教員等の配置のうち、「教授7」を「教授8」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授6、准教授2、講師2、助教2」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)」の専任教員等の配置を「教授7、准教授2」から「教授19、准教授2、講師1」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)」の専任教員等の配置のうち、「教授5」を「教授9」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅹ(血液系)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、講師1」から「教授4、准教授1、講師1」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「正常人体解剖実習」の専任教員等の配置のうち、「教授2」を「教授3」、「准教授2」から「准教授3」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実等のため、「胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授8、准教授1」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)」の専任教員等の配置を「教授16、講師1」から「教授23、准教授3、講師1」に変更。(一部については、平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「感染症」の専任教員等の配置を「教授3、講師1、助教1」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。(一部については、平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「救急と集中治療」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「教授5、准教授3、講師1」に変更。(平成30年6月教員審査予定)
- ・教育の充実のため、「老年医学」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授10」に変更。(平成30年6、10月教員審査予定)
- ・担当教員の自己都合等により、「予防医学・行動科学」の専任教員等の配置を「教授5、講師2」から「教授6、講師1」に変更。
- ・担当教員の自己都合等により、「社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。(後任の補充を検討)
- ・担当教員の自己都合等により、「社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。(後任の補充を検討)
- ・担当教員の自己都合等により、「社会医学Ⅴ(演習)」の専任教員等の配置を「教授4、講師1、助教3」から「教授3、講師1、助教2」に変更。共同授業であり、担当教員が豊富なため補充は不要。
- ・教育の充実のため、「総合臨床医学」の専任教員等の配置のうち、「教授38」を「教授40」に変更。
- ・教育の充実のため、「臨床診断入門」の専任教員等の配置のうち、「教授22」から「教授23」に変更。
- ・教育の充実のため、「症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)」の専任教員等の配置のうち、「教授8」を「教授9」に変更。
- ・担当教員の自己都合等により、「総括講義」の専任教員等の配置のうち、「教授9」を「教授8」に変更。
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置を「教授78、准教授28、講師24、助教18、兼8」から「教授86、准教授37、講師28、助教30、兼5」に変更。(一部については、平成30年3月教員審査提出中)
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅱ(発展)」の専任教員等の配置を「教授78、准教授27、講師24、助教18、兼8」から「教授88、准教授36、講師28、助教30、兼5」に変更。(一部については、平成30年3月教員審査提出中)
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅲ(専門)」の専任教員等の配置を「教授54、准教授12、講師14、助教11、兼2」から「教授62、准教授14、講師18、助教19」に変更。(一部については、平成30年3月教員審査提出中)
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅳ(実践)」の専任教員等の配置を「教授123、准教授35、講師34、助教28、兼10」から「教授136、准教授47、講師43、助教7、兼5」に変更。(一部については、平成30年3月教員審査提出中)

## 【令和元年度】

- ・担当教員の自己都合等により、「医学史」の専任教員等の配置のうち、「教授5」を「教授4」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医療プロフェッショナリズムⅠ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「教授10」を「教授8」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医療プロフェッショナリズムⅡ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授8」を「教授7」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医療プロフェッショナリズムⅢ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「教授8」を「教授7」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「社会保障と医療制度」の専任教員等の配置のうち、「兼2」を「兼1」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「講師4、助教2」を「講師2、助教1」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「講師4」を「講師2」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅲ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「講師4」を「講師2」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「英語Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「講師6」を「講師5」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「英語Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「講師6」を「講師5」に変更。
- 
- ・教員の自己都合等により「英語コミュニケーションA（入門）」の専任教員等の配置のうち、「講師6」を「講師5」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「英語コミュニケーションB（実践）」の専任教員等の配置のうち、「講師6」を「講師5」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医学英語」の専任教員等の配置のうち、「講師3」を「講師2」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置のうち、「教授11」を「教授9」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医療面接・身体診察Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「准教授3」を「准教授2」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「医療面接・身体診察Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「准教授3」を「准教授2」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「基礎医学総論Ⅰ（生化学）」の専任教員等の配置のうち、「教授3」を「教授2」に変更。
  - ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅴ（薬理学）」の専任教員等の配置を「教授2、講師2」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
  - ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅰ（循環器系）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授4、講師2」から「教授11、准教授4、講師2、助教1」に変更。
- 
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
  - ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）」の専任教員等の配置を「教授14、准教授3、講師2、助教1」から「教授14、准教授3、講師2、助教2」に変更。
  - ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）」の専任教員等の配置を「教授6、准教授2、講師2、助教2」から「教授6、准教授3、講師3」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）」の専任教員等の配置のうち、「教授19、講師1」を「教授18」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「正常人体解剖実習」の専任教員等の配置のうち、「准教授3」を「准教授2」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「海外医療体験」の専任教員等の配置のうち、「教授2」を「教授1」に変更。
  - ・教育の充実のため、「関連職種連携ワーク」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼23」に変更。
  - ・教育の充実のため、「胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）」の専任教員等の配置を「教授8、准教授1」から「教授9、兼1」に変更。
- 
- ・教員の自己都合等により「感染症」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」を「准教授なし」に変更。
  - ・教育の充実のため、「腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）」の専任教員等の配置を「教授23、准教授3、講師1」から「教授23、准教授4、講師1、助教1」に変更。
  - ・教育の充実のため、「救急と集中治療」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「予防医学・行動科学」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
  - ・教育の充実のため、「老年医学」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
  - ・教育の充実のため、「社会医学Ⅰ（医療管理学）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
  - ・教育の充実のため、「社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2、助教1」に変更。
  - ・教育の充実のため、「社会医学Ⅴ（演習）」の専任教員等の配置を「教授3、講師1、助教2」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。
  - ・教育の充実のため、「総合臨床医学」の専任教員等の配置を「教授40、准教授2、講師5、助教1」から「教授44、准教授3、講師3、助教1」に変更。
- 
- ・教員の自己都合等により「臨床診断入門」の専任教員等の配置のうち、「教授23」を「教授22」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「症候と臨床推論（小グループケーススタディ演習）」の専任教員等の配置のうち、「教授9」を「教授7」に変更。（後任の補充を検討）
  - ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置のうち、「教授86、准教授37、講師28、助教30、兼5」を「教授86、准教授33、講師25、助教29、兼5」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅱ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「教授88、准教授36、講師28、助教30、兼5」を「教授86、准教授33、講師25、助教29、兼5」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅲ（専門）」の専任教員等の配置のうち、「教授62、准教授14、講師18、助教19」を「教授59、准教授14、講師20、助教17」に変更。
  - ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅳ（実践）」の専任教員等の配置のうち、「教授136、准教授47、講師43、助教47、兼5」を「教授136、准教授44、講師43、助教44、兼5」に変更。

【令和2年度】

- ・教員の自己都合等により「医学史」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、兼2」から「教授3、准教授なし、兼3」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療プロフェッショナルズⅠ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1、助教なし」を「准教授なし、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療プロフェッショナルズⅡ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1、助教なし」を「准教授なし、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療プロフェッショナルズⅢ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1、助教なし」を「准教授なし、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「英字新聞で読む社会学・政治学」の専任教員等の配置のうち、「兼2」を「兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「国際機関論」の専任教員等の配置のうち、「兼2」を「兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」を「准教授なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授5、兼なし」を「教授4、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅲ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「教授4、准教授1、兼なし」を「教授3、准教授なし、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「生物学」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療生物学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「准教授2、助教1」を「准教授1、助教3」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「准教授2、助教1」を「准教授1、助教3」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語コミュニケーションA（入門）」の専任教員等の配置のうち、「助教1」を「助教3」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語コミュニケーションB（実践）」の専任教員等の配置のうち、「助教1」を「助教3」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅰ-A（作文）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅰ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅱ-A（作文）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅱ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅱ-C（発表・討論）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅱ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅲ-A（作文）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅲ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅲ-C（発表・討論）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅲ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療福祉専門漢字」の専任教員等の配置を「講師1、兼4」から「講師なし、兼3」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療福祉専門語彙」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教育の充実のため、「医学英語」の専任教員等の配置のうち、「准教授2、助教1」を「准教授1、助教2」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療入門・正常解剖演習」の配当年次を「1①」から「1①、2②」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置のうち「教授9、准教授4、助教1」を「教授10、准教授1、助教3」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療面接・身体診察Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「教授5、准教授2、助教1」から「教授4、准教授1、助教2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療面接・身体診察Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授5、准教授2、助教1」を「教授4、准教授1、助教2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」を「准教授なし」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅴ（薬理学）」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）」の専任教員等の配置のうち、「教授2、准教授2、助教なし」を「教授3、准教授なし、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅷ（病理学）」の専任教員等の配置を「教授5、講師2」から「教授6」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）」の専任教員等の配置を「教授5、講師3、助教2」から「教授6、講師1、助教3」に変更。
- ・教育の充実のため、「発生・出産」の専任教員等の配置のうち、「准教授なし、助教なし」を「准教授1、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅰ（循環器系）」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授9」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）」の専任教員等の配置を「教授13、准教授3、講師2」から「教授11、准教授2、講師1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅲ（消化器系）」の専任教員等の配置のうち、「准教授4、講師6」を「准教授3、講師3」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）」の専任教員等の配置のうち、「教授9、准教授3」を「教授11、准教授1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）」の専任教員等の配置のうち、「准教授3、講師2、助教2」を「准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅵ（婦人科系（乳腺含む））」の専任教員等の配置のうち、「教授8、助教なし」を「教授7、助教1」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）」の専任教員等の配置のうち、「教授6、准教授3」を「教授7、准教授2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）」の専任教員等の配置のうち、「准教授2」を「准教授なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅸ（感覚器系）」の専任教員等の配置のうち、「教授9」を「教授7」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「正常人体解剖実習」の専任教員等の配置のうち、「教授3、准教授2、助教なし」を「教授4、准教授なし、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「海外医療体験」の専任教員等の配置のうち、「助教7」を「助教9」に変更。
- ・教員の自己都合等により「胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授なし、講師なし、兼1」から「教授7、准教授1、講師1、兼なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「感染症」の専任教員等の配置のうち、「講師2」を「講師1」に変更。
- ・教育の充実のため、「感染症」の配当年次を「2②」から「1②」に変更。
- ・教員の自己都合等により「腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）」の専任教員等の配置のうち、「教授23、講師1」を「教授22、講師なし」に変更。
- ・教育の充実のため、「救急と集中治療」の専任教員等の配置のうち、「教授6、講師1、助教なし」を「教授5、講師2、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「麻酔」の専任教員等の配置のうち、「教授4」を「教授2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「老年医学」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・教育の充実のため、「社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）」の専任教員等の配置のうち、「講師1、助教なし」を「講師なし、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「社会医学Ⅲ（法医学）」の専任教員等の配置のうち、「教授1、助教なし」を「教授2、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「社会医学Ⅴ（演習）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」を「准教授なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「総合臨床医学」の専任教員等の配置を、「教授44、講師3、助教1」から「教授37、講師1、助教なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「臨床診断入門」の専任教員等の配置のうち、「教授22」を「教授19」に変更。
- ・教員の自己都合等により「症候と臨床推論（小グループケーススタディ演習）」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」を「准教授なし」に変更。
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授86、准教授33、講師25、助教29、兼5」から「教授90、准教授38、講師23、助教23、兼3」に変更。
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅱ（発展）」の専任教員等の配置を「教授86、准教授33、講師25、助教29、兼5」から「教授90、准教授37、講師23、助教23、兼3」に変更。
- ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅲ（専門）」の専任教員等の配置を「教授59、准教授14、講師20、助教17」から「教授54、准教授11、講師16、助教11」に変更。
- ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅳ（実践）」の専任教員等の配置のうち、「准教授44、講師43、助教44、兼5」を「准教授46、講師37、助教33、兼3」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24	8	24	56	24	9	29	62	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[ 0 ]	[ 1 ]	[ 5 ]	[ 6 ]					

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	国際機関論	1	1	総合教育科目	選択	担当教員の自己都合により退職。後任を検討したが、間に合わなかったため今年度未開講とした。
2	英語コミュニケーションA(入門)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
3	英語コミュニケーションB(実践)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
4	ドイツ語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
5	中国語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
6	韓国語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
7	フランス語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
8	スペイン語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
9	タイ語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
10	ベトナム語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
11	ビルマ語入門(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
12	ドイツ語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
13	中国語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
14	韓国語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
15	フランス語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
16	スペイン語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
17	タイ語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
18	ベトナム語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
19	ビルマ語応用(会話含む)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
20	日本語 I-A(作文)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした
21	日本語 I-B(文法・語彙)	1	1	総合教育科目	自由	感染症の拡大防止のため、他学科合同科目である点と自由科目である点を考慮し、今年度未開講とした

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

#### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

#### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ほとんどの科目が卒業要件に含まれていない自由科目であったことに加え、他学部との合同科目であるため、三密などのクラスターの発生において懸念される状況の回避が困難であると予測された。そのため、感染症対策の観点から本年度未開講とすることとした。学生へは、掲示等で周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

#### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{22}{105} = \boxed{20.95\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校舎敷地に国際医療福祉 大学市川病院を追加 (H30.9.1事業継承) (30)						
	校 舎 敷 地	276,538 <del>262,852</del> m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	276,538 <del>262,852</del> m <sup>2</sup>							
	運 動 場 用 地	100,751 <del>88,807</del> m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	100,751 <del>88,807</del> m <sup>2</sup>							
	小 計	377,289 <del>351,659</del> m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	377,289 <del>351,659</del> m <sup>2</sup>							
	そ の 他	113,975 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	113,975 m <sup>2</sup>							
	合 計	491,264 <del>724,431</del> m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	491,264 <del>724,431</del> m <sup>2</sup>							
(2) 校 舎	専 用	223,203 <del>212,896</del> 191,625 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	223,203 <del>212,896</del> 191,625 m <sup>2</sup>	大学全体 記載ミスのため修正 (30) 福岡薬学部設置に伴う 追加(2)						
	( 189,135 <del>178,828</del> 157,557 m <sup>2</sup> )	( 0m <sup>2</sup> )	( 0m <sup>2</sup> )	( 189,135 <del>178,828</del> 157,557 m <sup>2</sup> )								
(3) 教 室 等	講 義 室	216 <del>205</del> 193 室	演 習 室	194 <del>186</del> 162 室	実 験 実 習 室	327 <del>316</del> 304 室	情 報 処 理 学 習 施 設	24 <del>23</del> 19 室 ( 補 助 8 職 員 6 人 )	語 学 学 習 施 設	10 室 ( 補 助 職 員 0 人 )	大学全体 記載ミスのため修正 (30) 福岡薬学部設置に伴う 追加(2)	
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数							
		医学部医学科		300 室								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	電子ジャーナルは大学全 体で共用。その他は医学 部 電子ジャーナルの一部は 大学全体で共用。その他 は医学部(29)  外国の電子ジャーナルに ついては継続購読とし た。 視聴覚資料は既製品でな く教員作成のe-learning を活用したため購入品は 本年度もない。(30) 学年進行に伴う増。(元)  学年進行に伴う増。(2)				
	医学部	(18,266 [6,271]) <del>13,500 [3,300]</del>	(261 [ 7 ]) <del>130 [ 40 ]</del>	(9,904 [8,431]) <del>7,166 [5,725]</del> <del>6,608 [5,278]</del> <del>6,608 [5,278]</del> <del>5,061 [3,823]</del>	280	27,811	108					
		(18,266 [6,271]) <del>13,183 [4,749]</del>	(261 [ 7 ]) <del>219 [ 4 ]</del>	(9,904 [8,431]) <del>7,166 [5,725]</del>	( 0 ) <del>( 0 )</del>	( 21,885 ) <del>( 21,885 )</del>	( 72 ) <del>( 72 )</del>					
		(4,971 [2,792]) <del>(3,206 [2,016])</del> <del>(3,900 [ 900])</del>	( 100 [ 4 ] ) <del>( 100 [ 4 ] )</del> <del>( 80 [ 20 ] )</del>	(6,608 [5,278]) <del>(6,608 [5,278])</del> <del>(5,061 [3,823])</del>	( 0 ) <del>( 0 )</del> <del>( 72 )</del>	(15,589) <del>( 8,017 )</del> <del>( 3,225 )</del>	( 57 ) <del>( 57 )</del> <del>( 54 )</del>					
		(18,266 [6,271]) <del>13,500 [3,300]</del>	(261 [ 7 ]) <del>130 [ 40 ]</del>	(9,904 [8,431]) <del>7,166 [5,725]</del> <del>6,608 [5,278]</del> <del>6,608 [5,278]</del> <del>5,061 [3,823]</del>	280	27,811	108					
		(18,266 [6,271]) <del>13,183 [4,749]</del>	(261 [ 7 ]) <del>219 [ 4 ]</del>	(9,904 [8,431]) <del>7,166 [5,725]</del>	( 0 ) <del>( 0 )</del>	( 21,885 ) <del>( 21,885 )</del>	( 72 ) <del>( 72 )</del>					
		(4,971 [2,792]) <del>(3,206 [2,016])</del> <del>(3,900 [ 900])</del>	( 100 [ 4 ] ) <del>( 100 [ 4 ] )</del> <del>( 80 [ 20 ] )</del>	(6,608 [5,278]) <del>(6,608 [5,278])</del> <del>(5,061 [3,823])</del>	( 0 ) <del>( 0 )</del> <del>( 72 )</del>	(15,589) <del>( 8,017 )</del> <del>( 3,225 )</del>	( 57 ) <del>( 57 )</del> <del>( 54 )</del>					
		計	(18,266 [6,271]) <del>13,500 [3,300]</del>	(261 [ 7 ]) <del>130 [ 40 ]</del>	(9,904 [8,431]) <del>7,166 [5,725]</del> <del>6,608 [5,278]</del> <del>6,608 [5,278]</del> <del>5,061 [3,823]</del>	280	27,811					108
		(18,266 [6,271]) <del>13,183 [4,749]</del>	(261 [ 7 ]) <del>219 [ 4 ]</del>	(9,904 [8,431]) <del>7,166 [5,725]</del>	( 0 ) <del>( 0 )</del>	( 21,885 ) <del>( 21,885 )</del>	( 72 ) <del>( 72 )</del>					
	(4,971 [2,792]) <del>(3,206 [2,016])</del> <del>(3,900 [ 900])</del>	( 100 [ 4 ] ) <del>( 100 [ 4 ] )</del> <del>( 80 [ 20 ] )</del>	(6,608 [5,278]) <del>(6,608 [5,278])</del> <del>(5,061 [3,823])</del>	( 0 ) <del>( 0 )</del> <del>( 72 )</del>	(15,589) <del>( 8,017 )</del> <del>( 3,225 )</del>	( 57 ) <del>( 57 )</del> <del>( 54 )</del>						
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数							
	8,564 <del>7,756</del> m <sup>2</sup>		1,853 <del>1,653</del> 席		367,360 <del>340,000</del> 冊							

区 分		内 容						備考	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	7,465 6,675 m <sup>2</sup>		弓道場			テニスコート			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度の経費について寄贈品等の費用分を修正。(30)  図書購入費については、第2年次の電子ジャーナルの選定に時間がかかり予定を下回った。(30)  設備購入費については計画通り。(30)
		教員1人当り研究費等	800千円	800千円	図書購入費	934千円 874千円 0千円	87,228千円 100,000千円	100,000千円	
		共同研究費等	40,000千円	50,000千円	設備購入費	573,137千円 514,176千円 540,525千円	1,468,759千円 1,396,315千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		4,500千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考			
	既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率		定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	設年度
	年	人	年次人	人		倍			年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	840	-				-	平成29年度		-
医学科	6	140	-	840	学士(医学)	1.00	1.00		-	平成29年度		千葉県成田市公津の杜4丁目3番
保健医療学部	4	535	-	2,180	-				-	平成7年度		-
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)	0.98	1.03		-	平成7年度		栃木県大田原市北金丸2600番1
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法)	0.99	1.00		-	平成7年度		同上
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法)	0.97	1.01		-	平成7年度		同上
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚)	1.03	1.08		-	平成7年度		同上
視機能療法学科	4	50	-	200	学士(視機能療法)	1.00	1.08		-	平成14年度		同上
放射線・情報科学科	4	110	-	480	学士(放射線・情報科学)	1.01	1.06		-	平成7年度		同上
医療福祉学部	4	140	5	570	-				-	平成9年度		-
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マネジメント学)	0.98	1.07		-	平成9年度		同上
薬学部	6	180	-	1,080	-				-	平成18年度		-
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)	1.05	1.01		-	平成18年度		同上
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-				-	平成18年度		-
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.07	1.08		-	平成18年度		神奈川県小田原市城山一丁目2番25号
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法)	1.04	1.08		-	平成18年度		同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.03	1.05		-	平成18年度		同上
福岡看護学部	4	100	-	400	-				-	平成20年度		-
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.08	1.05		-	平成20年度		福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4
福岡保健医療学部	4	220	-	940	-				-	平成17年度		-
理学療法学科	4	60	-	300	学士(理学療法)	1.09	1.06		-	平成17年度		福岡県大川市榎津137-1
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.03	1.00		-	平成17年度		同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚)	1.03	1.00		-	平成19年度		同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査)	1.09	1.21		-	平成25年度		同上
福岡薬学部	6	120	-	720	-				-	令和2年度		-
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)	1.09	1.09		-	令和2年度		同上

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	設年度	所在地
成田看護学部	4	100	-	400	-	-	-	-	平成28年度	-	-
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部	4	290	-	1,160	-	-	-	-	平成28年度	-	-
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.06	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.06	1.05	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士(放射線・情報科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	4	120	-	480	-	-	-	-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	1.08	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26	
医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士(医療マネジメント学)	1.01	1.03	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	2,145	5	9,570	-	-	-	-	平成7年度	-	

大学の名称	国際医療福祉大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	設年度	所在地
医療福祉学研究所 修士課程	年	人	年次人	人	-	倍	1.29	1.22	-	平成11年度	-
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士(保健医療学)	1.54	1.51	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					修士(看護学)			-			
					修士(助産学)			-			
					修士(言語聴覚学)			-			
					修士(生殖補助医療学)			-			
					修士(医療福祉教育・管理学)			-			
					修士(臨床検査学)			-			
					修士(災害医療学)			-			

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年設年度	所在地
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (遠伝カウンセリング学)	1.34	1.20	-	平成13年度	同上
					修士 (医療福祉学)			-		
					修士 (診療情報管理学)			-		
					修士 (医療ビジネス経営学)			-		
					修士 (医療福祉管理学)			-		
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-		
					修士 (自立支援介護学)			-		
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)			-		
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-		
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	0.96	-	平成19年度	同上
					修士 (臨床心理学)			-		
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.29	1.14	-	平成13年度	-
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.29	1.14	-	平成13年度	同上
					博士 (看護学)			-		
					博士 (助産学)			-		
					博士 (言語聴覚学)			-		
					博士 (生殖補助医療学)			-		
					博士 (臨床検査学)			-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地
					博士 (医療福祉経営学)			-		
					博士 (医療福祉学)			-		
					博士 (診療情報管理学)			-		
					博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-		
					博士 (臨床心理学)			-		
					博士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-		
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	0.20	-	平成22年度	-
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	0.20	-	平成22年度	同上
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.70	0.80	-	平成24年度	-
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.70	0.80	-	平成24年度	同上
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	1.70	2.00	-	平成30年度	-
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生学)	1.70	2.00	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.03	0.90	-	平成30年度	-
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.03	0.90	-	平成30年度	同上
大学院全体	-	345	-	810	-	1.02	1.04	-	平成11年度	-

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学部 医学科>

(1)ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保留学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保留学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保留学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保留学位等 担当授業科目名
専	教授(学部長)	北村 聖 (62) 平成29年4月	専	教授(学部長)	北村 聖 (62) 平成29年4月	専	教授(学部長)	北村 聖 (63) 平成29年4月	専	教授		専	教授	
		医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 海外医療体験 <b>医学史</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 海外医療体験 <b>医学史</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 海外医療体験 <b>医学史</b> <b>医療入門・正常解剖演習</b>						
専	教授	天野 隆弘 (73) 平成29年4月 医学博士	専	教授	天野 隆弘 (73) 平成29年4月 医学博士	専	教授	天野 隆弘 (74) 平成29年4月 医学博士	専	教授	天野 隆弘 (75) 平成29年4月 医学博士	専	教授	天野 隆弘 (76) 平成29年4月 医学博士
		医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門)			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) <b>医学史</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) <b>医学史</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) <b>医学史</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) <b>医学史</b>
専	教授	吉田 素文 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	吉田 素文 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	吉田 素文 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	吉田 素文 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	吉田 素文 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>医療面接・身体診察Ⅰ (入門)</b> <b>医療面接・身体診察Ⅱ (応用)</b> <b>医療入門・正常解剖演習</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>医療面接・身体診察Ⅰ (入門)</b> <b>医療面接・身体診察Ⅱ (応用)</b> <b>医療入門・正常解剖演習</b>			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>医療面接・身体診察Ⅰ (入門)</b> <b>医療面接・身体診察Ⅱ (応用)</b> <b>医療入門・正常解剖演習</b>
専	教授	赤津 晴子 (55) 平成29年4月 MD(米国)	専	教授	赤津 晴子 (55) 平成29年4月 MD(米国)	専	教授	赤津 晴子 (56) 平成29年4月 MD(米国)	専	教授	赤津 晴子 (57) 平成29年4月 MD(米国)	専	教授	赤津 晴子 (58) 平成29年4月 MD(米国)
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分 泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治 療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分 泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治 療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分 泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治 療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分 泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治 療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ 演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	岡本 秀彦 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	岡本 秀彦 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	岡本 秀彦 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	岡本 秀彦 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	岡本 秀彦 (44) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅳ(生 理学)			基礎医学総論Ⅳ(生 理学)			基礎医学総論Ⅳ(生 理学) <b>器官別統合講義Ⅱ(呼 吸器系)</b> <b>器官別統合講義Ⅴ(腎 泌尿器系)</b> <b>生物学</b>			基礎医学総論Ⅳ(生 理学) <b>器官別統合講義Ⅱ(呼 吸器系)</b> <b>器官別統合講義Ⅴ(腎 泌尿器系)</b> <b>生物学</b>			基礎医学総論Ⅳ(生 理学) <b>器官別統合講義Ⅱ(呼 吸器系)</b> <b>器官別統合講義Ⅴ(腎 泌尿器系)</b> <b>生物学</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		飯野(池田)啓子 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))
専 教授		後藤 純信 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)
専 教授		北川 元生 (55) 平成29年4月 医学博士
		医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)
専 教授		小堀 浩幸 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)
専 教授		森田 林平 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅲ(免疫学)
専 教授		西村 渉 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)
専 教授		小阪 淳 (52) 平成29年4月 博士(理学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習
専 教授		森 泰文 (46) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		飯野(池田)啓子 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))
専 教授		後藤 純信 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)
専 教授		北川 元生 (55) 平成29年4月 医学博士
		医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)
専 教授		小堀 浩幸 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)
専 教授		森田 林平 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅲ(免疫学) <b>医学史</b>
専 教授		西村 渉 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)
専 教授		小阪 淳 (52) 平成29年4月 博士(理学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習
専 教授		森 泰文 (46) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		飯野(池田)啓子 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))
専 教授		後藤 純信 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)
専 教授		北川 元生 (56) 平成29年4月 医学博士
		医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)
専 教授		小堀 浩幸 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)
専 教授		森田 林平 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅲ(免疫学) <b>医学史</b> <b>生物学</b>
専 教授		西村 渉 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) <b>生物学</b>
専 教授		小阪 淳 (53) 平成29年4月 博士(理学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習
専 教授		森 泰文 (47) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) <b>器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)</b>
専 教授		後藤 純信 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)
専 教授		北川 元生 (57) 平成29年4月 医学博士
		医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)
専 教授		森田 林平 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅲ(免疫学) <b>医学史</b> <b>生物学</b>
専 教授		西村 渉 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) <b>生物学</b>
専 教授		小阪 淳 (54) 平成29年4月 博士(理学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習
専 教授		森 泰文 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習 <b>胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		後藤 純信 (58) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)
専 教授		北川 元生 (58) 平成29年4月 医学博士
		医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)
専 教授		西村 渉 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) <b>生物学</b>
専 教授		小阪 淳 (55) 平成29年4月 博士(理学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習
専 教授		森 泰文 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習 <b>胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)</b>



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	池田 俊也 (54) 平成29年4月 Master of Science in Health Policy and Management (米国)	専	教授	池田 俊也 (54) 平成29年4月 Master of Science in Health Policy and Management (米国)	専	教授	池田 俊也 (55) 平成29年4月 Master of Science in Health Policy and Management (米国)	専	教授	池田 俊也 (57) 平成29年4月 Master of Science in Health Policy and Management (米国)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義
専	教授	宮木 幸一 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	宮木 幸一 (42) 平成29年4月 博士(医学)						
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義			国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義						
専	教授	Nwe Nwe Oo (60) 平成29年4月 Ph. D. (PublicHealth) (ミャンマー)	専	教授	Nwe Nwe Oo (60) 平成29年4月 Ph. D. (PublicHealth) (ミャンマー)	専	教授	Nwe Nwe Oo (61) 平成29年4月 Ph. D. (PublicHealth) (ミャンマー)	専	教授	Nwe Nwe Oo (62) 平成29年4月 Ph. D. (PublicHealth) (ミャンマー)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	教授	Le Tran Ngoan (51) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	Le Tran Ngoan (51) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	Le Tran Ngoan (52) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	Le Tran Ngoan (53) 平成29年4月 博士(医学)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学
専	教授	渡邊 治雄 (67) 平成29年4月 医学博士	専	教授	渡邊 治雄 (67) 平成29年4月 医学博士	専	教授	渡邊 治雄 (68) 平成29年4月 医学博士	専	教授	渡邊 治雄 (69) 平成29年4月 医学博士
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	教授	荻野 美恵子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	荻野 美恵子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	荻野 美恵子 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	荻野 美恵子 (58) 平成29年4月 博士(医学)
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>医療入門・正常解剖演習</b>			医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>医療入門・正常解剖演習</b>







専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	佐伯 直勝 (66) 平成29年4月 医学博士	専	教授	佐伯 直勝 (66) 平成29年4月 医学博士	専	教授	佐伯 直勝 (67) 平成29年4月 医学博士	専	教授	佐伯 直勝 (69) 平成29年4月 医学博士	専	教授	佐伯 直勝 (69) 平成29年4月 医学博士
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>審判別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)</b>			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>審判別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)</b>			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>審判別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)</b>
専	教授	山崎 力 (61) 令和2年4月 博士(医学)	専	教授	山崎 力 (61) 令和2年4月 博士(医学)	専	教授	山崎 力 (62) 平成30年4月 博士(医学)	専	教授	山崎 力 (63) 平成30年4月 博士(医学)	専	教授	山崎 力 (64) 平成30年4月 博士(医学)
		予防医学・行動科学			予防医学・行動科学			予防医学・行動科学			予防医学・行動科学			予防医学・行動科学
専	教授	川上 和久 (59) 平成29年4月 修士(社会学)	専	教授	川上 和久 (59) 平成29年4月 修士(社会学)	兼担	教授	川上 和久 (60) 平成29年4月 修士(社会学)	兼担	教授	川上 和久 (61) 平成29年4月 修士(社会学)			
		英字新聞で読む社会学・政治学			英字新聞で読む社会学・政治学			英字新聞で読む社会学・政治学			英字新聞で読む社会学・政治学			
専	教授	高須賀 茂文 (59) 平成29年4月 Master of Arts (米国)	専	教授	高須賀 茂文 (59) 平成29年4月 Master of Arts (米国)	専	教授	高須賀 茂文 (60) 平成29年4月 Master of Arts (米国)	専	教授	高須賀 茂文 (61) 平成29年4月 Master of Arts (米国)	専	教授	高須賀 茂文 (62) 平成29年4月 Master of Arts (米国)
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 英字新聞で読む社会学・政治学			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 英字新聞で読む社会学・政治学			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 英字新聞で読む社会学・政治学			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 英字新聞で読む社会学・政治学			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 英字新聞で読む社会学・政治学
専	教授	海老沼 浩利 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	海老沼 浩利 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	海老沼 浩利 (50) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	海老沼 浩利 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	海老沼 浩利 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>総合臨床医学</b>			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>総合臨床医学</b>			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>総合臨床医学 救急と集中治療</b>			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>総合臨床医学 救急と集中治療</b>
専	教授	西澤 俊宏 (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	西澤 俊宏 (41) 令和2年4月 博士(医学)	専	教授	西澤 俊宏 (42) 平成31年4月 博士(医学)	専	教授	西澤 俊宏 (43) 平成30年10月 博士(医学)	専	教授	西澤 俊宏 (44) 平成30年10月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						兼任	講師	西澤 俊宏 (42) 平成30年4月 博士(医学)						
								器官別統合講義Ⅲ(消化器系)						
専	教授	高後 裕 (67) 平成29年4月 医学博士	専	教授	高後 裕 (67) 平成29年4月 医学博士	専	教授	高後 裕 (68) 平成29年4月 医学博士	専	教授	高後 裕 (69) 平成29年4月 医学博士	専	教授	高後 裕 (70) 平成29年4月 医学博士
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	大竹 孝明 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	大竹 孝明 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	大竹 孝明 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	大竹 孝明 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	大竹 孝明 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	佐藤 貴一 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	佐藤 貴一 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	佐藤 貴一 (59) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	佐藤 貴一 (60) 平成29年4月 博士(医学)	専	教授	佐藤 貴一 (61) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)













専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒川 孝 (63) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門)
専	教授	市丸 直嗣 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	河島 雅到 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	朝本 俊司 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	石井 賢 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	中村 俊康 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	真島 任史 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	高橋 謙治 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	角田 亘 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	太田 喜久夫 (59) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒川 孝 (64) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門)
専	教授	河島 雅到 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	朝本 俊司 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	石井 賢 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	中村 俊康 (53) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	高橋 謙治 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	角田 亘 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	太田 喜久夫 (59) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒川 孝 (65) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門)
専	教授	河島 雅到 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	石井 賢 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	中村 俊康 (54) 平成29年10月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)</b>
専	教授	高橋 謙治 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	角田 亘 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)</b>
専	教授	太田 喜久夫 (60) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河島 雅到 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	石井 賢 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	中村 俊康 (55) 平成29年10月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)</b>
専	教授	高橋 謙治 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	角田 亘 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)</b> 老年医学
専	教授	角田 亘 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)</b> 老年医学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河島 雅到 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	石井 賢 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	中村 俊康 (56) 平成29年10月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)</b>
専	教授	角田 亘 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)</b> 老年医学





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 雄介 (51) 平成29年4月 医学士
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	岩崎 聡 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	菅谷 誠 (46) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	松崎 恭一 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	小坂 正明 (58) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	倉橋 清泰 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	花崎 元彦 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	澁田 達史 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 雄介 (51) 平成29年4月 医学士
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	岩崎 聡 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	菅谷 誠 (46) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	松崎 恭一 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	倉橋 清泰 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 医学史
専	教授	花崎 元彦 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	澁田 達史 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 雄介 (52) 平成29年4月 医学士
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	岩崎 聡 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	菅谷 誠 (47) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	松崎 恭一 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	花崎 元彦 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	澁田 達史 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	今西 順久 (52) 平成31年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学
専	教授	渡邊 雄介 (53) 平成29年4月 医学士
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	岩崎 聡 (58) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	菅谷 誠 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	松崎 恭一 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	倉橋 清泰 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 医学史 救急と集中治療 医療入門・正常解剖演習
専	教授	花崎 元彦 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	澁田 達史 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 雄介 (54) 平成29年4月 医学士
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	岩崎 聡 (59) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	菅谷 誠 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	松崎 恭一 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	倉橋 清泰 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 医学史 救急と集中治療 医療入門・正常解剖演習
専	教授	花崎 元彦 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	教授	澁田 達史 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名	
専	教授	西山 誠 (61) 平成29年4月 医学博士	西山 誠 (61) 平成29年4月 医学博士	西山 誠 (62) 平成29年4月 医学博士	西山 誠 (63) 平成29年4月 医学博士	西山 誠 (64) 平成29年4月 医学博士	西山 誠 (64) 平成29年4月 医学博士
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	堀 武生 (49) 平成29年4月 博士(医学)					
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)					
専	教授	新井 健 (49) 平成29年4月 博士(医学)	新井 健 (49) 平成29年4月 博士(医学)	新井 健 (50) 平成29年4月 博士(医学)	新井 健 (51) 平成29年4月 博士(医学)	新井 健 (52) 平成29年4月 博士(医学)	新井 健 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)
専	教授	中川 雅文 (56) 平成29年4月 博士(医学)	中川 雅文 (56) 平成29年4月 博士(医学)	中川 雅文 (57) 平成29年4月 博士(医学)	中川 雅文 (58) 平成29年4月 博士(医学)	中川 雅文 (59) 平成29年4月 博士(医学)	中川 雅文 (59) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	原田 竜彦 (52) 平成29年4月 博士(医学)	原田 竜彦 (52) 平成29年4月 博士(医学)	原田 竜彦 (53) 平成29年4月 博士(医学)	原田 竜彦 (54) 平成29年4月 博士(医学)	原田 竜彦 (55) 平成29年4月 博士(医学)	原田 竜彦 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	三浦 弘規 (54) 平成29年4月 博士(医学)	三浦 弘規 (54) 平成29年4月 博士(医学)	三浦 弘規 (55) 平成29年4月 博士(医学)	三浦 弘規 (56) 平成29年4月 博士(医学)	三浦 弘規 (57) 平成29年4月 博士(医学)	三浦 弘規 (57) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	志賀 俊哉 (50) 平成29年4月 博士(医学)	志賀 俊哉 (50) 平成29年4月 博士(医学)	志賀 俊哉 (51) 平成29年4月 博士(医学)	志賀 俊哉 (52) 平成29年4月 博士(医学)	志賀 俊哉 (53) 平成29年4月 博士(医学)	志賀 俊哉 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	小黒 恵司 (58) 平成29年4月 博士(医学)	小黒 恵司 (58) 平成29年4月 博士(医学)	小黒 恵司 (59) 平成29年4月 博士(医学)	小黒 恵司 (60) 平成29年4月 博士(医学)	小黒 恵司 (61) 平成29年4月 博士(医学)	小黒 恵司 (61) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ (基礎) 臨床実習Ⅱ (発展) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅰ (基礎) 臨床実習Ⅱ (発展) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅰ (基礎) 臨床実習Ⅱ (発展) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅰ (基礎) 臨床実習Ⅱ (発展) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅰ (基礎) 臨床実習Ⅱ (発展) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅰ (基礎) 臨床実習Ⅱ (発展) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	横川 徳造 (55) 平成29年4月 博士(医学)					
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)					
専	教授	戸矢 和仁 (51) 平成29年4月 博士(医学)	戸矢 和仁 (51) 平成29年4月 博士(医学)	戸矢 和仁 (52) 平成29年4月 博士(医学)	戸矢 和仁 (53) 平成29年4月 博士(医学)	戸矢 和仁 (54) 平成29年4月 博士(医学)	戸矢 和仁 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)
専	教授	高橋 和郎 (61) 平成29年4月 医学博士	高橋 和郎 (61) 平成29年4月 医学博士	高橋 和郎 (62) 平成29年4月 医学博士	高橋 和郎 (63) 平成29年4月 医学博士	高橋 和郎 (64) 平成29年4月 医学博士	高橋 和郎 (64) 平成29年4月 医学博士
		臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践)	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 胎児・小児の成長と疾患 (成育と臨床) 感染症	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 胎児・小児の成長と疾患 (成育と臨床) 感染症	臨床実習Ⅲ (専門) 臨床実習Ⅳ (実践) 胎児・小児の成長と疾患 (成育と臨床) 感染症
			奥仲 智弥 (58) 令和2年4月 医学博士	奥仲 智弥 (59) 平成29年9月 医学博士	奥仲 智弥 (60) 平成29年9月 医学博士	奥仲 智弥 (61) 平成29年9月 医学博士	奥仲 智弥 (61) 平成29年9月 医学博士
			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	講師	奥仲 智弥 (58) 平成29年4月 医学博士 器管別統合講義Ⅱ(呼吸器系)										
			専	教授	山下 浩二 (58) 平成29年7月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				専	教授	山下 浩二 (60) 平成29年10月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)		専	教授	山下 浩二 (61) 平成29年10月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	教授	中尾 睦宏 (50) 平成30年3月 博士(医学) 予防医学・行動科学		専	教授	中尾 睦宏 (52) 平成30年3月 博士(医学) 予防医学・行動科学
									専	教授	辻 省次 (66) 平成30年2月 医学博士 器管別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)		専	教授	辻 省次 (67) 平成30年2月 医学博士 器管別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)
									専	教授	菅野 洋 (62) 平成30年2月 医学博士 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器管別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)		専	教授	菅野 洋 (63) 平成30年2月 医学博士 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器管別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)
									専	教授	唐仁原 全 (61) 平成30年2月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		専	教授	唐仁原 全 (63) 平成30年2月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	教授	加藤 正人 (61) 平成30年1月 医学博士 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		専	教授	加藤 正人 (63) 平成30年1月 医学博士 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	教授	吉田 雅博 (60) 平成30年2月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)		専	教授	吉田 雅博 (62) 平成30年2月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	教授	安心院 康彦 (57) 平成30年2月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				
									専	教授	須田 康文 (56) 平成30年2月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		専	教授	須田 康文 (58) 平成30年2月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	教授	金澤 文治 (51) 平成30年1月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		専	教授	金澤 文治 (53) 平成30年1月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器管別統合講義Ⅰ(感覚器系)







専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名						担当授業科目名
						専	教授	藤本 一真 (65) 令和元年7月 博士(医学)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	山中 寿 (64) 令和元年7月 博士(医学)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	山田 秀嗣 (64) 令和元年7月 博士(医学)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	河上 裕 (63) 令和元年7月 博士(医学)			基礎医学総論Ⅲ(免疫学)
						専	教授	井上 博之 (61) 令和元年9月 博士(医学)			社旗医学Ⅲ(法医学)
						専	教授	下川 宏明 (65) 令和2年4月 博士(医学)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	笠原 英子 (60) 令和2年2月 博士(医学)			基礎医学総論Ⅳ(生理学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	河合 弘二 (59) 令和2年4月 博士(医学)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	先崎 秀明 (58) 令和2年3月 博士(医学)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	杉村 宏一郎 (48) 令和2年4月 博士(医学)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専	教授	末廣 栄一 (47) 令和2年4月 博士(医学)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	栗田 康生 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	栗田 康生 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	栗田 康生 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	栗田 康生 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	栗田 康生 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) <b>救急と集中治療</b>			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) <b>救急と集中治療</b>			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) <b>救急と集中治療</b>
専	准教授	田邊 裕貴 (48) 平成29年4月 博士(医学)												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	准教授	片岡 幹統 (45) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	片岡 幹統 (45) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	片岡 幹統 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	片岡 幹統 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	片岡 幹統 (48) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	長友 祐司 (41) 平成29年4月 博士(医学)												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	准教授	福見 茂信 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	福見 茂信 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	福見 茂信 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	福見 茂信 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	福見 茂信 (49) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	保田 壮一郎 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	保田 壮一郎 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	保田 壮一郎 (50) <b>平成29年10月</b> 博士(医学)	専	准教授	保田 壮一郎 (51) <b>平成29年10月</b> 博士(医学)	専	准教授	保田 壮一郎 (52) <b>平成29年10月</b> 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	田村 雄一 (38) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	田村 雄一 (38) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	田村 雄一 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	田村 雄一 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	田村 雄一 (41) 平成29年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>救急と集中治療</b>			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>救急と集中治療</b>			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) <b>救急と集中治療</b>
専	准教授	武田 守彦 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	武田 守彦 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	武田 守彦 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	武田 守彦 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	武田 守彦 (50) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	(Tae-Hwa Chun) 全 泰和(49) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	(Tae-Hwa Chun) 全 泰和(49) <b>平成30年4月</b> 博士(医学)	専	准教授	(Tae-Hwa Chun) 全 泰和(49) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	専	准教授	(Tae-Hwa Chun) 全 泰和(50) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)			
		器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
								<b>兼任 講師</b>			<b>兼任 講師</b>			
								器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)			器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)			



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鳥飼 慶 (45) 平成29年4月 博士(医学)												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)												
			専	講師	吉岡 大輔 (39) 平成29年4月									
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									
専	准教授	左村 和宏 (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	左村 和宏 (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	左村 和宏 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	左村 和宏 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	左村 和宏 (44) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)
専	准教授	木原 真紀 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	木原 真紀 (46) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	木原 真紀 (47) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	木原 真紀 (48) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	木原 真紀 (49) 令和2年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 発生・出産 器官別統合講義Ⅵ(婦 人科系(乳腺含む))
専	准教授	茂木 英明 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	茂木 英明 (43) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	茂木 英明 (44) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	茂木 英明 (45) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	茂木 英明 (46) 令和2年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	准教授	北尻 真一郎 (45) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	北尻 真一郎 (45) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	北尻 真一郎 (46) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	北尻 真一郎 (47) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	北尻 真一郎 (48) 令和2年4月 博士(医学)
		基礎医学総論Ⅱ(分子 生物学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			基礎医学総論Ⅱ(分子 生物学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			基礎医学総論Ⅱ(分子 生物学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			基礎医学総論Ⅱ(分子 生物学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	准教授	宮垣 朝光 (37) 平成29年4月 博士(医学)												
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	准教授	大原 博敏 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	大原 博敏 (43) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	大原 博敏 (44) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	大原 博敏 (45) 令和2年4月 博士(医学)	専	准教授	大原 博敏 (46) 令和2年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	中村 京太 (47) 平成29年4月 博士(医学)												
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柿沼 敏行 (45) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	鈴木 伸嘉 (42) 平成29年4月 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	高橋 優宏 (46) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	多田 雄一郎 (50) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	奥田 逸子 (52) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	矢郷 香 (55) 平成29年4月 博士(歯学) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	林 省吾 (41) 平成29年4月 博士(医学) 医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)
専	准教授	足立 雅之 (44) 平成29年4月 博士(医学) 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柿沼 敏行 (45) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	高橋 優宏 (46) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	多田 雄一郎 (50) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	奥田 逸子 (52) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	矢郷 香 (55) 平成29年4月 博士(歯学) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	林 省吾 (41) 平成29年4月 博士(医学) 医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 医学史
専	准教授	足立 雅之 (44) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柿沼 敏行 (46) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	高橋 優宏 (47) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	多田 雄一郎 (51) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	奥田 逸子 (53) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	矢郷 香 (56) 平成29年4月 博士(歯学) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	林 省吾 (42) 平成29年4月 博士(医学) 医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 医学史
専	准教授	足立 雅之 (45) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柿沼 敏行 (47) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	高橋 優宏 (48) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	多田 雄一郎 (52) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	奥田 逸子 (54) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	矢郷 香 (57) 平成29年4月 博士(歯学) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	林 省吾 (43) 平成29年4月 博士(医学) 医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 医学史
専	准教授	足立 雅之 (46) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柿沼 敏行 (48) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	高橋 優宏 (49) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	多田 雄一郎 (53) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	奥田 逸子 (55) 平成29年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	矢郷 香 (58) 平成29年4月 博士(歯学) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 隆 (41) 平成30年4月 Master of Public Health(米国)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	講師	志賀 隆 (40) 平成29年4月 Master of Public Health(米国)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
専	准教授	内藤 雄一郎 (45) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	望月 太一 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 隆 (41) 平成29年7月 Master of Public Health(米国)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	鳥巢 利奈 (41) 平成29年9月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	遠藤 史郎 (45) 平成29年7月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	望月 太一 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
専	准教授	小野澤 瑞樹 (48) 平成29年9月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 隆 (42) 平成29年7月 Master of Public Health(米国)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	鳥巢 利奈 (42) 平成29年8月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	遠藤 史郎 (46) 平成29年10月
		感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	望月 太一 (55) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
専	准教授	小野澤 瑞樹 (49) 平成29年11月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)
専	准教授	山根 雅樹 (61) 平成30年2月 医学博士
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	一瀬 雅典 (57) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	笹生 豊 (57) 平成30年2月 医学博士
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	和田 義文 (58) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 隆 (43) 平成29年7月 Master of Public Health(米国)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	望月 太一 (56) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
専	准教授	小野澤 瑞樹 (50) 平成29年11月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)
専	准教授	山根 雅樹 (62) 平成30年2月 医学博士
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	一瀬 雅典 (58) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	笹生 豊 (58) 平成30年2月 医学博士
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	和田 義文 (59) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	志賀 隆 (44) 平成29年7月 Master of Public Health(米国)
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)
専	准教授	望月 太一 (57) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
専	准教授	小野澤 瑞樹 (51) 平成29年11月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)
専	准教授	山根 雅樹 (63) 平成30年2月 医学博士
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	一瀬 雅典 (59) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	笹生 豊 (59) 平成30年2月 医学博士
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			専	准教授	藤井 正一 (54) 平成30年2月										
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)										
			専	准教授	中川 俊介 (54) 平成30年2月 博士(医学)				専	准教授	中川 俊介 (55) 平成30年2月 博士(医学)		専	准教授	中川 俊介 (58) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専	准教授	白井 博之 (53) 平成30年2月 博士(医学)				専	准教授	白井 博之 (54) 平成30年2月 博士(医学)		専	准教授	白井 博之 (55) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専	准教授	Ngatu Nlandu Roger (51) 平成30年4月 博士(医学)				専	准教授	Ngatu Nlandu Roger (52) 平成30年4月 博士(医学)				
					国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展)										
			専	准教授	本告 成淳 (50) 平成30年2月 博士(医学)				専	准教授	本告 成淳 (51) 平成30年2月 博士(医学)		専	准教授	本告 成淳 (52) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専	准教授	矢嶋 淳 (45) 平成30年2月 博士(医学)				専	准教授	矢嶋 淳 (46) 平成30年2月 博士(医学)				
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)										
			専	准教授	高岡 栄一郎 (41) 平成30年4月 博士(医学)				専	准教授	高岡 栄一郎 (42) 平成30年4月 博士(医学)		専	准教授	高岡 栄一郎 (43) 平成30年4月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専	准教授	門田 行史 (40) 平成30年2月 博士(医学)				専	准教授	門田 行史 (41) 平成30年2月 博士(医学)		専	准教授	門田 行史 (42) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専	准教授	齋藤 俊輔 (43) 平成30年7月										
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)										
専	講師	船尾 陽生 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	船尾 陽生 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	船尾 陽生 (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	船尾 陽生 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	船尾 陽生 (43) 平成29年4月 博士(医学)	
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	
									専	准教授	岡田 智志 (48) 平成31年2月 博士(医学)		専	准教授	岡田 智志 (49) 平成31年2月 博士(医学)
														臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
									専	准教授	相澤 義泰 (46) 平成31年4月 博士(医学)		専	准教授	相澤 義泰 (47) 平成31年4月 博士(医学)
														器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
専	講師	井上 寧 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	井上 寧 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	井上 寧 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	井上 寧 (50) 平成29年4月 博士(医学)	専	准教授	井上 寧 (51) 平成29年4月 博士(医学)		
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)		
専	講師	林 真理子 (48) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	林 真理子 (49) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	林 真理子 (49) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	林 真理子 (50) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	林 真理子 (51) 平成29年4月 博士(理学)		
		基礎医学総論Ⅴ(薬理学)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学)		
専	講師	湯澤 聡 (46) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	湯澤 聡 (46) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	湯澤 聡 (47) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	湯澤 聡 (48) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	湯澤 聡 (49) 平成29年4月 博士(理学)		
		基礎医学総論Ⅰ(生化学)			基礎医学総論Ⅰ(生化学)			基礎医学総論Ⅰ(生化学) 化学 医療化学			基礎医学総論Ⅰ(生化学) 化学 医療化学			基礎医学総論Ⅰ(生化学) 化学 医療化学		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	Do Nguyen-Van (52) 平成29年4月 PhD in Medicine (スウェーデン)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)
専	講師	本村 あゆみ (38) 平成30年4月 博士(医学)
		社会医学Ⅲ (法医学) 社会医学Ⅴ (演習)
専	講師	Htar Htar Soe (43) 平成29年4月 MBBS (ミャンマー)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 社会医学Ⅴ (演習)
専	講師	Than Soe Lin (44) 平成29年4月 MBBS (ミャンマー)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展) 予防医学・行動科学
専	講師	Purevdorj B. Olkhanud (38) 平成29年4月 M.P.H. (米国)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展) 予防医学・行動科学
専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (48) 平成30年4月 博士(歯学)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Nguyen Duy Phong (48) 平成29年4月 PhD in Epidemiology and Infectious Diseases (ロシア)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Hsiao-Lin Huang (44) 平成29年4月 Doctor's degree:Philosophy (台湾)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Aung Thiha (39) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	Do Nguyen-Van (52) 令和2年4月 PhD in Medicine (スウェーデン)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)
専	講師	本村 あゆみ (38) 平成30年4月 博士(医学)
		社会医学Ⅲ (法医学) 社会医学Ⅴ (演習)
専	講師	Than Soe Lin (44) 平成29年4月 MBBS (ミャンマー)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展) 予防医学・行動科学
専	講師	Purevdorj B. Olkhanud (38) 平成29年9月 M.P.H. (米国)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展) 予防医学・行動科学
専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (48) 平成30年4月 博士(歯学)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Hsiao-Lin Huang (44) 令和2年4月 Doctor's degree:Philosophy (台湾)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Aung Thiha (39) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	Do Nguyen-Van (53) 令和2年4月 PhD in Medicine (スウェーデン)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)
専	講師	本村 あゆみ (39) 平成30年5月 博士(医学)
		社会医学Ⅲ (法医学) 社会医学Ⅴ (演習)
専	講師	Purevdorj B. Olkhanud (39) 令和2年4月 M.P.H. (米国)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展) 予防医学・行動科学
専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (49) 平成31年4月 博士(歯学)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Hsiao-Lin Huang (45) 平成30年4月 Doctor's degree:Philosophy (台湾)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Aung Thiha (40) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	Do Nguyen-Van (54) 令和2年4月 PhD in Medicine (スウェーデン)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)
専	講師	本村 あゆみ (40) 平成30年5月 博士(医学)
		社会医学Ⅲ (法医学) 社会医学Ⅴ (演習)
専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (50) 平成31年4月 博士(歯学)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Aung Thiha (41) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	本村 あゆみ (41) 平成30年5月 博士(医学)
		社会医学Ⅲ (法医学) 社会医学Ⅴ (演習)
専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (51) 平成31年4月 博士(歯学)
		国際医療保健学Ⅰ (入門) 国際医療保健学Ⅱ (応用) 国際医療保健学Ⅲ (発展)
専	講師	Aung Thiha (41) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)
		基礎医学総論Ⅶ (病理学) 基礎医学総論Ⅷ (病理学演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	Myint Thazin Aung (39) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	専	講師	Myint Thazin Aung (39) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	専	講師	Myint Thazin Aung (40) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	専	講師	Myint Thazin Aung (41) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	専	講師	Myint Thazin Aung (39) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)
		感染症			感染症			感染症			感染症			感染症
専	講師	小林 元 (45) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	小林 元 (45) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	小林 元 (46) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	小林 元 (47) 平成29年4月 博士(理学)	専	講師	小林 元 (48) 平成29年4月 博士(理学)
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門 <b>医療面接・身体診察Ⅱ(応用)</b>			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門 <b>医療面接・身体診察Ⅱ(応用)</b>			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅸ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門 <b>医療面接・身体診察Ⅱ(応用)</b>
専	講師	Florescu Mihail Cosmin(36) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	専	講師	Florescu Mihail Cosmin(36) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	専	講師	Florescu Mihail Cosmin(37) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	専	講師	Florescu Mihail Cosmin(38) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	専	講師	Florescu Mihail Cosmin(39) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語
専	講師	Butterfield, Jeffrie Leigh(36) 平成29年4月 修士 (コミュニケーション学)												
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語												
			専	講師	森村 杜志 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	森村 杜志 (37) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	森村 杜志 (38) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	森村 杜志 (39) 平成29年4月 博士(医学)
					総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)
			専	講師	井之川 睦美 (61) 平成29年4月 博士(言語教育学)	専	講師	井之川 睦美 (62) 平成29年4月 博士(言語教育学)	専	講師	井之川 睦美 (63) 平成29年4月 博士(言語教育学)	専	講師	井之川 睦美 (64) 平成29年4月 博士(言語教育学)
					英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)
			専	講師	早坂 裕介 (38) 平成29年4月 修士(美学)	専	講師	早坂 裕介 (38) 平成29年4月 修士(美学)	専	講師	早坂 裕介 (40) 平成29年4月 修士(美学)	専	講師	早坂 裕介 (41) 平成29年4月 修士(美学)
					英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	Martin, Barnabas Jon(37) 平成29年4月 Master of Education (米国)	専	講師	Martin, Barnabas Jon(37) 平成29年4月 Master of Education (米国)	専	講師	Martin, Barnabas Jon(38) 平成29年4月 Master of Education (米国)	専	講師	Martin, Barnabas Jon(39) 平成29年4月 Master of Education (米国)	専	講師	Martin, Barnabas Jon(40) 平成29年4月 Master of Education (米国)
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践) 医学英語			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践) 医学英語
専	講師	宮田 直輝 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	宮田 直輝 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	宮田 直輝 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	宮田 直輝 (41) 平成29年4月 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	碓井 真吾 (37) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	碓井 真吾 (37) 令和2年4月 学士(医学)	専	講師	碓井 真吾 (38) 令和2年4月 学士(医学)	専	講師	碓井 真吾 (39) 令和2年4月 学士(医学)	専	講師	碓井 真吾 (40) 令和2年4月 学士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			兼任	講師	碓井 真吾 (38) 平成29年4月 学士(医学)	兼任	講師	碓井 真吾 (38) 平成29年4月 学士(医学)	兼任	講師	碓井 真吾 (39) 平成29年4月 学士(医学)			
					器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			
専	講師	西山 信大 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	西山 信大 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	西山 信大 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	西山 信大 (41) 令和2年4月 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	大西 俊一郎 (38) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	大西 俊一郎 (38) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	大西 俊一郎 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	大西 俊一郎 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	大西 俊一郎 (41) 令和2年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	講師	市村 康典 (36) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	市村 康典 (36) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	市村 康典 (37) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	市村 康典 (38) 令和2年4月 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	吉村 怜 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	吉村 怜 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	吉村 怜 (41) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	講師	松瀬 大 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	松瀬 大 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	松瀬 大 (41) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	講師	澤本 良子 (38) 平成29年4月 博士(医学)												
		臨床実習Ⅳ(実践)												
専	講師	木村 大 (37) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	木村 大 (37) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	木村 大 (38) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	木村 大 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	木村 大 (40) 令和2年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	講師	川島 宏稔 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (36) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (37) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (38) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (39) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	講師	上原 孝紀 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	上原 孝紀 (39) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	上原 孝紀 (40) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	上原 孝紀 (41) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	長谷川 康 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	長谷川 康 (39) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	専	講師	長谷川 康 (40) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	専	講師	長谷川 康 (41) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)			
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			
			兼任	講師	長谷川 康 (39) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	長谷川 康 (40) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	長谷川 康 (41) 平成29年4月 博士(医学)			
					器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			
専	講師	平野 佑樹 (37) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (37) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (38) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (39) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (40) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						兼任	講師	平野 佑樹 (38) 平成30年4月 博士(医学)	兼任	講師	平野 佑樹 (39) 平成30年4月 博士(医学)			
								器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			
専	講師	眞柳 修平 (35) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	眞柳 修平 (35) 平成30年4月 博士(医学)									
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)									
専	講師	菊池 弘人 (34) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	菊池 弘人 (34) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)									
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)									
専	講師	中島 崇裕 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	中島 崇裕 (40) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	中島 崇裕 (41) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	中島 崇裕 (42) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	鈴木 秀海 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	鈴木 秀海 (40) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	鈴木 秀海 (41) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	鈴木 秀海 (42) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	若宮 富浩 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (36) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (37) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (38) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (39) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)
専	講師	Gao Feng 高峰(33) 平成29年4月 PhD(香港)	専	講師	Gao Feng 高峰(33) <b>令和2年4月</b> PhD(香港)									
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)									



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	講師	辰巳 智章 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	辰巳 智章 (46) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	辰巳 智章 (47) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	辰巳 智章 (48) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)				
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	講師	宮川 麻衣子 (36) 平成29年4月 博士(医学)													
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)													
専	講師	吉村 豪兼 (35) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	吉村 豪兼 (35) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	吉村 豪兼 (36) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	吉村 豪兼 (37) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)				
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	講師	谷口 隆志 (34) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	谷口 隆志 (34) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	谷口 隆志 (35) 平成29年4月 博士(医学)							
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)							
専	講師	鳥海 正博 (35) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	鳥海 正博 (35) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	鳥海 正博 (36) <b>平成30年4月</b> 博士(医学)	専	講師	鳥海 正博 (37) <b>平成30年4月</b> 博士(医学)	専	講師	鳥海 正博 (38) <b>平成30年4月</b> 博士(医学)	
		臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)	
専	講師	高橋 涉 (33) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	高橋 涉 (33) <b>平成30年4月</b> 博士(医学)	専	講師	高橋 涉 (34) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	講師	高橋 涉 (35) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)				
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
			兼任	講師	高橋 涉 (33) <b>平成30年2月</b> 博士(医学)	兼任	講師	高橋 涉 (34) <b>平成30年2月</b> 博士(医学)	兼任	講師	高橋 涉 (35) <b>平成30年2月</b> 博士(医学)				
					器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学				
専	講師	Chiung-Wen Kuo (45) 平成29年4月 Ph. D. (台湾)	専	講師	Chiung-Wen Kuo (45) <b>令和2年4月</b> Ph. D. (台湾)	専	講師	Chiung-Wen Kuo (46) <b>令和2年4月</b> Ph. D. (台湾)							
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)							
専	講師	亀卦川 喜美子 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	亀卦川 喜美子 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	亀卦川 喜美子 (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	亀卦川 喜美子 (42) 平成29年4月 博士(医学)				
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	講師	手塚 修一 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	手塚 修一 (44) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	専	講師	手塚 修一 (45) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	専	講師	手塚 修一 (46) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	専	講師	手塚 修一 (47) <b>平成31年4月</b> 博士(医学)	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	講師	山口 学 (38) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	山口 学 (38) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	山口 学 (39) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	山口 学 (40) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	山口 学 (41) 平成29年4月 学士(医学)	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専	講師	川又 竜 (41) 平成29年4月													
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)													
専	講師	増瀬 達夫 (44) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	増瀬 達夫 (44) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	増瀬 達夫 (45) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	増瀬 達夫 (46) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	増瀬 達夫 (47) 平成30年2月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専	講師	竹腰 知紀 (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	竹腰 知紀 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	竹腰 知紀 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	竹腰 知紀 (44) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	竹腰 知紀 (45) 平成29年4月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専	講師	國松 奈津子 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	國松 奈津子 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	國松 奈津子 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	國松 奈津子 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	國松 奈津子 (49) 平成29年4月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専	講師	酒井 元 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	酒井 元 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	酒井 元 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	酒井 元 (41) 令和2年4月 博士(医学)				
		総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
			兼任	講師	酒井 元 (39) 平成31年4月 博士(医学)	兼任	講師	酒井 元 (40) 平成31年4月 博士(医学)	兼任	講師	酒井 元 (41) 平成31年4月 博士(医学)				
					総合臨床医学			総合臨床医学			総合臨床医学				
専	講師	吉原 一文 (51) 平成29年4月 博士(医学)													
		臨床実習Ⅳ(実践)													
専	講師	古川 智一 (45) 平成29年4月 博士(医学)													
		臨床実習Ⅳ(実践)													
専	講師	榊原 雅裕 (50) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	榊原 雅裕 (50) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	榊原 雅裕 (51) 平成29年10月 博士(医学)							
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)							
専	講師	緒方 敦之 (38) 平成29年4月 博士(医学)													
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)													
			専	講師	吉岡 史隆 (37) 平成29年7月										
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)										

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	河村 陽一郎 (35) 平成29年4月	専	講師	河村 陽一郎 (36) 令和2年4月	専	講師	河村 陽一郎 (36) 令和2年4月	専	講師	河村 陽一郎 (36) 令和2年4月	専	講師	河村 陽一郎 (36) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	市来 智子 (44) 平成29年8月 博士(医学)	専	講師	市来 智子 (44) 平成29年8月 博士(医学)	専	講師	市来 智子 (45) 平成29年8月 博士(医学)	専	講師	市来 智子 (46) 平成29年8月 博士(医学)
					器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	福島 司 (41) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	福島 司 (42) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	福島 司 (43) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	福島 司 (43) 令和2年4月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	細谷 幸司 (47) 平成30年4月 学士(医学)	専	講師	細谷 幸司 (48) 平成30年8月 学士(医学)	専	講師	細谷 幸司 (49) 平成30年8月 学士(医学)	専	講師	細谷 幸司 (50) 平成30年8月 学士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	吉岡 広陽 (42) 平成29年4月 博士(生命科学)	専	講師	吉岡 広陽 (43) 平成29年4月 博士(生命科学)	専	講師	吉岡 広陽 (44) 平成29年4月 博士(生命科学)	専	講師	吉岡 広陽 (45) 平成29年4月 博士(生命科学)
					医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習
			専	講師	地引 政利 (55) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	地引 政利 (55) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	地引 政利 (56) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	地引 政利 (57) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	黒木 聖子 (50) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	黒木 聖子 (50) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	黒木 聖子 (51) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	黒木 聖子 (52) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	服部 知洋 (49) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	服部 知洋 (49) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	服部 知洋 (50) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	服部 知洋 (51) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	小川 朋子 (49) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	小川 朋子 (49) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	小川 朋子 (50) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	小川 朋子 (51) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	安積 貴年 (46) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	安積 貴年 (46) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	安積 貴年 (47) 平成30年2月 博士(医学)	専	講師	安積 貴年 (48) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	講師	渡辺 浩史 (47) 平成30年2月 学士(医学)	専	講師	渡辺 浩史 (47) 平成30年2月 学士(医学)	専	講師	渡辺 浩史 (47) 平成30年2月 学士(医学)	専	講師	渡辺 浩史 (48) 平成30年2月 学士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	講師	別所 雅彦 (45) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	別所 雅彦 (47) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	別所 雅彦 (45) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	別所 雅彦 (47) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	別所 雅彦 (45) 平成30年2月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専任	講師	古山 桂太郎 (44) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	古山 桂太郎 (44) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	古山 桂太郎 (45) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	古山 桂太郎 (48) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	古山 桂太郎 (48) 平成30年2月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専任	講師	Muzembo Basilua Andre (44) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	Muzembo Basilua Andre (44) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	Muzembo Basilua Andre (45) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	Muzembo Basilua Andre (46) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	Muzembo Basilua Andre (46) 平成30年4月 博士(医学)	
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 社会医学Ⅴ(演習)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 社会医学Ⅴ(演習)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 社会医学Ⅴ(演習)	
専任	講師	坪井 優 (42) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	坪井 優 (42) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	坪井 優 (43) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	坪井 優 (44) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	坪井 優 (44) 平成30年2月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専任	講師	MCLAUGHLIN MATTHEW JAMES (39) 平成30年4月	専任	講師		専任	講師		専任	講師		専任	講師		
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)													
専任	講師	Munkhtuya Tumurkhuu (40) 平成30年3月 博士(医学)	専任	講師	Munkhtuya Tumurkhuu (40) 平成30年3月 博士(医学)	専任	講師	Munkhtuya Tumurkhuu (41) 平成30年3月 博士(医学)	専任	講師	Munkhtuya Tumurkhuu (42) 平成30年3月 博士(医学)	専任	講師	Munkhtuya Tumurkhuu (42) 平成30年3月 博士(医学)	
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	
専任	講師	Edenetsogt Dungubat (42) 平成30年3月 医学博士	専任	講師	Edenetsogt Dungubat (42) 平成30年3月 医学博士	専任	講師	Edenetsogt Dungubat (43) 平成30年3月 医学博士	専任	講師	Edenetsogt Dungubat (44) 平成30年3月 医学博士	専任	講師	Edenetsogt Dungubat (44) 平成30年3月 医学博士	
		基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)			基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)			基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)			基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)			基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)	
専任	講師	田中 真生 (42) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	田中 真生 (42) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	田中 真生 (43) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	田中 真生 (44) 平成30年4月 博士(医学)	専任	講師	田中 真生 (44) 平成30年4月 博士(医学)	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
専任	講師	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (43) 平成30年3月	専任	講師	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (43) 平成30年3月	専任	講師	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (44) 平成30年3月	専任	講師	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (45) 平成30年3月	専任	講師	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (45) 平成30年3月	
		修士(比較文化) 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			修士(比較文化) 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			修士(比較文化) 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			修士(比較文化) 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			修士(比較文化) 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)	
専任	講師	Kazi Selim Anwar (62) 平成30年4月 M.Phil	専任	講師	Kazi Selim Anwar (62) 平成30年4月 M.Phil	専任	講師	Kazi Selim Anwar (63) 平成30年4月 M.Phil	専任	講師	Kazi Selim Anwar (64) 平成30年4月 M.Phil	専任	講師	Kazi Selim Anwar (64) 平成30年4月 M.Phil	
		感染症			感染症			感染症			感染症			感染症	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					稲田 朋晃 (42) 平成29年4月 博士(学術)			稲田 朋晃 (43) 平成30年2月 博士(学術)			稲田 朋晃 (44) 平成30年2月 博士(学術)			
			兼任	講師	日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			
専	助教	竹島 憲一郎 (36) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	竹島 憲一郎 (37) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	竹島 憲一郎 (38) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	竹島 憲一郎 (39) 平成29年4月 学士(医学)	専	講師	竹島 憲一郎 (39) 平成29年4月 学士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)
専	助教	中山 政憲 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	中山 政憲 (39) 平成30年4月 博士(医学)	専	助教	中山 政憲 (40) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	中山 政憲 (41) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	中山 政憲 (42) 平成30年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)
兼任	准教授	稲井 広夢 (41) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	稲井 広夢 (41) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	稲井 広夢 (42) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	稲井 広夢 (43) 平成30年2月 博士(医学)	専任	講師	稲井 広夢 (44) 平成30年2月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	講師	高木 祐介 (38) 平成31年1月 博士(医学)			
											臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
									専	講師	大橋(木下) 陽子 (54) 平成31年1月 博士(医学)	専	講師	大橋(木下) 陽子 (55) 平成31年1月 博士(医学)
											臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	講師	大倉 直樹 (40) 平成31年4月 博士(医学)	専	講師	大倉 直樹 (41) 平成31年4月 博士(医学)
											臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
									専	講師	半田 聡 (42) 平成31年1月 学士(医学)	専	講師	半田 聡 (43) 平成31年1月 学士(医学)
											臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 胎児・小児の成長と疾患 (成育と臨床)
									専	講師	高橋(穴戸) 菜穂美 (35) 平成31年1月 博士(医学)			
											臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
													専 講師	石田 隆 (37) 令和元年7月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	山下 力 (48) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	井原 基公 (46) 令和2年1月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	千葉 拓世 (40) 令和2年1月 学士(医学) 救急と集中治療 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	田島 拓 (39) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	伴 由布子 (51) 令和2年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	中川 良 (42) 令和2年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	遠山 哲夫 (41) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
													専 講師	黒住 献 (37) 令和2年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	菅田 陽太 (35) 平成29年4月 修士(医科学) 医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	山口 るつ子 (45) 平成30年4月 修士(公衆衛生学)	専	助教	山口 るつ子 (45) 平成30年4月 修士(公衆衛生学)	専	助教	山口 るつ子 (45) 平成30年4月 修士(公衆衛生学)	専	助教	山口 るつ子 (45) 平成30年4月 修士(公衆衛生学)	専	助教	山口 るつ子 (45) 平成30年4月 修士(公衆衛生学)
		社会医学Ⅴ(演習)			社会医学Ⅴ(演習)			社会医学Ⅴ(演習)			社会医学Ⅴ(演習)			社会医学Ⅴ(演習)
専	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa(37) 平成29年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa(37) 平成31年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa(38) 平成31年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa(38) 平成31年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa(38) 平成31年4月 修士(医療福祉経営)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅴ(演習)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅴ(演習)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅴ(演習)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅴ(演習)			国際医療保健学Ⅰ(入門) 社会医学Ⅴ(演習)
専	助教	ZHAO YANJIE 趙 衍捷(31) 平成29年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	ZHAO YANJIE 趙 衍捷(31) 平成29年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	ZHAO YANJIE 趙 衍捷(32) 平成29年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	ZHAO YANJIE 趙 衍捷(32) 平成29年4月 修士(医療福祉経営)	専	助教	ZHAO YANJIE 趙 衍捷(33) 平成29年4月 修士(医療福祉経営)
		海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験
専	助教	Choomplang Nattadech(31) 平成29年4月 修士(政治学)	専	助教	Choomplang Nattadech(31) 平成29年4月 修士(政治学)	専	助教	Choomplang Nattadech(32) 平成29年4月 修士(政治学)	専	助教	Choomplang Nattadech(33) 平成29年4月 修士(政治学)	専	助教	Choomplang Nattadech(34) 平成29年4月 修士(政治学)
		海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験
専	助教	Khatiwada Januka (30) 平成30年4月 Master degree:Social Work (修士)	専	助教	Khatiwada Januka (30) 平成30年4月 Master degree:Social Work (修士)	専	助教	Khatiwada Januka (31) 平成30年4月 Master degree:Social Work (修士)	専	助教	Khatiwada Januka (32) 平成30年4月 Master degree:Social Work (修士)	専	助教	Khatiwada Januka (33) 平成30年4月 Master degree:Social Work (修士)
		海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験
専	助教	JIANG HONG 姜 紅(38) 平成30年4月 修士(保健医療学)	専	助教	JIANG HONG 姜 紅(38) 平成30年4月 修士(保健医療学)	専	助教	JIANG HONG 姜 紅(39) 平成31年4月 修士(保健医療学)	専	助教	JIANG HONG 姜 紅(40) 平成31年4月 修士(保健医療学)	専	助教	JIANG HONG 姜 紅(41) 平成31年4月 修士(保健医療学)
		海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験
専	助教	Tamerlan Babayev (30) 平成29年4月 MBBS(修士)	専	助教	Tamerlan Babayev (30) 平成29年4月 MBBS(修士)	専	助教	Tamerlan Babayev (31) 平成29年4月 MBBS(修士)	専	助教	Tamerlan Babayev (32) 平成29年4月 MBBS(修士)	専	助教	Tamerlan Babayev (33) 平成29年4月 MBBS(修士)
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践)			英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ (入門) 医療面接・身体診察Ⅱ (応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践)
専	助教	Pham Duy Tai (40) 平成29年4月 修士(学術)	専	助教	Pham Duy Tai (40) 平成29年7月 修士(学術)	専	助教	Pham Duy Tai (41) 令和2年4月 修士(学術)	専	助教	Pham Duy Tai (42) 令和2年4月 修士(学術)	専	助教	Pham Duy Tai (42) 令和2年4月 修士(学術)
		海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験
専	助教	鈴木 健一 (40) 平成31年4月 学士(医学)	専	助教	鈴木 健一 (40) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	鈴木 健一 (41) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	鈴木 健一 (42) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	鈴木 健一 (42) 令和2年4月 学士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	高柳 晋 (35) 平成30年4月 学士(医学)	専	助教	高柳 晋 (35) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	高柳 晋 (36) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	高柳 晋 (37) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	高柳 晋 (37) 令和2年4月 学士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	東ヶ崎 絵美 (35) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	東ヶ崎 絵美 (35) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	東ヶ崎 絵美 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	東ヶ崎 絵美 (37) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	東ヶ崎 絵美 (38) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	細田 豊 (44) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	細田 豊 (44) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	細田 豊 (45) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	細田 豊 (46) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	細田 豊 (47) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	鋪野 紀好 (34) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	鋪野 紀好 (34) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	助教	鋪野 紀好 (35) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)	専	助教	鋪野 紀好 (36) <b>令和2年4月</b> 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	助教	岡本 宗史 (35) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	岡本 宗史 (35) <b>平成30年4月</b> 学士(医学)	専	助教	岡本 宗史 (36) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	岡本 宗史 (37) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学			
専	助教	LIU XUAN 劉 軒(29) 平成29年4月	専	助教	LIU XUAN 劉 軒(29) <b>令和2年4月</b>	専	助教	LIU XUAN 劉 軒(30) <b>令和2年4月</b>						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	助教	埜 真輔 (35) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	埜 真輔 (35) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	埜 真輔 (36) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	埜 真輔 (37) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	助教	河原井 麗正 (38) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	河原井 麗正 (38) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	河原井 麗正 (39) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	河原井 麗正 (40) <b>平成31年4月</b> 学士(医学)	専	助教	河原井 麗正 (41) <b>平成31年4月</b> 学士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 発生・出産 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))
専	助教	木内 智喜 (30) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	木内 智喜 (30) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	木内 智喜 (31) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	木内 智喜 (32) <b>平成31年4月</b> 学士(医学)	専	助教	木内 智喜 (33) <b>平成31年4月</b> 学士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)
専	助教	梶田 大樹 (30) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	梶田 大樹 (30) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	梶田 大樹 (31) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	梶田 大樹 (32) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)			
		臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			臨床実習Ⅲ(専門)			
専	助教	桑原 大輔 (32) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	桑原 大輔 (32) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	桑原 大輔 (33) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)	専	助教	桑原 大輔 (34) <b>令和2年4月</b> 学士(医学)			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	助教	The Pe Win (40) 平成29年4月 M Med Tech (Medical Imaging Technology) (マヤマヤ)	専	助教	The Pe Win (40) <b>令和2年4月</b> M Med Tech (Medical Imaging Technology) (マヤマヤ)	専	助教	The Pe Win (41) <b>令和2年4月</b> M Med Tech (Medical Imaging Technology) (マヤマヤ)	専	助教	The Pe Win (42) <b>令和2年4月</b> M Med Tech (Medical Imaging Technology) (マヤマヤ)			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	佐竹 洋之 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	佐竹 洋之 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	佐竹 洋之 (37) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	佐竹 洋之 (38) 平成29年4月 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	助教	岩堀 浩也 (30) 平成29年4月	専	助教	岩堀 浩也 (30) 平成29年4月	専	助教	岩堀 浩也 (31) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	助教	谷口 浩久 (31) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	谷口 浩久 (31) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	谷口 浩久 (32) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	谷口 浩久 (33) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	谷口 浩久 (34) 平成29年4月 学士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 講習別統合講義Ⅰ(循環器系)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 講習別統合講義Ⅰ(循環器系)
専	助教	瀬川 知 (49) 平成29年4月												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	助教	平馬 誠之 (34) 平成29年4月	専	助教	平馬 誠之 (34) 平成29年4月	専	助教	平馬 誠之 (35) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	助教	金子 真也 (32) 平成29年4月												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	助教	山田 純子 (37) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	山田 純子 (37) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	山田 純子 (38) 令和2年4月 学士(医学)	専	助教	山田 純子 (39) 令和2年4月 学士(医学)			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	助教	小川 裕介 (36) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	小川 裕介 (36) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	小川 裕介 (37) 平成29年4月 学士(医学)	専	助教	小川 裕介 (38) 平成29年4月 学士(医学)			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	助教	諫見 有紀 (31) 平成29年4月	専	助教	諫見 有紀 (31) 平成29年4月									
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)									
専	助教	河合 徹 (32) 平成29年4月 bachelor of medicine(台湾)	専	助教	河合 徹 (32) 平成29年4月 bachelor of medicine(台湾)									
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)									
専	助教	西尾 信哉 (44) 平成31年4月 博士(理学)	専	助教	西尾 信哉 (44) 令和2年4月 博士(理学)	専	助教	西尾 信哉 (45) 平成31年4月 博士(理学)	専	助教	西尾 信哉 (46) 令和2年4月 博士(理学)			
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			
			兼任	講師	西尾 信哉 (45) 平成31年4月 博士(理学)	兼任	講師	西尾 信哉 (45) 平成31年4月 博士(理学)						
					基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Khandakar Mohammad Anwarul Haque (43) 平成30年4月 博士(医学)
		感染症
専	助教	Vitalii Lythnev (30) 平成29年4月 bachelor of medicine (D17)
		海外医療体験
専	助教	Maung Thein Htaik (46) 平成29年4月 学士(教育学)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	助教	森 清人 (39) 平成30年4月 学士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	徳永 聡 (37) 平成29年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	郡 隆輔 (37) 平成29年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	黒木 亮太 (34) 平成29年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	黒木 愛 (34) 平成29年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	Gu Rui 顾 蕊 (37) 平成29年4月 Doctoral Degree: (Clinical) in Rehabilitation and Physical Therapy (中国)
		臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	柳 裕代 (49) 平成29年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	鈴木 知子 (56) 平成29年4月 博士(薬学)
		社会医学Ⅴ(演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Khandakar Mohammad Anwarul Haque (43) 平成30年4月 博士(医学)
		感染症
専	助教	Vitalii Lythnev (30) 平成29年4月 bachelor of medicine (D17)
		海外医療体験
専	助教	Maung Thein Htaik (46) 平成29年4月 学士(教育学)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	助教	森 清人 (39) 平成30年4月 学士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	徳永 聡 (37) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	黒木 亮太 (34) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	黒木 愛 (34) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	Gu Rui 顾 蕊 (37) 令和2年4月 Doctoral Degree: (Clinical) in Rehabilitation and Physical Therapy (中国)
		臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	柳 裕代 (49) 平成29年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	鈴木 知子 (56) 平成29年4月 博士(薬学)
		社会医学Ⅴ(演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Khandakar Mohammad Anwarul Haque (44) 平成30年4月 博士(医学)
		感染症
専	助教	Vitalii Lythnev (31) 平成29年4月 bachelor of medicine (D17)
		海外医療体験
専	助教	Maung Thein Htaik (47) 平成29年4月 学士(教育学)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	助教	森 清人 (40) 令和2年4月 学士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	徳永 聡 (38) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	黒木 亮太 (35) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	黒木 愛 (35) 令和2年4月
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	Gu Rui 顾 蕊 (38) 平成30年4月 Doctoral Degree: (Clinical) in Rehabilitation and Physical Therapy (中国)
		臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	鈴木 知子 (57) 平成29年4月 博士(薬学)
		社会医学Ⅴ(演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Khandakar Mohammad Anwarul Haque (45) 平成30年4月 博士(医学)
		感染症
専	助教	Vitalii Lythnev (32) 平成29年4月 bachelor of medicine (D17)
		海外医療体験
専	助教	Maung Thein Htaik (48) 平成29年4月 学士(教育学)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	助教	森 清人 (41) 令和2年4月 学士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	Gu Rui 顾 蕊 (39) 平成30年4月 Doctoral Degree: (Clinical) in Rehabilitation and Physical Therapy (中国)
		臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	鈴木 知子 (58) 平成29年4月 博士(薬学)
		社会医学Ⅴ(演習) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Khandakar Mohammad Anwarul Haque (46) 平成30年4月 博士(医学)
		感染症
専	助教	Vitalii Lythnev (33) 平成29年4月 bachelor of medicine (D17)
		海外医療体験
専	助教	Maung Thein Htaik (49) 平成29年4月 学士(教育学)
		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専	助教	森 清人 (42) 令和2年4月 学士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	Gu Rui 顾 蕊 (40) 平成30年4月 Doctoral Degree: (Clinical) in Rehabilitation and Physical Therapy (中国)
		臨床実習Ⅳ(実践)
専	助教	鈴木 知子 (59) 平成29年4月 博士(薬学)
		社会医学Ⅴ(演習) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
			専	講師	山田 祐 (43) 平成29年7月 学士(医学)	専	助教	山田 祐 (44) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	山田 祐 (45) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	山田 祐 (46) 平成30年2月 学士(医学)
					臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅳ(実践) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)			臨床実習Ⅳ(実践) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)
			専	助教	高西 貴広 (34) 平成29年9月 学士(医学)	専	助教	高西 貴広 (35) 平成29年8月 学士(医学)	専	助教	高西 貴広 (36) 平成29年8月 学士(医学)	専	助教	高西 貴広 (37) 平成29年8月 学士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)
			専	助教	Hasan Arif UI (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	Hasan Arif UI (41) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	Hasan Arif UI (42) 平成29年4月 博士(医学)	専	助教	Hasan Arif UI (43) 平成29年4月 博士(医学)
											基礎医学総論Ⅴ(薬理学)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学)
			専	助教	Rahman Md Asadur (33) 平成29年4月	専	助教	Rahman Md Asadur (34) 平成29年4月						
兼任	講師	吉永 隆 (41) 平成29年4月 学士(医学)	兼任	講師	吉永 隆 (41) 平成29年4月 学士(医学)	専任	助教	吉永 隆 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専任	助教	吉永 隆 (43) 平成30年2月 学士(医学)			
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
			専	助教	中島 理奈 (32) 平成30年7月 学士(医学)	専	助教	中島 理奈 (32) 平成30年7月 学士(医学)	専	助教	中島 理奈 (33) 平成30年7月 学士(医学)			
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
			専	助教	木村 聖美 (52) 平成30年2月	専	助教	木村 聖美 (52) 平成30年2月						
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
			専	助教	佐野 美智子 (48) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専	助教	佐野 美智子 (48) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専	助教	佐野 美智子 (49) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専	助教	佐野 美智子 (50) 平成30年2月 修士(応用日本語学)
					海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験			海外医療体験
			専	助教	上原 燈紀子 (43) 平成30年2月 修士(医学)	専	助教	上原 燈紀子 (43) 平成30年2月 修士(医学)	専	助教	上原 燈紀子 (44) 平成30年2月 修士(医学)	専	助教	上原 燈紀子 (45) 平成30年2月 修士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	助教	福留 潤 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	福留 潤 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	福留 潤 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	福留 潤 (43) 平成30年2月 学士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専	助教	村上 文祥 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	村上 文祥 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	村上 文祥 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	村上 文祥 (43) 平成30年2月 学士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)
			専	助教	杉崎 顕史 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	杉崎 顕史 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	杉崎 顕史 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専	助教	杉崎 顕史 (43) 平成30年2月 学士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
								小川 明子 (39) 平成30年2月 学士(医学)						小川 明子 (41) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								梅田 理美子 (40) 平成30年2月 学士(医学)						梅田 理美子 (42) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								関 広幸 (38) 平成30年2月 学士(医学)						関 広幸 (38) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								高橋 茜 (36) 平成30年2月 学士(医学)						高橋 茜 (38) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								齊藤 大樹 (36) 平成30年2月						
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
								上田 龍大 (36) 平成30年2月 学士(医学)						上田 龍大 (38) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								柴 利昌 (36) 平成30年2月						
							専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
								磯貝 宣広 (35) 平成30年2月 学士(医学)						磯貝 宣広 (37) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								高橋(笠島) 涼子 (35) 平成30年2月						
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
								柘植 俊介 (35) 平成30年2月 学士(医学)						柘植 俊介 (37) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
								三浦 俊介 (33) 平成30年2月						
							専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
								今井 俊一 (32) 平成30年2月 学士(医学)						今井 俊一 (33) 平成30年2月 学士(医学)
							専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			専	助教	中太 淳平 (32) 平成30年2月										
			専	助教	山崎 薫子 (31) 平成30年2月 MPH				専	助教	山崎 薫子 (32) 平成30年2月 MPH		専	助教	山崎 薫子 (33) 平成30年2月 MPH
			専	助教	柿沼 薫 (30) 平成30年2月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			専	助教	柿沼 薫 (31) 平成30年2月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	助教	柿沼 薫 (32) 平成30年2月 学士(医学)
			専	助教	Derimesa Garbet (33) 平成30年3月 博士(病理学)	基礎医学総論Ⅹ(病理学演習)			専	助教	Derimesa Garbet (34) 平成30年3月 博士(病理学)	基礎医学総論Ⅹ(病理学演習)	専	助教	Derimesa Garbet (35) 平成30年3月 博士(病理学)
			専	助教	Byambastseren Jambaljav (37) 平成30年4月 医学士	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)			専	助教	Byambastseren Jambaljav (38) 平成30年4月 医学士	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	専	助教	Byambastseren Jambaljav (39) 平成30年4月 医学士
			専	助教	武藤(森村) 真由子 (32) 平成30年3月	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)									
			専	助教	橋 徳剛 (39) 平成30年4月 医学博士	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			専	助教	橋 徳剛 (40) 平成30年4月 医学博士	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
			専	助教	松岡 亮介 (41) 平成30年7月 学士(医学)	基礎医学総論Ⅹ(病理学演習)			専	助教	松岡 亮介 (42) 平成30年7月 学士(医学)	基礎医学総論Ⅹ(病理学演習)	専	助教	松岡 亮介 (43) 平成30年7月 学士(医学)
									専	助教	向井 秀幸 (40) 平成31年4月 学士(医学)	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
									専	助教	伊藤 文人 (38) 平成31年4月 学士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	助教	伊藤 文人 (39) 平成31年4月 学士(医学)
									専	助教	加藤 孝征 (34) 平成31年1月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	助教	加藤 孝征 (35) 平成31年1月 学士(医学)



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
														岡 愛子 (33) 令和元年7月 学士(医学)	
														臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
														石井 名実子 (35) 令和元年9月 博士(医学)	
														社会医学Ⅲ(法医学)	
														小林 真麻 (33) 令和元年9月 学士(医学)	
														臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
														山田 晋之介 (40) 令和2年1月 博士(理学)	
														医療入門・正常解剖演習 正常人体解剖実習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	
														佐藤 愛子 (37) 令和2年4月 博士(医学)	
														臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
														Mary Raina Angeli Abad(30) 令和2年4月 Doctor of Medicine(MD)	
														医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医学英語 医療プロフェッションⅠ(入門) 医療プロフェッションⅡ(応用) 医療プロフェッションⅢ(発展) 海外医療体験 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)	
														平塚 康孝 (39) 令和2年4月 学士(医学)	
														臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
														木下 拓 (36) 令和2年4月 博士(医学)	
														臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	
														竹葉 清高 (34) 令和2年4月 学士(医学)	
														臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼担	教授 副学長	松谷 有希雄 (67) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼担	教授 副学長	松谷 有希雄 (67) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼担	教授 副学長	松谷 有希雄 (68) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼担	教授 副学長	松谷 有希雄 (69) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	専	助教	竹下 友一郎 (35) 令和2年4月 学士(医学)
		社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼担	教授	中村 秀一 (68) 平成29年4月	兼担	教授	中村 秀一 (68) 平成29年4月	兼担	教授	中村 秀一 (69) 平成29年4月						Katrina Fanjul (28) 令和2年4月 Master of Pharmacy (薬学修士)
		社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度						英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 海外医療体験
兼担	教授	坪倉 繁美 (64) 令和2年4月 修士(政治学)	兼担	教授	坪倉 繁美 (64) 令和2年4月 修士(政治学)	兼担	教授	坪倉 繁美 (65) 令和2年4月 修士(政治学)				兼担	教授 副学長	松谷 有希雄 (70) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						社会保障と医療制度
兼担	教授	久保 晃 (56) 令和2年4月 博士(医学)	兼担	教授	久保 晃 (56) 令和2年4月 博士(医学)	兼担	教授	久保 晃 (57) 令和2年4月 博士(医学)						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼担	教授	谷口 敬道 (51) 令和2年4月 博士(工学)	兼担	教授	谷口 敬道 (51) 令和2年4月 博士(工学)	兼担	教授	谷口 敬道 (52) 令和2年4月 博士(工学)						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼担	教授	畔上 恭彦 (58) 令和2年4月 修士(教育学)	兼担	教授	畔上 恭彦 (58) 令和2年4月 修士(教育学)	兼担	教授	畔上 恭彦 (59) 令和2年4月 修士(教育学)						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼担	教授	新井田 孝裕 (58) 令和2年4月 博士(医学)	兼担	教授	新井田 孝裕 (58) 令和2年4月 博士(医学)	兼担	教授	新井田 孝裕 (59) 令和2年4月 博士(医学)						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼担	教授	勝俣 健一郎 (66) 令和2年4月	兼担	教授	勝俣 健一郎 (66) 令和2年4月	兼担	教授	勝俣 健一郎 (67) 令和2年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼担	教授	小林 雅彦 (59) 令和2年4月 修士(社会福祉学)	兼担	教授	小林 雅彦 (59) 令和2年4月 修士(社会福祉学)	兼担	教授	小林 雅彦 (60) 令和2年4月 修士(社会福祉学)						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 敬子 (63) 令和2年4月 博士(薬学)
		関連職種連携ワーク
兼任	教授	稲垣 誠一 (61) 平成29年4月 博士(経済学)
		数学 統計学
兼任	教授	宮嶋 宏行 (47) 平成29年4月 博士(工学)
		物理学
兼任	教授	松野 義晴 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習
兼任	教授	高見澤 聡 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	橋本 雅章 (60) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	三宅 克也 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		正常人体解剖実習
兼任	講師	村上 大介 (60) 平成29年4月 教養学士
		国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 敬子 (64) 令和2年4月 博士(薬学)
		関連職種連携ワーク
兼任	教授	稲垣 誠一 (61) 平成29年4月 博士(経済学)
		数学 統計学
兼任	教授	宮嶋 宏行 (47) 平成29年4月 博士(工学)
		物理学
兼任	教授	鷹島 晴雄 (71) 平成29年4月 博士(医学)
		医学史
兼任	教授	松野 義晴 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習
兼任	教授	高見澤 聡 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	橋本 雅章 (60) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	三宅 克也 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		正常人体解剖実習
兼任	教授	村上 大介 (60) 平成29年4月 教養学士
		国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 敬子 (64) 令和2年4月 博士(薬学)
		関連職種連携ワーク
兼任	教授	稲垣 誠一 (62) 平成29年4月 博士(経済学)
		数学 統計学
兼任	教授	宮嶋 宏行 (48) 平成29年4月 博士(工学)
		物理学
兼任	教授	鷹島 晴雄 (72) 平成29年4月 博士(医学)
		医学史
兼任	教授	松野 義晴 (52) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習
兼任	教授	高見澤 聡 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	橋本 雅章 (61) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	三宅 克也 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		正常人体解剖実習
兼任	教授	村上 大介 (61) 平成29年4月 教養学士
		国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	稲垣 誠一 (63) 平成29年4月 博士(経済学)
		数学 統計学
兼任	教授	宮嶋 宏行 (49) 平成29年4月 博士(工学)
		物理学
兼任	教授	鷹島 晴雄 (73) 平成29年4月 博士(医学)
		医学史
兼任	教授	松野 義晴 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習
兼任	教授	高見澤 聡 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	橋本 雅章 (62) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	三宅 克也 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		正常人体解剖実習
兼任	教授	村上 大介 (62) 平成29年4月 教養学士
		国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学
兼任	教授	城間 将江 (66) 平成31年4月 博士(医学)
		関連職種連携ワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	稲垣 誠一 (64) 平成29年4月 博士(経済学)
		数学 統計学
兼任	教授	宮嶋 宏行 (50) 平成29年4月 博士(工学)
		物理学
兼任	教授	鷹島 晴雄 (74) 平成29年4月 博士(医学)
		医学史
兼任	教授	松野 義晴 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習 医療生物学
兼任	教授	高見澤 聡 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	橋本 雅章 (63) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	三宅 克也 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		正常人体解剖実習
兼任	教授	村上 大介 (63) 平成29年4月 教養学士
		国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学
兼任	教授	城間 将江 (67) 平成31年4月 博士(医学)
		関連職種連携ワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	准教授	小川 俊夫 (51) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (51) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (52) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (53) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (51) 平成29年4月 博士(医学)
		国際機関論			国際機関論			国際機関論			国際機関論			国際機関論
兼任	准教授	清宮 正徳 (53) 平成29年4月 博士(医学)							兼任	准教授	清宮 正徳 (56) 平成31年4月 博士(医学)	兼任	准教授	清宮 正徳 (57) 平成31年4月 博士(医学)
		化学									関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	准教授	福井 譲 (45) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	准教授	福井 譲 (45) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	准教授	福井 譲 (46) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	准教授	福井 譲 (47) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	准教授	福井 譲 (48) 平成29年4月 博士(学術)
		日本の近現代史			日本の近現代史			日本の近現代史			日本の近現代史			日本の近現代史
兼任	准教授	大橋 成孝 (45) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	大橋 成孝 (45) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	大橋 成孝 (46) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	大橋 成孝 (47) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	准教授	大橋 成孝 (47) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	講師	保川 信行 (43) 平成29年4月	兼任	准教授	保川 信行 (43) 平成29年4月									
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	YANG SUNGHOON 梁 成勲(46) 平成29年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	講師	佐藤 寛子 (44) 平成29年4月 博士(フランス研究学) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)
兼任	講師	茅野 正雄 (50) 平成29年4月 修士(応用言語学) 日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	YANG SUNGHOON 梁 成勲(46) 平成29年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	講師	佐藤 寛子 (44) 平成29年4月 博士(フランス研究学) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)
兼任	講師	茅野 正雄 (50) 平成29年4月 修士(応用言語学) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	YANG SUNGHOON 梁 成勲(47) 平成29年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	准教授	坂本 真史 (44) 平成30年4月 博士(法務専門職) 法と医療
兼任	講師	佐藤 寛子 (45) 平成29年4月 博士(フランス研究学) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)
兼任	講師	茅野 正雄 (51) 平成29年4月 修士(応用言語学) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	YANG SUNGHOON 梁 成勲(48) 平成29年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	准教授	坂本 真史 (45) 平成30年4月 博士(法務専門職) 法と医療
兼任	講師	佐藤 寛子 (46) 平成29年4月 博士(フランス研究学) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)
兼任	講師	茅野 正雄 (52) 平成29年4月 修士(応用言語学) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	YANG SUNGHOON 梁 成勲(49) 平成29年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	准教授	坂本 真史 (46) 平成30年4月 博士(法務専門職) 法と医療
兼任	講師	佐藤 寛子 (47) 平成29年4月 博士(フランス研究学) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)
兼任	講師	茅野 正雄 (53) 平成29年4月 修士(応用言語学) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
			兼任	講師	品川 なぎさ (45) 平成29年4月 修士(文学)			品川 なぎさ (46) 平成29年4月 修士(文学)			品川 なぎさ (47) 平成29年4月 修士(文学)			品川 なぎさ (48) 平成29年4月 修士(文学)
					日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表・討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表・討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表・討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表・討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙
兼任	教授	戸松 義晴 (63) 平成29年4月 修士(神学)	兼任	教授	戸松 義晴 (63) 平成29年4月 修士(神学)			戸松 義晴 (64) 平成29年4月 修士(神学)			戸松 義晴 (65) 平成29年4月 修士(神学)			戸松 義晴 (66) 平成29年4月 修士(神学)
		死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション
											平野 大輔 (37) 平成31年4月 博士(保健医療学)			平野 大輔 (38) 平成31年4月 博士(保健医療学)
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
											五味 幸寛 (37) 平成31年4月 博士(障害科学)			五味 幸寛 (38) 平成31年4月 博士(障害科学)
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
											松田 真由美 (41) 平成29年4月			松田 真由美 (42) 平成29年4月
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
											河野 健一 (35) 平成31年4月			河野 健一 (36) 平成31年4月
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
											山口 良考 (49) 平成31年4月 博士(医学)			山口 良考 (50) 平成31年4月 博士(医学)
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
											根本 友子 (51) 平成31年4月 修士(看護科学)			根本 友子 (52) 平成31年4月 修士(看護科学)
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
											大星 航 (31) 平成31年4月 博士(保健医療学)			大星 航 (32) 平成31年4月 博士(保健医療学)
											関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					山元 一晃 (32) 平成29年4月 博士(言語学)			山元 一晃 (33) 平成29年4月 博士(言語学)			山元 一晃 (34) 平成29年4月 博士(言語学)			山元 一晃 (34) 平成29年4月 博士(言語学)
			兼任	助教	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙 日本語Ⅴ-E(読解・作文)			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙 日本語Ⅴ-E(読解・作文)			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙 日本語Ⅴ-E(読解・作文)
			兼任	助教	加藤 林太郎 (36) 平成29年4月 修士(学術)			加藤 林太郎 (37) 平成29年4月 修士(学術)			加藤 林太郎 (38) 平成29年4月 修士(学術)			加藤 林太郎 (38) 平成29年4月 修士(学術)
			兼任	助教	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 日本語Ⅴ-E(読解・作文)			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 日本語Ⅴ-E(読解・作文)
兼任	講師	百島 祐貴 (63) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	百島 祐貴 (63) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	百島 祐貴 (64) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	百島 祐貴 (65) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	百島 祐貴 (66) 平成29年4月 博士(医学)
		医学史			医学史			医学史			医学史			医学史
兼任	講師	石田 麻子 (51) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	講師	石田 麻子 (51) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	講師	石田 麻子 (52) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	講師	石田 麻子 (53) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	講師	石田 麻子 (54) 平成29年4月 博士(学術)
		芸術政策論			芸術政策論			芸術政策論			芸術政策論			芸術政策論
兼任	講師	森 長秀 (48) 平成29年4月 修士(法学)	兼任	講師	森 長秀 (48) 平成29年4月 修士(法学)									
		法と医療			法と医療									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 和彦 (65) 平成29年4月 博士(工学)
		持続可能な発展
兼任	講師	Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim(27) 平成29年4月
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)
兼任	講師	Silvia Antonia del Socorro Martinez Espinoza (53) 平成29年4月
		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)
兼任	講師	張 佳恵 (51) 平成29年4月
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
兼任	講師	崔 誠姫 (39) 平成29年4月
		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)
兼任	講師	岡野 賢二 (49) 平成29年4月
		ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)
兼任	講師	齋藤 スニサー (46) 平成29年4月
		タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 和彦 (65) 平成29年4月 博士(工学)
		持続可能な発展
兼任	講師	東風谷 太一 (38) 平成29年4月 修士(学術)
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)
兼任	講師	Silvia Antonia del Socorro Martinez Espinoza (53) 平成29年4月
		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)
兼任	講師	張 佳恵 (51) 平成29年4月
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
兼任	講師	崔 誠姫 (39) 平成29年4月
		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)
兼任	講師	岡野 賢二 (49) 平成29年4月
		ビルマ語入門(会話含む)
兼任	講師	大澤 幸子 (46) 平成29年9月 修士(文学)
		ビルマ語応用(会話含む)
兼任	講師	齋藤 スニサー (46) 平成29年4月
		タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 和彦 (66) 平成29年4月 博士(工学)
		持続可能な発展
兼任	講師	東風谷 太一 (38) 平成29年4月 修士(学術)
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)
兼任	講師	Silvia Antonia del Socorro Martinez Espinoza (54) 平成29年4月
		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)
兼任	講師	張 佳恵 (52) 平成29年4月
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
兼任	講師	石川 薫 (42) 平成31年4月 博士(中国言語文化学)
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
兼任	講師	李 宣定 (39) 平成30年4月 修士(社会学)
		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)
兼任	講師	大澤 幸子 (47) 平成29年9月 修士(文学)
		ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)
兼任	講師	齋藤 スニサー (47) 平成29年4月
		タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 和彦 (67) 平成29年4月 博士(工学)
		持続可能な発展
兼任	講師	東風谷 太一 (39) 平成29年4月 修士(学術)
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)
兼任	講師	Silvia Antonia del Socorro Martinez Espinoza (55) 平成29年4月
		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)
兼任	講師	石川 薫 (43) 平成31年4月 博士(中国言語文化学)
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
兼任	講師	李 宣定 (40) 平成30年4月 修士(社会学)
		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)
兼任	講師	大澤 幸子 (48) 平成29年9月 修士(文学)
		ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)
兼任	講師	齋藤 スニサー (47)
		タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 和彦 (68) 平成29年4月 博士(工学)
		持続可能な発展
兼任	講師	東風谷 太一 (40) 平成29年4月 修士(学術)
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)
兼任	講師	Silvia Antonia del Socorro Martinez Espinoza (56) 平成29年4月
		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)
兼任	講師	石川 薫 (43) 平成31年4月 博士(中国言語文化学)
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
兼任	講師	李 宣定 (41) 平成30年4月 修士(社会学)
		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)
兼任	講師	大澤 幸子 (49) 平成29年9月 修士(文学)
		ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)
兼任	講師	齋藤 スニサー (46)
		タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	清水 英里 (44) 平成29年4月												
		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)												
兼任	講師	小川 有子 (46) 平成29年4月 修士(学術)	兼任	講師	小川 有子 (47) 平成29年4月 修士(学術)	兼任	講師	小川 有子 (48) 平成29年4月 修士(学術)	兼任	講師	小川 有子 (49) 平成29年4月 修士(学術)	兼任	講師	小川 有子 (49) 平成29年4月 修士(学術)
		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)			ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)			ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)			ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)			ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)
兼任	講師	Vivek Paul Pinto(65) 平成29年4月	兼任	講師										
		英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)												
兼任	講師	Christopher Thompson Litten (33) 平成29年4月	兼任	講師										
		英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)												
兼任	講師	Buck Eric Carson (32) 平成29年4月 MA	兼任	講師	Buck Eric Carson (33) 平成29年4月 MA	兼任	講師	Buck Eric Carson (34) 平成29年4月 MA	兼任	講師	Buck Eric Carson (35) 平成29年4月 MA	兼任	講師	Buck Eric Carson (35) 平成29年4月 MA
		英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)			英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)
兼任	准教授	光山(酒井) 奈保子 (50) 平成30年4月 博士(学術)	兼任	准教授	光山(酒井) 奈保子 (50) 平成30年4月 博士(学術)	兼任	准教授	光山(酒井) 奈保子 (51) 平成30年4月 博士(学術)	兼任	准教授	光山(酒井) 奈保子 (52) 平成30年4月 博士(学術)	兼任	准教授	光山(酒井) 奈保子 (52) 平成30年4月 博士(学術)
		経済成長をめぐる世界の諸問題			経済成長をめぐる世界の諸問題			経済成長をめぐる世界の諸問題			経済成長をめぐる世界の諸問題			経済成長をめぐる世界の諸問題

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・現勤務先における業務都合のため、矢島大介教授の就任時期が平成29年4月より平成29年10月に遅延。
- ・加藤康幸教授の就任時期が平成30年4月から平成29年9月に前倒し。
- ・自己都合により、上野俊昭教授が退職。「器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系)」は河島雅到教授との共同授業であるため、特に後任の措置はとらない。「総括講義」の担当を桂研一郎教授に変更。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、桃井真里子教授が就任辞退。担当は大和田倫孝教授に変更予定。(開講前年度の平成31年度に教員審査を受審予定。)
- ・現勤務先における業務都合のため、北川道弘教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、佐伯直勝教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、西澤俊宏教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、竹田秀教授が就任辞退。「器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)」は全泰和准教授との共同授業であるため、特に後任の措置はとらない。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、竹中恒夫教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、石黒洋教授の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡田唯男教授が就任辞退。当該実習科目2科目は教授3、講師1、助教1の体制であり、補充はしなくても教育上支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、瀧本康史教授の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、市丸直嗣教授が就任辞退。後任に小野澤瑞樹准教授を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、中村俊康教授の就任時期が平成29年4月より平成33年4月に遅延。
- ・自己都合により、真島任史教授が就任辞退。担当は高橋謙治教授に変更。平成29年1月教員審査済み。
- ・河村和弘教授の就任時期が平成31年4月から平成30年4月に前倒し。
- ・自己都合により、松田義雄教授が就任辞退。当該実習科目3科目は教授2、助教2の体制であり、補充はしなくても教育上支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、臼井智彦教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、布山裕一教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宇佐美真一教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅵ(感覚器系)」、「老年医学」、「総合臨床医学」及び「臨床診断入門」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、今西順久教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・自己都合により、小坂正明教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、石崎憲教授の就任時期が平成31年4月より平成32年4月に遅延。
- ・自己都合により、堀武生教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、横川徳造教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、Imran Raza Jawaid准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年5月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、長邊裕貴准教授が就任辞退。後任に村田一素教授を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、田友祐司准教授が就任辞退。後任に福田浩二教授を充てる。平成29年4月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、全泰和准教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉田知彦准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、大和田千桂子准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅹ(血液系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、林信太郎准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年8月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉内裕絵准教授が就任辞退。後任に山田祐講師を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、橋本佐准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鳥飼慶准教授が就任辞退。後任に吉岡大輔講師を充てる。平成28年12月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、木原真紀准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、茂木英明准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、北尻真一准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮垣朝光准教授が就任辞退。後任に森村壮士講師を充てる。「総合臨床医学」の担当については今後教員審査受審予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、大原博敏准教授の就任時期が平成33年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中村京太准教授が就任辞退。後任に馬場靖子准教授を充てる。平成28年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、加藤容二郎准教授が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、鈴木伸義准教授が就任辞退。
- ・現勤務先の業務都合により、足立雅之准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。また、一部科目について担当者変更し、「総合臨床医学」についてはオムニバス担当6回分を海老沼教授が担当する。平成30年度中に教員審査受審予定。「医療プロフェッショナルズⅠ(入門)」、「医療プロフェッショナルズⅡ(応用)」、「医療プロフェッショナルズⅢ(発展)」、「医療面接・身体診察Ⅰ(入門)」、「医療面接・身体診察Ⅱ(応用)」及び「症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)」の6科目は、いずれもフルフェーズを行う共同授業科目であり、医学教育統括センター所属教員でカバーすることで対応する。よって後任の補充は特に行わなくても教育上の支障はないと考える。
- ・志賀隆准教授の就任時期が平成30年4月から平成29年7月に前倒し。このため、「器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」は専任教員として担当する。
- ・自己都合のため、内藤雄一郎准教授が就任辞退。後任に鳥島利奈准教授を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・川岸久太郎准教授が平成29年4月着任。平成28年10月教員審査済み。
- ・遠藤史郎准教授が平成29年7月着任。平成29年3月教員審査済み。
- ・井上寧講師が職位変更で准教授に。平成28年11月教員審査済み。
- ・教育効果を考慮し、化学に湯澤聰講師を追加。平成28年11月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、Do Nguyen-Van講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Htar Htar Soe講師が就任辞退。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、後任の補充は不要と考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、Purovdorj B. Ikhannud講師の就任時期が平成29年4月より平成29年9月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Hsiao-Lin Huang講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。
- ・自己都合により、Butterfield JeffrieLeigh講師が就任辞退。後任に井之川陸美講師及び早坂祐介講師を充てる。いずれも平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、椎井真吾講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、西山信大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、大西俊一郎講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉村怜講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、松瀬大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、澤本良子講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、木村大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、川島宏稔講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、上原孝紀講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、長谷川康講師の就任時期が平成29年4月より平成31年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅲ(消化器系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、菊池弘人講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中島崇裕講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鈴木秀海講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、若宮富浩講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高峰講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、辰巳智章講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮川麻衣子講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉村兼素講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鳥海正博講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高橋渉講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、Chiung-WenKuo講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・自己都合により、手塚修一講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合のため、川又電講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・自己都合のため、増淵達夫講師が就任辞退。医学部の教育に対しては病院勤務医師の兼任准教授として携わる。
- ・現勤務先における業務都合のため、酒井元講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「総合臨床医学」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉原一文講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、古川智一講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、榎原雅治講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、緒方敦之講師が就任辞退。後任に吉岡史隆講師を充てる。平成29年4月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、河村陽一郎講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、福島司講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。平成28年11月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、菅田陽太講師が就任辞退。後任に吉岡広陽講師を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、Tseesod Ariunaa助教の就任時期が平成29年4月より平成31年4月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。



- ・現勤務先における業務都合のため、Pham Duy Tai助教の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、鈴木健一助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高柳晋助助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、細田豊助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡本宗史助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、劉軒助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中山政憲助教の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、堀真輔助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、河原井麗正助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、木内智喜助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、梶田大樹助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、桑原大輔助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、The Pe Win助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、瀬川知助教が就任辞退。後任に市来智子講師を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、金子真也助教が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、西尾信成助教の就任時期が平成31年4月より平成32年4月に遅延。「基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、徳永聡助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、郡隆輔助教が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、黒木亮太助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、黒木愛助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、?蕊助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・鈴木知子助教が平成29年4月着任。平成28年11月教員審査済み。
- ・葛西貴広助教が平成29年4月着任。平成28年11月教員審査済み。
- ・Hasan Arif Ul助教が平成29年4月着任。平成29年1月教員審査済み。
- ・Rahman Md Asadur助教が平成29年4月着任。平成29年1月教員審査済み。
- ・医学史の授業内容を精神科医の立場から補強するため、兼任で鹿島晴雄教授が担当。
- ・教育効果を考慮し、「国際機関論」を兼任で等々力講師任教授が担当。
- ・清宮正徳准教授(兼任)の負担軽減のため、「化学」の担当に湯澤聰講師に交代。
- ・茅野正雄講師(兼任)の負担軽減のため、福田朋児講師(兼任)、品川なぎさ講師(兼任)、山元一晃講師(兼任)、加藤林太郎講師(兼任)が日本語科目を追加。
- ・「現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～」を科目として追加したことにより、兼任で木村伊量特任教授が担当。
- ・現勤務先における業務都合のため、Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim兼任講師の就任辞退。後任に東風谷太一兼任講師を充てる。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡野賢二兼任講師の担当科目の一部を、大澤幸子兼任講師が担当する。
- ・清水英里兼任講師が自己都合により就任辞退。後任に小川有子兼任講師を充てる。
- ・村上大介兼任講師が本学在籍となったため、職位等を変更。
- ・英語教員の負担軽減のため、英語コミュニケーションA・Bの担当教員に、VivekPaul兼任講師、Christopher Thompson Litten兼任講師、BuckEric兼任講師を追加。

### 【平成30年度】

- ・自己都合により宮本幸一教授が退職。
- ・勤務先との調整により、山崎力教授の就任が前倒しとなり、平成30年4月となった。
- ・赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の専任教員となるため、川上和久教授が異動。なお、担当する「英字新聞で読む社会学・政治学」は兼任として対応する。
- ・現勤務先との調整により、西澤俊宏教授の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- ・現勤務先との調整により、竹中恒夫教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年9月となった。
- ・自己都合により期本俊司教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先との調整により、中村俊康教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年10月となった。
- ・現勤務先との調整により、布山裕一教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年10月となった。
- ・現勤務先の業務都合により、今西順久教授の就任時期が平成30年4月から平成31年4月に遅延した。
- ・現勤務先との調整により、石崎憲教授の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- ・現勤務先との調整により、奥仲哲弥教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年9月となった。
- ・平成30年3月、中尾睦宏教授就任。平成29年12月教員審査済み。
- ・平成30年2月、辻省次教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、菅野洋教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、唐仁原全教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、吉田雅博教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年1月、加藤正人教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、安心院 康彦教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、須田康文教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年1月、金澤文治教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年4月、和田雅治教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成29年10月、福田浩二准教授就任。平成29年8月教員審査済み。
- ・平成30年7月、北林耐教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、山内恵史教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年1月、畠清彦教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、小林幸夫教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、北嘉昭教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、有山洋教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、石原聡一郎教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成30年4月、岡本英輝教授就任。平成29年9月教員審査済み。
- ・自己都合により白石尚基教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により児玉桂一教授が辞退。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、全泰和准教授の着任時期が平成30年4月から平成31年3月に遅延した。器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)は兼任として講義する。
- ・自己都合により、林信太郎准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、鶴田雅士准教授の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・自己都合により、井岡崇准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、栗田英治准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、石川雅之准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、Than Soe Lin講師が退職。担当科目は担当教員が充実しており、また共同授業のため、充分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・現勤務先との調整により、Hsio-Lin Huang講師の就任時期が前倒しとなり、平成30年4月に前倒しとなった。
- ・平成30年2月、山根建樹准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、一瀬雅典准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、笹生豊准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、和田雅文准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、藤井正一准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、中川俊介准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、白井博之准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年4月、Ngatu Nlandu Roger准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、本告成淳准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、矢嶋淳准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年4月、高岡栄一郎准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、門田行史准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年7月、齋藤俊輔准教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、松岡亮介助教就任。平成30年3月教員審査申請中。

- ・現勤務先の都合により、Ariuntuul Garidkhuu講師の就任が平成30年4月から平成31年4月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、平野佑樹講師の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、眞柳修平講師が就任辞退。後任の配置を予定している。
- ・現勤務先の都合により、菊池弘人講師が就任辞退。後任の配置を予定している。
- ・現勤務先との調整により、島海雅博講師の就任時期が前倒しとなり、平成30年4月に前倒しとなった。
- ・現勤務先の都合により、高橋浩の着任時期が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅲ（消化器系）は兼任として講義する。
- ・自己都合により、吉岡史隆講師が退職。当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、福島司講師の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、細谷幸司講師の就任が平成30年4月から平成30年8月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、森清人助教の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・平成30年2月、地引政利講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、黒木聖子講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、服部知洋講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、小川朋子講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、安積貴年講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、渡辺浩史講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、別所雅彦講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、古山桂太郎講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、Muzembo Basilia Andre講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、坪井優講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、稲田朋晃講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、MCLAUGHLIN MATTHEW JAMES講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Munkhtuya Tururkhuu講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Edenetsogt Dunggubat講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、田中真生講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、DEHAVEN, SHAWN MICHAEL講師就任。平成29年12月教員審査済。
- ・平成30年3月、Kazi Selim Anwar講師就任。平成29年12月教員審査済。

- ・自己都合により、山口るつ子助教が就任辞退。担当科目は共同授業であり、多数の教員が配置されてるので後任措置はとらない。
- ・自己都合により、Pham Duy Tai助教が就任辞退により、後任に佐野美智子助教に交代。平成29年10月教員審査済。
- ・自己都合により、諫見有紀助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、河合徹助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、姜紅助教の就任年月がH30年4月からH31年4月に遅延。
- ・現勤務先の都合により、岡本宗史助教の就任年月がH30年4月からH32年4月に遅延。
- ・現勤務先の都合により、山田純子助教が就任年月がH29年4月からH32年4月に遅延。
- ・勤務先との調整の結果、西尾信哉助教の着任がH32年4月からH31年4月に前倒しとなった。
- ・自己都合により、柳裕代助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・平成30年7月、佐藤野助助教就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、中島理奈助教就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年2月、木村聖美助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、上原燈紀子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、福留潤助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、村上文祥助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、杉崎顕史助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、小川明子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、梅田和敬助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、関幸助助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、高橋茜助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、齊藤大樹助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、上田竜大助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、榮利昌助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、佐野美智子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、吉永隆助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、磯貝宜広助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、高橋（笠島）冴子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、柘植俊介助教就任。平成29年10月教員審査済。

- ・平成30年2月、三浦俊介助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、今井俊一助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、中太淳平助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、山崎薫子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、柿沼薫助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Darimaa Ganbat助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、Byambatseren Jambaljay助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、武藤（森村）真由子助教就任。平成29年12月教員審査済。
- ・現職場の都合により、高峰講師が就任辞退。交代として平成30年3月、楊徳剛助教就任。平成29年12月教員審査済。

### 【令和元年度】

- ・自己都合により、北村聖教授が退職。
- ・自己都合により、小堀浩幸教授が退職。平成30年9月に就任した村瀬真一教授が小堀教授の科目を担当する。平成30年6月教員審査済み。
- ・自己都合により、山田哲司教授が退職。担当科目は担当教員が充実しており、また共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・現勤務先との調整により、西澤俊宏教授の就任時期が前倒しとなり、平成30年10月となった。
- ・自己都合により、栗田卓也教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、荒川孝教授が退職。大東貴志教授が荒川教授の科目を担当する。（科目審査済み）
- ・現勤務先の都合により、今西順久教授の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅳ（感覚器系、腫瘍と臨床（放射線治療・緩和））は兼任として講義する。
- ・現勤務先の業務都合により、石崎憲教授の就任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。
- ・自己都合により、安心院康彦教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、石原聡一郎教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・平成30年7月、馬場靖子教授就任。平成30年3月教員審査済。（平成28年12月に教員審査を受け准教授として平成29年4月に就任済。）
- ・平成30年6月、村瀬真一教授就任。平成30年9月教員審査済。
- ・平成30年6月、中江淳教授就任。平成30年9月教員審査済。
- ・平成31年4月、種本雅之教授就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、種本雅之教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年2月、岡田智志教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年4月、多田裕司教授就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年2月、末永昭彦教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成30年9月、中嶋秀樹講師就任。平成30年6月教員審査済。
- ・自己都合によりBrian SanjayHeist准教授が辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・自己都合によりMCLAUGHLIN MATTHEW JAMES講師が辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、全泰和准教授の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）は兼任として講義する。
- ・自己都合により、吉岡大輔講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・現勤務先の業務都合により、佐藤一准教授の就任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。
- ・自己都合により、中村聡准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・自己都合により、鳥巢利奈准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、遠藤史郎准教授が退職。平成30年4月に就任したKazi Selim Anwar講師が科目を担当する。平成29年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、藤井正一准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、齋藤俊輔准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・平成31年1月、船尾陽生准教授就任。平成30年10月教員審査済。（平成28年12月に教員審査を受け講師として平成29年4月に就任済。）
- ・平成31年1月、中山政憲講師就任。平成30年10月教員審査済。（平成28年12月に教員審査を受け助教として平成29年4月に就任済。）
- ・平成31年1月、竹島憲一郎講師就任。平成30年10月教員審査済。（平成28年12月に教員審査を受け助教として平成29年4月に就任済。）
- ・平成31年4月、相澤義泰准教授就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、留野涉准教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・自己都合によりPurevdorj B. Olkhanud講師が就任辞退。平成30年4月に就任した中尾隆宏教授が科目を担当する。平成29年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、Hsiao-Lin Huang講師が退職。平成30年4月に就任したNgatu Nlandu Roger准教授、平成30年3月にMuzembo Basilia Andre講師が科目を担当する。2名は平成29年10月教員審査済み。
- ・自己都合により吉村怜講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・自己都合により松瀬大講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・現勤務先の都合により、長谷川康講師の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅲ(消化器系)は兼任として講義する。
- ・自己都合により谷口隆志講師が退職。担当科目は盲谷誠教授が担当する。
- ・自己都合によりChiang-Wen Kuo講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、柳原雅裕講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、河村陽一郎講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、平成29年に就任辞退した手塚修一講師が、平成31年4月再就任した。
- ・平成31年1月、高木祐介講師就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年1月、大橋(木下)陽子講師就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年4月、大倉直樹講師就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、半田聡講師就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年1月、高橋(穴戸)葉徳美講師就任。平成30年10月教員審査済。
- ・自己都合により、Tseesodrotsoo Ariuana講師が就任辞退。平成30年4月に就任したNgatu Nlandu Roger准教授、平成30年3月にMuzembo Basilia Andre講師が後任を担当する。2名は平成29年10月教員審査済み。
- ・現勤務先との調整により、河原井麗正助教の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- ・現勤務先との調整により、木内智喜助教の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。

- ・自己都合により劉軒助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、岩堀浩也助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、平馬誠之助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・現勤務先との都合により、西尾信哉助教の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)は平成30年3月に就任したMunkhtuya Tumurkhuu講師が講義する。

平成29年10月教員審査済み。

- ・自己都合により徳永聡助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により黒木愛助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、Rahman Md Asadur助教が退職。
- ・自己都合により、木村聖美助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、齋藤大樹助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、榮利昌助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、高橋(笠島)冴子助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、三浦俊介助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、中太淳平助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、武藤(森村)真由子助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・平成31年4月、向井秀幸助教就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年4月、伊藤文人助教就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、加藤孝征助教就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成30年9月、鎌田稔子助教就任。平成30年6月教員審査済。
- ・平成31年4月、山本謙太郎助教就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、松倉満助教就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年4月、森田知孝助教就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年1月、須藤大輔助教就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成30年9月、大村和也助教就任。平成30年6月教員審査済。
- ・平成31年1月、福井慶介助教就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年1月、齋藤傑助教就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成30年9月、高松 裕一郎助教就任。平成30年6月教員審査済。

【令和2年度】

- ・自己都合により藤野(池田)啓子教授が退職。担当科目のうち生物学・医療生物学・基礎医学総論Ⅳ(生理学)は岡本秀彦教授、兼松野義晴教授が担当する。他の科目については共同授業であり、多数の教員が配置されているため、十分にカバーが可能である。後任者は現在公募中。
- ・自己都合により森田林平教授が退職。担当科目は河上裕教授、岡本秀彦教授、兼任百島祐貴講師が担当する。
- ・自己都合によりNwe Nwe Oo教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能である。後任者は、7月に就任予定。
- ・自己都合により石川和信教授が退職。担当科目のうち、臨床診断入門は吉田素文教授に担当変更、その他の担当科目は共同授業のため十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により北川道弘教授が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により川上和久教授が退職。担当科目は高須賀茂文教授、村上大介教授が担当する。
- ・自己都合により仲科輝也教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により松本拓也教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高橋謙治教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により草野修輔教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により水野晴夫教授が退職。担当科目のうち胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)は7月に後任者が就任予定である。その他の担当科目は共同授業のため十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高野雅彦教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により宇佐美真一教授が就任辞退。担当科目はいずれも多数の教員が配置された共同授業と実習であり、配置済みの教員と追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により浜田達史教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により村田一素教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により有山淳教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により岡本英輝教授が退職。担当科目は共同授業であり、多数の教員が配置されているので十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・令和元年7月、石川雄一教授就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年7月、藤本一真教授就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年7月、山中寿教授就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年7月、山田芳嗣教授就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年7月、河上裕教授就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年9月、井上博之教授就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和2年4月、下川宏明教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年2月、笠原英子教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、河合弘二教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年3月、先崎秀明教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、杉村一郎教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、末廣栄一教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、井上高光教授就任。令和元年10月教員審査済。

- ・令和2年4月、森直樹教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年10月、Myat Thandar教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、丸茂丈史教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、齋藤夫教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、寺田二郎教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・自己都合により全泰和准教授が就任辞退。器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)は兼任として講義し、実習科目は、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により茂木英明准教授が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により北原真一郎准教授が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により林省吾准教授が退職。担当科目はいずれも共同科目または実習であり、配置済みの教員と、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により足立雅之准教授が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により和田崇文准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合によりNgatu Nlandu Roger准教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により矢嶋淳准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・令和元年9月、寺田芳樹准教授就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和2年4月、渡部(中世古)玲子准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年1月、加藤(杉山)倫子准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、片岡史夫准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、高橋美和子准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、山下健太郎准教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、高本碩准教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・自己都合によりDo Nguyen-Van講師が就任辞退。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合によりAung Thiha講師が就任辞退。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合によりMyint Thazin Aung講師が就任辞退。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により宮田直輝講師が退職。器官別統合講義Ⅲ(消化器系)は兼任として講義し、実習科目は、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により西山信大講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により市村康典講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により上原孝紀講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により長谷川康講師が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により中島崇裕講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により鈴木秀海講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により辰巳智章講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により吉村豪兼講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高橋渉講師が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により亀掛川喜美子講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により酒井元講師が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により稲島司講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により稲田朋晃講師が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により高木祐介講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高橋(穴戸)菜穂美講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・令和元年7月、石田隆講師就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和2年4月、山下力講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年1月、井原基公講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年1月、千葉拓世講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、田島拓講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、伴由布子講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、中川良講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、遠山哲夫講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・自己都合により鈴木健一助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高柳晋助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により鏑野紀好助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により岡本宗史助教が就任辞退。担当科目は多数の教員が配置された共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により植真輔助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により梶田大樹助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により桑原大輔助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合によりThet Pe Win助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により佐竹 洋之助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により山田純子助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により小川裕介助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により西尾信哉助教が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により吉永隆助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により中島理奈助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により今井俊一助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により橋本剛助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により向井秀幸助教が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により松倉満助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により森田知孝助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により齋藤保助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高松裕一助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・令和元年7月、赤塚太郎助教就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年7月、岡愛子助教就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年9月、石井名実子助教就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和元年9月、小林真麻助教就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和2年1月、山田晋之介助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、Jambaldor Jamiyansuren助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、佐藤愛子助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、Sayama Lkhagvadorji助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、Mary Raina Angeli Abad助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、平澤康孝助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、木下拓助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、竹盞清高助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、竹下友一助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、Katrina Fanjul助教就任。令和元年12月教員審査済。

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
160 名	80 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
156	49	57	45	307	0	166	53	55	55	329	5
(147)	(44)	(49)	(37)	(277)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
167	53	55	57	332	5	167	53	55	57	332	5
[11]	[ 4]	[ Δ2]	[12]	[26]	[ 5]	[11]	[ 4]	[ Δ2]	[12]	[26]	[ 5]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	15 名	35 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{332}{307} = \boxed{108.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{15}{329} = \boxed{4.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	上野 俊昭	H. 29. 3	必修	器官別統合講義Ⅶ (脳神経・精神系)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
				必修	総括講義	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
2	教授	桃井 真理子	H. 29. 3	自由	関連職種連携実習	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
3	教授	竹田 秀	H. 29. 3	必修	器官別統合講義Ⅳ (内分泌代謝系)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
4	教授	岡田 唯男	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
5	教授	市丸 直嗣	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
6	教授	眞島 任史	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
7	教授	松田 義雄	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
8	教授	小坂 正明	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
9	教授	堀 武生	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
10	教授	横川 徳造	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
11	准教授	田邊 裕貴	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
12	准教授	長友 祐司	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
13	准教授	吉内 裕絵	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
14	准教授	鳥飼 慶	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
15	准教授	宮垣 朝光	H. 29. 3	必修	総合臨床医学	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
16	准教授	中村 京太	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
17	准教授	加藤 容二郎	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
18	准教授	鈴木 伸嘉	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
19	准教授	内藤 雄一郎	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
20	講師	Htar Htar Soe	H. 29. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
21	講師	Nguyen Duy Phong	H. 29. 3	必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
				必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅱ (応用)	①	
22	講師	Butterfield, Jeffrie Leigh	H. 29. 3	必修	国際医療保健学Ⅲ (発展)	①	H. 29. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
				必修	英語Ⅰ（入門）	①	
				必修	英語Ⅱ（応用）	①	
				自由	英語コミュニケーションA（入門）	①	
				自由	英語コミュニケーションB（実践）	①	
必修	医学英語	①					

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
23	講師	澤本 良子	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
24	講師	宮川 麻衣子	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
25	講師	手塚 修一	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
26	講師	川又 竜	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	③	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	③	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	
27	講師	吉原 一文	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
28	講師	古川 智一	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
29	講師	増淵 達夫	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	②	H. 29. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	②	
30	講師	緒方 敦之	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
31	助教	菅田 陽太	H. 29. 3	必修	医療入門・正常解剖演習	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
				必修	基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	①	
				必修	正常人体解剖実習	①	
32	助教	郡 隆輔	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
33	助教	瀬川 知	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
34	助教	金子 真也	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
35	教授	児玉 桂一	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
37	講師	眞柳 修平	H30. 3	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	H30. 3 就任辞退：現勤務先の都合のため(30)
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
36	講師	菊池 弘人	H30. 3	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	H30. 3 就任辞退：現勤務先の都合のため(30)
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
37	講師	高 峰	H30. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H30. 3 就任辞退：現勤務先の都合のため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
38	講師	CHEN CHIH-YU	H30. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H30. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
				必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	
39	講師	森原 啓文	H30. 3	必修	医学英語	①	H30. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
				必修	英語Ⅰ（入門）	①	
				必修	英語Ⅱ（応用）	①	
				自由	英語コミュニケーションA（入門）	①	
				自由	英語コミュニケーションB（実践）	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ（入門）	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ（応用）	①	
必修	症候と臨床推論（小グループケーススタディ演習）	①					
40	助教	山口 るつ子	H30. 3	必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	H30. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
41	助教	Pham Duy Tai	H30. 3	自由	海外医療体験	①	H30. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
42	助教	後藤 理人	H30. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H30. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
43	准教授	Brian Sanjay Heist	H31.3	必修	医学英語	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ（入門）	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ（応用）	①	
44	講師	Purevdorj B. Oikhanud	H31.3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	
				必修	予防医学・行動科学	①	
45	講師	吉村 怜	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
46	講師	河村 陽一郎	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
47	講師	松瀬 大	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
48	講師	Chiung-Wen Kuo	H31.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
49	助教	徳永 聡	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
50	助教	黒木 亮太	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
51	助教	黒木 愛	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
52	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa	H31.3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	
53	助教	劉 軒	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	



番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
54	教授	北川道弘	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
55	教授	宇佐美真一	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅹ（感覚器系）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	老年医学	①	
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
56	教授	坂田泰彦	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
57	准教授	全泰和	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）	②	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
58	准教授	茂木英明	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
59	准教授	北尻真一郎	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
60	准教授	足立雅之	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
61	講師	Do Nguyen-Van	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅷ（病理学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）	①	
62	講師	Aung Thiha	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅷ（病理学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）	①	
63	講師	Myint Thazin Aung	R2.3	必修	感染症	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
64	講師	西山信大	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
65	講師	市村康典	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
66	講師	上原孝紀	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
67	講師	長谷川康	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
68	講師	中島崇裕	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
69	講師	鈴木秀海	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
70	講師	辰巳智章	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
71	講師	吉村豪兼	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
72	講師	高橋 渉	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①							
				必修	器官別統合講義Ⅴ（泌尿器系）	①							
				必修	腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）	①							
				必修	総合臨床医学	①							
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①							
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
73	講師	酒井 元	R2.3	必修	総合臨床医学	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①							
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
74	講師	稲島 司	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
75	講師	山本健太郎	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
76	助教	鈴木 健一	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①							
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
77	助教	高柳 晋	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①							
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
78	助教	鋪野紀好	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①							
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
79	助教	岡本宗史	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
				必修	総合臨床医学	①							
80	助教	埴真輔	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①							
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
81	助教	梶田大樹	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
82	助教	桑原大輔	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
83	助教	Thet Pe Win	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
84	助教	山田純子	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①							
85	助教	西尾信哉	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）						
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
85	人	必修	32	科目	必修	31	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	4	科目	自由	4	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	36	科目	計	35	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	朝本 俊司	H29. 7	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 7 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
2	准教授	林 信太郎	H29. 9	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 9 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
3	准教授	井岡 崇	H30. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
4	准教授	栗田 英治	H29. 7	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 7 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
5	准教授	石川 雅之	H30. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
6	講師	Than Soe Lin	H30. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	
				必修	予防医学・行動科学	①	
7	講師	柳 裕代	H30. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
8	助教	諫見 有紀	H29. 10	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H29. 10 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
9	助教	河合 徹	H29. 10	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H29. 10 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
10	講師	吉岡 史隆	H29. 7	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 7 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
11	教授	白石 尚基	H30. 2	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H30. 2 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
12	教授	川上 和久	H30. 4	自由	英字新聞で読む社会学・政治学	②	H30. 4 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の専任教員に就任のため(30)
13	教授	宮木 幸一	H30. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）	①	
				必修	社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）	①	
				必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	
				必修	総括講義	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
14	教授	北村 聖	H31.3	必修	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				自由	海外医療体験	①	
				選択	医学史	①	
				必修	医療入門・正常解剖演習	①	
15	教授	小堀 浩幸	H31.3	必修	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	
16	教授	山田 哲司	H30.8	必修	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	①	
				必修	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	①	
				必修	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
17	教授	安心院 康彦	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
18	教授	石原 聡一郎	H30.9	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.9 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
19	教授	栗田 卓也	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
20	教授	荒川 孝	H31.3	必修	総合臨床医学	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
21	准教授	遠藤 史郎	H31.3	必修	感染症	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
22	准教授	齋藤 俊輔	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
23	准教授	藤井 正一	H30.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.12 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
24	准教授	中村 聡	H30.10	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.10 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
25	講師	中嶋 秀樹	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
26	講師	吉岡 大輔	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
27	講師	榊原 雅裕	H30.10	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.10 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
28	講師	MCLAUGHLIN MATTHEW JAMES	H31.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
29	講師	Hsiao-Lin Huang	H30.8	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	国際医療保健学Ⅱ(応用)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
30	講師	谷口 隆志	H30.12	必修	総合臨床医学	①	H30.12 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
31	助教	岩堀 浩也	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
32	助教	平馬 誠之	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
33	助教	木村 聖美	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
34	助教	湊谷 豊	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
35	助教	齊藤 大樹	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
36	助教	高橋(笠島) 冴子	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
37	助教	三浦 俊介	H30.8	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
38	助教	武藤(森村) 真由子	H31.4	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H31.4 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
39	助教	榮 利昌	H31.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
40	助教	Rahman Md Asadur	H30.12		なし		H30.12 自己都合退職したため(元)
41	助教	中太 淳平	H31.3		なし		H31.3 自己都合退職したため(元)

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
42	教授	飯野(池田)啓子	R2.3	自由	生物学	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	医療生物学	②	
				必修	基礎医学総論Ⅳ (生理学)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅰ (循環器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅱ (呼吸器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅲ (消化器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅴ (腎泌尿器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅵ (婦人科系(乳腺含))	①	
43	教授	森田林平	R元.6	必修	基礎医学総論Ⅲ (免疫学)	①	R元.6 自己都合退職したため(2)
				選択	医学史	②	
				自由	生物学	①	
44	教授	Nwe Nwe Oo	R2.3	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	国際医療保健学Ⅱ (応用)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ (発展)	①	
45	教授	石川和信	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅰ (循環器系)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	器官別統合講義Ⅱ (呼吸器系)	①	
				必修	救急と集中治療	①	
				必修	麻酔	①	
				必修	臨床診断入門	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ (入門)	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ (応用)	①	
必修	医療入門・正常解剖演習	①					
46	教授	仲村輝也	R2.4	必修	器官別統合講義Ⅰ (循環器系)	①	R2.4 自己都合退職したため(2)
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨)	①	
47	教授	松本拓也	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅰ (循環器系)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	総合臨床医学	①	
48	教授	高橋謙治	R2.1	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.1 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
49	教授	草野修輔	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
50	教授	水野晴夫	R元. 12	必修	器官別統合講義Ⅱ (呼吸器系)	①	R元. 12 自己都合退職したため(2)
				必修	器官別統合講義Ⅴ (腎泌尿器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅵ (婦人科系(乳腺含))	①	
				必修	胎児・小児の成長 と疾患(成育と臨)	①	
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床診断入門	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基 礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発 展)	①	
51	教授	高野雅彦	R2. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
52	教授	澁田達史	R2. 3	必修	総合臨床医学	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	麻酔	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専 門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実 践)	①	
53	教授	村田一素	R2. 3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
54	教授	有山淳	R2. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
55	教授	岡本英輝	R元. 9	必修	総合臨床医学	①	R元. 9 自己都合退職したため(2)
				必修	腫瘍と臨床(放射 線治療・緩和)	①	
56	准教授	林省吾	R2. 3	必修	医療入門・正常解 剖演習	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	医療プロフェッ シヨナリズムⅠ	①	
				必修	医療プロフェッ シヨナリズムⅡ	①	
				必修	医療プロフェッ シヨナリズムⅢ	①	
				必修	基礎医学総論Ⅶ (組織学演習)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅷ (脳神経・精神系)	①	
				必修	正常人体解剖実習	①	
				必修	症候と臨床推論 (小グループケー スタディ演習)	①	
選択	医学史	①					
57	准教授	和田崇文	R元. 8	必修	臨床実習Ⅰ(基 礎)	①	R元. 8 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発 展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実 践)	①	
58	准教授	Ngatu Nlandu Roger	R2. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	国際医療保健学Ⅲ (発展)	①	
				必修	社会医学Ⅴ(演 習)	①	
59	准教授	矢嶋 淳	R2. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専 門)	①	R2. 3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実 践)	①	
60	講師	宮田直輝	R元. 5	必修	器官別統合講義Ⅲ (消化器系)	②	R元. 5 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅰ(基 礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発 展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実 践)	①	



番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
61	講師	亀掛川喜美子	R2.4	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.4 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
62	講師	稲田朋晃	R2.3	自由	日本語Ⅰ-A(作文)	②	R2.3 自己都合退職したため(2)
				自由	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	②	
				自由	日本語Ⅱ-A(作文)	②	
				自由	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	②	
				自由	日本語Ⅱ-C(発表討論)	②	
				自由	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	②	
				自由	日本語Ⅲ-A(作文)	②	
				自由	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	②	
				自由	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	②	
				自由	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	②	
				自由	医療福祉専門漢字	②	
自由	医療福祉専門語彙	②					
63	講師	高木祐介	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
64	講師	高橋(穴戸)菜穂美	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
65	助教	佐竹洋之	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
66	助教	小川裕介	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
67	助教	吉永隆	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
68	助教	中島理奈	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
69	助教	今井俊一	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
70	助教	楊徳剛	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
71	助教	向井秀幸	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
72	助教	松倉満	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
73	助教	森田知孝	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
74	助教	齋藤傑	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
75	助教	高松裕一郎	R元.11	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R元.11 自己都合退職したため(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
合計(F)						後任補充状況の集計(G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)					
75	人	必修	42	科目	必修	40	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	17	科目	自由	4	科目	自由	13	科目	自由	0	科目
		計	61	科目	計	45	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
160	必修	74	科目	必修	71	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
	自由	21	科目	自由	8	科目	自由	13	科目	自由	0	科目
	計	97	科目	計	80	科目	計	17	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{160}{307} = \boxed{52.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

主要な科目を担当する教員2名が自己都合による辞任となった。担当科目は既に審査済の教員で分担して担当可能であり教育上の問題はないが、後任の補充を引き続き対応する。学生には学科のオリエンテーションにて周知対応した。

その他の教員については、臨床実習科目を担当する教員であり、各臨床実習施設において分担して対応できることが確認できており、問題ない。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。



6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
<p>認 可 時  (29年4月)</p>	<p>「臨床実習Ⅳ」の国内での実習については、学生の希望に応じた診療科への配属がなされるよう可能な限り配慮すること。また、海外での実習については、実習先が提供するプログラムの内容や指導体制について、実習調整ディレクターが中心となってあらかじめ調整し、教育の質を確保した上で実施すること。なお、海外での実習先はアジア諸国を中心に調整が進められているが、欧米諸国をはじめとしたより多様な実習先を確保するよう引き続き調整し、学生により多くの選択肢を提供することが望ましい。</p>	<p>選択制の臨床実習となる「臨床実習Ⅳ」については、学生の希望に応じた配属ができるよう、学生が提出した希望順位に応じて割り付けを行う予定である。受け入れ先としては、令和2年に成田市に開院予定の附属病院も含めた5つの本学附属病院、および臨床実習の受け入れ意思を既に表明している本学の臨床医学研究センター・グループ外の医療機関等だけでなく、さらに受け入れ先の拡大に努め、十分な枠を確保したいと考えている。このうち附属病院等については、平成29年度から臨床実習受け入れについて打ち合わせを始めることについて、平成29年4月末に開催した第1回医学部教授連絡会議で附属病院等で勤務する教授に伝えたとのことである。今後の予定としては、平成29年度中に各附属病院等との打ち合わせを開始し、令和元年度中に、令和2年度から始まる臨床実習のプログラムを決定する計画である。</p> <p>令和4年度に始まる「臨床実習Ⅳ」の海外臨床実習については、申請時に受け入れの意思表明済み一部の大学医学部等について、平成29年度留学生特別選抜のため現地を訪問した際、先方の連絡担当者を決定した。欧米諸国については、麻酔科に日本の大学医学部から6年生の臨床実習の受け入れ実績があるドイツの医学部において、担当の准教授に受け入れ意思があることを確認した。さらに米国の複数の医学部において、臨床実習への学生受け入れについて調査を行った。今後の予定として、申請時に受け入れの意思表明済みの大学医学部等については、平成29年度の「海外医療体験」の引率を兼ねた現地訪問の際に打ち合わせを開始し、プログラムについて検討を開始するとともに、実習調整ディレクター等の人員配置を行う。今後、新たに開拓する海外臨床実習の受け入れ先については、平成30年度には調査を終了、先方の担当者との打ち合わせを開始し、令和元年度にはMOUを締結した上で実習プログラムの検討を開始し、令和2年度中に実習プログラムを決定、令和3年度に学生の希望調査を行う計画である。(29)</p>	<p>履行中</p> <p>(次頁へつづく)</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	留意事項	<p>まず、米国の複数の医学部における臨床実習への学生受け入れ調査の結果、AAMC（米国医科大学協会）が運営する交換留学プログラム参加の前提として、世界医学教育連盟（WFME：World Federation for Medical Education）と国際医学教育研究推進財団（FAIMER：Foundation for Advancement of International Medical Education and Research）が連携して運営している「世界医学部一覧（World Directory of Medical Schools）」への登録を申請し平成30年1月に登録された（<a href="https://search.wdoms.org/home/SchoolDetail/F0005055">https://search.wdoms.org/home/SchoolDetail/F0005055</a>）。</p> <p>次に、申請時に受け入れの意思表示済みの大学医学部等について、平成29年度の「海外医療体験」の引率を兼ねた現地訪問の際に準備を開始するとしていた点については、本授業科目が他キャンパスとの合同授業のため、海外臨床実習準備担当の教員を派遣できなかった。しかし、平成29年8月にマレーシアからマネジメント&amp;サイエンス大学の幹部一行が来校した際に、相手方の臨床実習担当教員（副学部長）を特定し、平成30年4月に開催した国際医学教育シンポジウムの際にも、該当する大学の学長達との懇談で、海外臨床実習の準備を開始することを確認した。一方、実習調整ディレクター等の人事配置については、医学教育統括センターに海外臨床実習の準備を担当するFocus Groupを設置し多くの外国人教員を配置した。</p> <p>さらに、今後、新たに開拓する海外臨床実習の受け入れ先について、平成31年度にMOUを締結するとしていた点については、ニュージーランドのオタゴ大学（平成29年4月）、ロシアのモスクワ第一大学（平成29年10月）、フィンランドのヘルシンキ大学（平成30年2月）、ポーランドのプロツワフ医科大学（平成30年3月）等の欧米諸国をはじめとした機関との間でMOUを締結し、学生により多くの選択肢を提供できるよう、より多様な実習先を確保するよう調整を行っている。</p> <p>以上、平成29年度に記載した計画は概ね予定どおりに履行しており、さらに一部では予定を上回る履行状況となっている。(30)</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>履行中</p> <p>(次頁へつづく)</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	留意事項	<p>令和4年に初回実施予定の「臨床実習Ⅳ」の国内実習については、それに先立ち令和2、3年に実施予定の「臨床実習Ⅰ～Ⅲ」の準備として、令和2年4月に開院予定の成田病院を含む5つの附属病院に加え、九州の本学臨床実習医学研究センターも「臨床実習Ⅰ」の配属先として検討中であり、実現すれば「臨床実習Ⅳ」の診療科の受入学生数の拡大が図れ、その結果学生の希望に応じた選択制の実習が拡充できる見込みである。</p> <p>一方、海外臨床実習の準備状況は、昨年度の履行状況報告で述べた外国人教員を多数含む海外臨床実習を担当する教員のFocus Groupにて月1回程度の割合にて定期会議を実施している。主な活動内容は、学生の主体性・自律性を重視した成人学習理論を応用するため、現時点での学生の海外臨床実習に関する希望調査を実施した。海外臨床実習を希望する地域、国、診療科、予算等を初期調査した。今後は初期調査をもとに教員のサポート体制等を計画し、3年次、4年次、5年次と各学年での海外臨床実習に向けた渡航準備プランを話し合いながら進めていく予定である。また米国医学部協会（AAMC）が主催する交換留学プログラムであるVisiting Student Learning Opportunities Program（VSL）への会員へ応募を検討し準備を開始した。</p> <p>最後に欧米諸国の実習先については、フィンランドのヘルシンキ大学（平成30年2月にMOU締結）およびポーランドのプロツワフ医科大学（平成30年3月にMOU締結）に平成30年9月に訪問し、臨床実習の受け入れについて交渉を開始した。また、平成31年3月にロシアのモスクワ第一大学、およびヘルシンキ大学の訪問団が本学成田キャンパスを視察に訪れた際にも、臨床実習の受け入れについて交渉した。また、ポーランドのプロツワフ医科大学については、令和元年度の全学で実施している授業科目「海外保健福祉事情」の海外研修を受け入れいただけることとなり、参加者募集を行っている。</p> <p>以上、欧米諸国をはじめとした機関についても、学生により多くの選択肢を提供できるよう、より多様な実習先を確保するよう調整を行っている。</p> <p>以上、平成29年度に記載した計画は概ね予定どおりに履行しており、さらに一部では予定を上回る履行状況となっている。（元）</p>	<p>（前頁からのつづき）</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>履行中</p> <p>（次頁へつづく）</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	留意事項	<p>「臨床実習Ⅰ～Ⅲ」の準備として、令和2年3月16日に開院した成田病院を含む6つの附属病院に加え、本学の臨床実習医学研究センターである九州の高木病院および福岡山王病院も「臨床実習Ⅰ」の配属先となり、「臨床実習Ⅳ」でも、学生の希望に応じた選択の幅がさらに拡充された。</p> <p>平成31年4月に、3年次となった平成29年度入学者に、海外臨床実習の希望地域、国、診療科、予算等に関する希望調査を実施した。この結果を基に、令和2年3月に英語による履歴書の書き方を外国人教員が個別に指導した。4月以降、学生自身が海外の本学提携施設、及びそれ以外の施設に関する情報収集を開始し、申請先を選定の上、令和3年度に、希望施設への申請手続きを開始する予定である。</p> <p>また、米国医科大学協会(AAMC)が主宰する交換留学プログラムVisiting Student Learning Opportunities Program (VSLO)に、会員施設として申請し正式に承認された。最終手続き終了後、学生はVSLOの全世界252の会員施設の実習内容の情報にアクセス可能となり、幅広い選択肢を提供できる(<a href="https://students-residents.aamc.org/attending-medical-school/article/vslo-host-participating-institutions/">https://students-residents.aamc.org/attending-medical-school/article/vslo-host-participating-institutions/</a>)。</p> <p>令和元年8月に、欧米諸国の実習先の1つとして交流推進中のポーランドのプロツワフ医科大学の医学生3名を2週間にわたり、本学国際医療福祉大学病院に見学生として受け入れた。また、プロツワフ医科大学は、全学で実施している授業科目「海外保健福祉事情」の令和元年度海外研修の受け入れ先として一旦決定したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて研修中止となった。このように、欧米諸国をはじめとした機関についても、学生により多くの選択肢を提供でき、より多様な実習先を確保する調整を続けている。</p> <p>以上、平成29年度の計画は概ね予定どおりで、一部予定を上回る履行状況である。(2)</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>履行中</p>



区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	<p>人体の生理機能を理解するためにシミュレータを利用すると説明しているが、生物実験を体験したことのない学生であっても基礎医学に関する知識や技能を十分に修得できるように、生理学、生化学及び分子生物学など、基礎医学に関する実習を充実すること。</p>	<p>すでに1年次1学期における生物学において、生物学未履修者を中心とした学生に対して、顕微鏡を用いた鶏胚の発生の観察を行った。また、1年次2学期には必修の基礎医学総論の5科目で様々な実習を導入予定である。例えば、生化学では生細胞から溶解液を調整し、比色法を用いてタンパク質の定量とさらに酵素活性の定量をおこなう。この過程を通じ、生化学の基本的手技を習得するとともに、標準曲線の作成、酵素の誘導や特異的発現の観察を通じて対照実験について学ぶ。分子生物学では生体組織からの核酸の抽出、増幅、同定という一連の作業を体験する。この過程でピペットの使い方から核酸の調整法、酵素の取り扱い方、PCR法、ゲル電気泳動など分子生物学の基礎的手技を習得する。免疫学ではEnzyme-Linked ImmunoSorbent Assay (ELISA) を用いてサイトカイン濃度を測定すると共に抗体の抗原特異性を観察する。(29)</p> <p>計画通りに実施した。来年度以降も引き続き実施予定である。(30)</p>	<p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	<p>全ての留学生が将来母国のリーダーとして活躍できるよう、母国の政府機関等の推薦を受けていない私費留学生も含め、卒後の進路についての支援体制を充実すること。</p>	<p>母国の政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生(平成29年度はベトナム、モンゴル、インドネシア、ミャンマー、カンボジアの5か国計13人)及び私費の留学生(平成29年度は韓国、中国、台湾、ミャンマー、米国の5か国・地域計7人)の全ての留学生が本学医学部を卒業後、将来的に母国において医療貢献を行い、ひいては指導者として活躍することができるよう組織的な支援を行っていく。例として、在学中6年次に必修として全員が履修・参加する「海外臨床実習」を通じた本学留学生と母国等の医療機関との橋渡しや、本学が有する海外大学・医療機関等のネットワークを用いて、卒業後に医師としてのキャリア形成ができるようキャリア学習や帰国支援など本学から協力を要請していく、等の活動が含まれる。</p> <p>また、奨学金を支給する留学生については、医師免許取得後、奨学金支給期間の1.5倍程度の期間(以下、義務年限)、本学が指定する日本及び母国の医療機関において医師として勤務することとしているが、義務年限修了後の進路については、留学生と推薦元が相談の上決定することになる。本学は、各国の人的、組織的なネットワークによる支援及び交流を継続的に行う。</p> <p>全ての外国人卒業生が母国において保健医療の各分野でのリーダーとして活躍しながら、我が国の医学や医療制度を学び続けられるよう継続的に支援していく中で、こうした卒業生が本学の留学生の開拓、卒業後のキャリア形成における各国の人的拠点となり、本学の留学生に対する医学教育、卒後支援に持続可能なサイクルを生み出す体制を構築していく。(29)</p>	<p>履行中</p> <p>(次頁へつづく)</p>

留意事項

履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	<p>留意事項</p>	<p>定員140名の内、留学生枠を20名設けているが、この中でアジア6か国の提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ、本学が奨学金を支給する留学生については、平成29年度の5か国13人から平成30年度は6か国16人へと出身国が多様化し、人数も増加した。一方、私費の留学生は、平成29年度の5か国・地域7人から、平成30年度は3か国4人であった。</p> <p>在学中6年次に必修として全員が履修・参加する「海外臨床実習」は、卒後のキャリア形成に重要な実習経験となるが、設置時に実習の受け入れを承諾していた海外の提携大学、医療機関を含め、派遣先の整備を具体的に進めるため、前述のとおり、外国人教員を多数配置するチームを設置した。</p> <p>また、本学卒業生が母国で臨床医として活躍するための環境づくりもその狙いの一つとして長期的に取り組むため、今年度から国際的視点からの医学教育に焦点を絞った「IUHW国際医学教育シンポジウム」を平成30年4月に開催した。(30)令和元年度に入学した3期生のうち、アジア提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ、本学が奨学金を支給する留学生は6か国16名、私費留学生は2か国4名であった。本学卒業生が母国で活躍するための支援体制充実に向け、奨学金留学生リクルート試験(筆記および面接)で現地に赴いた際、提携大学や大学病院の幹部との面談を通して情報交換を密に行い将来展望を確認した。又提携大学から本学に教員として赴任している教員は、母国からの留学生への日本における勉学の支援のみならず、母国に帰国後の進路指導を行なっている。更に平成30年4月に本学で行われた第1回IUHW国際医学教育シンポジウムにおいては、提携大学から学長、学部長、教育担当者などを本学に招き、留学生との交流と本学の医学教育の実際の視察に基づき、卒業後の留学生進路支援の場もなった。一方私費留学生については、卒後の母国での進路も含め定期的に個別の面談を通して卒後の進路支援をしている(元)</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>引き続き、全ての留学生が本学医学部を卒業後、将来的に母国医療界のリーダーとして活躍できるよう、キャリア支援の一環としても、海外臨床実習の受け入れ体制づくりを進めるほか、「IUHW国際医学教育シンポジウム」の定期開催を通じて、本学の医学教育の国際通用性について、参加するアジアの推薦大学や関係機関が認知、理解を深めるよう促し、環境作りを進める。</p> <p>履行中</p> <p>(次頁へつづく)</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	留意事項	<p>令和2年に入学した4期生のうち、アジア提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生は5カ国17名、私費留学生は3つの国、地域から3名であった。卒後の進路についての支援体制も含め、留学生への更なる支援の為、令和2年からは、各学年20名ずつの留学生を4グループに分け、それぞれのグループに2名外国人教員（若干日本人教員も含む）をサポート教員として割り当てた。令和2年4月に本学で予定していた第2回IUHW国際医学教育シンポジウムでは、提携大学から学長、学部長、教育担当者などを本学に招き、奨学金留学生の進路支援について協議予定であったが、COVID-19の為延期となった。（2）</p>	<p>（前頁からのつづき）</p> <p>令和元年度「履行状況」に記載したとおりである。</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	<p>医学教育統括センターは、本学の教育目標を達成するために重要な位置付けであると考えられることから、以下の点に留意し、その役割を十分に果たせるよう適切に運営すること。</p> <p>(1)同センターに係る規程等を整備し、コース・ディレクター等センターに配置される職員の役割、責任体制、指揮命令系統等を明確にすること。</p> <p>(2)専任教員25名及び兼任教員15名に加え、事務職員や技術職員等を十分に配置し、多岐にわたる業務を円滑に実施する体制を整えること。</p>	<p>(1)「国際医療福祉大学医学教育統括センター規程」を添付資料1の通り整備し、同センターが学長直属の組織であることを明記した。その業務を統括する医学教育統括センター長の役割を明記したほか、コース・ディレクター等の役割、責任体制等を明確にした。15のコースのコース・ディレクターは担当教員から授業計画の提示を受け、指導・助言をする。授業ごとに行われる担当科目の授業アンケートに目を通し、評価に問題があった場合は担当教員と具体的な改善策を話し合うほか、次回の授業を見学して授業評価が向上するまで細やかな支援を行う。(29)</p> <p>整備した規程に基づいてコース・ディレクター等による細やかな支援体制を定着させた。(30)</p> <p>(2)医学教育統括センターに専従の3人の事務職員を配置したほか、学務課の教務係・学生係および国際交流センターの事務職員が日常的に業務を支援する体制をとっている。ICT活用など技術面では、本学の情報システム部長であり教育システムの責任者を務めている准教授がe-learningの整備・運用を担当し、講義資料のオンライン提供や出欠管理、授業アンケート等を管理している。さらに、医療情報学が専門の医学教育統括センターの教授が学生などに関して得られたデータの集計・分析を担当している。(29)</p> <p>医学教育統括センターの体制を強化し、事務職員は専従で4人に加え、兼務4人を配置している。システム担当は准教授以外に技術職員2人が常駐し、e-learningの運用などを管理している。(30)</p>	<p>留意事項</p> <p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	<p>運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>校地から1,400mのところにある5,600㎡余りの運動場に平成29年4月、テニスコート3面と駐車場、トイレ、シャワー室、ロッカールームが完成し、成田看護学部・成田保健医療学部と共用で利用を開始した。医学部のカリキュラムに体育の科目はないが、今後課外活動などの際に必要な応じマイクロバスなど大学の公用車により学生の利用の便を図る。クラブ活動は成田キャンパスの3学部一体で行うこととし、顧問の教員の活動や外部の施設を利用する場合の補助などを通じ、引き続き大学として課外活動を支援していく。(29)</p> <p>医学部の学生による課外活動はきわめて活発で、学生委員会を通じて大学として学生の課外活動に配慮し、支援している。(30)</p>	<p>留意事項</p> <p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	履 行 状 況	今後の 実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している ことから、原因分析と その結果に基づく改善 策適切に講じることにより、 教育研究水準の 維持向上等に配慮した 安定的な教員組織の編 成に努めること。	指摘事項 (改善)	教員の就任承諾を求めるに あたっては、卒業生を出す まで教育を全うすることを 説明し、本人から承諾書を受 領している。 就任辞退者（未就任）及び 辞任している教員160名のう ち、その後に着任している 者が2名いることから、実質 的には158名となっている。 158名のうち外国人は22名 で、その理由は母国におけ る家族や勤務環境の変化に 伴い来日できない、もしくは 帰国せざるを得ないことが 理由となっている。残り 136名の日本人については、 申請時には予想できなかった、 もしくは着任後に発生 した事情によるものとなっ ている。本人や家族の病 気、妊娠等の個人的な事情 の変化や、地域医療に与え る影響からやむを得ず現勤 務先に残らざるを得なく なった等の理由であり、中 には、国公立医科大学の 主任教授として昇格人事と なった例もある。 本学としては、医療の世界 は環境の変化が著しい領域 であり、また全国の医科大学 が苦勞しているのと同様に 地域医療への影響を最小 限に抑えながら人事政策を 安定的に行うことが難しい 側面があるものの、引き続 き辞退（未就任）を避ける ための努力を行っている。 具体的には、個人的な理由 がほとんどであるため、着任 済み及び就任予定の教員に 対して事情の変化がないか の問合せを行い、もしその ような事情が判明すれば、 面談等を速やかに実施する などして辞任に至らないよ うに進めている。大学とし て取り組めることに限りが あるものの、今後も事前の 情報収集に努めていく。 (2)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。





## 7 全般的事項

1. 設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って、認可時の計画及びその履行状況等を各項目ごとにA4判1～2枚程度で以下の様式により作成してください。
2. 「設置認可時の計画」欄は、以下の記載の項目(様式の網掛け部分)に関する内容を箇条書き等により簡潔に設置認可申請書から転載してください。
3. 「履行状況」欄については、項目に対する履行状況等を記載するとともに、必要に応じ、履行状況を示すデータ(データ等については、各大学で作成している独自のデータ等を利用することも可能です)を各項目ごとに添付又は転載してください。  
また、記載に当たっては、単に「計画通りに履行している。」等の記載は避け、具体的に記載してください。
4. 認可時の計画から変更が生じている場合は、「履行状況」欄に、その変更箇所を見え消しで記載し、理由も付記してください。
5. 添付資料の該当部分を各項目の履行状況を示すデータとして引用する場合は、資料番号及び参照ページを付記することで、各項目ごとに資料を重複して添付又は転載する必要はありません。

<医学部 医学科>

(1) 設置計画事項等

①設置の趣旨及び必要性

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>教育上の理念、目的</p> <p>本学は「共に生きる社会」の実現を建学の精神とし、以下の基本理念と教育理念を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念：「人間中心の大学であること」「社会に開かれた大学であること」「国際性を目指した大学であること」</li> <li>・教育理念：人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営</li> </ul> <p>これらの理念に基づき、医学部では国家戦略特区の趣旨を踏まえた国際的な医療人材の育成を目指し、独自のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを策定した。</p> <p>医学部が養成する人材像は、医療プロフェッショナリズムを実践する国際的に活躍できる医師、すなわち日本語のみならず英語での高いコミュニケーション能力を有し、各国の文化や社会的背景、保健事情等を踏まえた対応が可能な国際標準の診療能力を有し、国内外でリーダーとして活躍できる医師である。豊かな人間性及び広い視野を備え、医療関連職種専門性の理解・尊重した上でチーム医療の中核となり、確かな医学知識と技術、高い倫理観と使命感を持ち、国際社会及び地域社会に貢献する医師を育成する。</p>	<p>教育上の理念、目的及び医学部独自のポリシー、養成する人材像を以下の資料等により明示し、認可時の計画通り履行している。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学案内／医学部パンフレット (提出資料⑦ P45/P2-8)</li> <li>・入試要項 (提出資料⑩ P1)</li> <li>・学生便覧 (提出資料⑧ PA3-A5)</li> <li>・ホームページ (<a href="https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html">https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html</a> <a href="http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/">http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/</a>)</li> </ul> <p>医学部が養成すべき人材像に合う学生を受け入れるため、アドミッションポリシーにもとづき入学者選抜の二次選考では約30分の個人面接を2回行っている。1回目の面接では3名の面接官が出願書類に基づいて志願理由等をじっくりと受験生に聞き、2回目の面接では別の3名の面接官が社会的に問題となっているテーマをいくつか取り上げ、それについての受験生の意見、考えを聞き、受験生の人格やコミュニケーション力、国際的に活躍する意志などを丁寧に確認している。</p> <p>英語での高いコミュニケーション能力をつける為、1年次1学期から徹底した英語教育を行っている。1年次の必修英語I・IIの授業(240時間)では入学時のTOEFL ITPヒアリング点によりレベルを4つに分け、それぞれの学生レベルに合わせたきめ細かい英語教育をおこなっている。特にヒアリングとスピーキング能力が高まる様な授業を組み立てており、その結果、学生のバックグラウンドに関わらず、TOEFL ITP平均点が入学時に比べ1年間の英語教育後、1期生、2期生、3期生とも30点以上向上した。</p> <p>高い倫理観と使命感を身につけさせるため、「医療プロフェッショナリズムI(入門)」を1年次1学期から開講している。アクティブラーニングで行われている毎回の授業では、多様な価値観への理解を深め、コミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、倫理観や守秘義務、医療事故などのテーマを1年次から考えさせる事により、医療プロフェッショナリズムを実践できる為の土台を医学生の早い時期から教育している。令和2年度1学期は新型コロナウイルス感染防止の為、本学ではオンライン授業が主流であったが、医療プロフェッショナリズム授業ではZoomオンラインシステムのブレイクアウト機能を使い、学生間の話し合い時間を十分に確保する配慮をしながら例年通りアクティブラーニングで授業が行われた。広い教養を備えた人材を育成するため、総合教育科目の選択科目など自由科目も積極的に履修するよう指導していることに加え、上記の1年次の英語教育では、語学力を鍛える教育にとどまらず、人文科学、社会科学、自然科学の一般教養をも英語教育の中で教えている。更に学生は、多数の留学生や外国人教員と授業内外で日常的に触れる本学の国際的教育環境を通して、国際的視野に立って物事を考える練習を自然に日々繰り返している。</p>

②教育課程の編成の考え方及び特色

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a) 教育課程編成の考え方</p> <p>○ 学年暦（4月1日から翌年3月31日まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十分な学修期間を確保するため3学期制</li> <li>1学期は4月1日から8月31日まで（15週間）</li> <li>2学期は9月1日から12月31日まで（15週間）</li> <li>3学期は翌年の1月1日から3月31日まで（10週間）</li> <li>・ 通年で40週間の学修期間</li> <li>・ 夏期休暇6週間、冬期休暇3週間、春期休暇3週間</li> </ul> <p>○ 時間数と単位数の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時間は、学生の集中力の継続を意図して1コマ60分</li> <li>講義は15時間1単位</li> <li>演習は30時間1単位</li> <li>実習は45時間1単位</li> </ul> <p>○ 科目区分の設定</p> <p>① 総合教育科目を人間系、社会系、全地球的な課題、数学・自然科学系、外国語系に区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療プロフェッショナルリズム、国際医療保健学、法と医療、社会保障と医療制度、医療物理学・医用工学、医療化学、医療生物学、統計学等を必修科目として設定</li> <li>・ その他選択科目を設定</li> </ul> <p>② 専門基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「医学英語」、「器官別統合講義」、「医療面接・身体診察」等の演習、「正常人体解剖実習」、「関連職種連携ワーク」等を専門科目を学ぶための前提となる知識や技術を学ぶ必修科目として設定</li> <li>・ 意欲のある学生は「関連職種連携実習」、「海外医療体験」を自由科目として履修可能</li> </ul> <p>③ 専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度専門知識・技術を修得するため、臨床医学や社会医学の講義、および全診療科をローテートする参加型臨床実習、海外臨床実習等を必修科目として設定</li> </ul> <p>○ 留学生への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校を秋に卒業する留学生や既卒者の留学生で日本語能力が充分でない者は、入学が決まった段階で早めに来日してもらい、日本語別科の受講を推奨</li> <li>・ 全ての学生が英語・日本語の授業に対応できるよう、1年次に日本語科目を開講</li> <li>・ 高校で生物を履修していない者や、高校の履修範囲が限定的な者を対象として、1年次に自然科学系の科目を設定し、対象者に受講を推奨</li> </ul>	<p>認可時の計画に従い、学生便覧に示すとおり3学期制にて運営している。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生便覧（提出資料⑧ 冒頭）</li> </ul> <p>認可時の計画に従い、原則1時限60分として授業実施している。ただし、他学部との共通開講科目など一部の科目は授業時間を90分としている場合がある。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学則（提出資料③ P24）</li> </ul> <p>認可時の計画に、科目を追加し一部変更の上、履行している。授業科目一覧に示す通り、リベラルアーツ科目を充実させるため、総合教育科目「社会系」に、英語で実施する「現代日本考-政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ-」を追加した。一方、認可時に1学期に実施すると計画していた「英字新聞で読む社会学・政治学」は、高い教育効果を得るため、1学期に開講する総合教育科目により国際情勢や社会保障制度に関する基礎的な教養を獲得し、英語の運用能力が向上する2学期に実施することとした。専門基礎科目の中で申請時に4年次科目としていた、他職種連携教育の演習科目である「関連職種連携ワーク」を1年前倒して3年次で実施している。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連職種連携ワークに関する資料（添付資料1）</li> </ul> <p>一期生留学生20人のうち7人は平成28年11月、6人は平成29年1月に来日した。二期生留学生20名のうち1名は平成29年3月、12名は平成29年10月、1名は平成29年12月、平成30年1月に2名が来日した。また、三期生留学生20名のうち4名は平成30年10月、11名は平成30年11月、1名は平成30年12月に来日した。四期生留学生20名のうち11名は令和元年10月、3名は令和元年11月、3名は令和元年12月に来日した。これらの学生は医学部入学までの間、留学生別科の授業を受講し日本語を学習するとともに、希望者に対しては、生物学などの自然科学系の事前学習を履行した。</p> <p>医学部入学後も日本語科目授業を留学生は日々受講する一方、1年次1学期の講義に関して、日本語能力が十分なレベルに達していない留学生が一部いることに配慮し、一部の基幹科目については日本語と英語の両言語で開講、さらに、日本語のみで行われる科目については、講義内容の概要・要点について英語版と日本語版の資料作成、講義中や補習として英語で随時補足説明を行う事、更に試験は日本語と英語で出題し、解答は英語でも可とする配慮をしている。また、物理学のように国によって高校で履修する範囲や内容に大きな差のある科目については、講義開始前に学力試験を実施し、レベルの把握をした上で講義を行っている。</p>

(b)教育課程編成の特色

・医学部設置準備委員会を設置しoutcome-based curriculumの手法で、約7年間の議論を経て検討。  
・養成したい医師像に必要なキー・コンピテンシーと特区への医学部新設の提案を踏まえ、国際性を身につけた臨床実践能力の高い医師になるアウトカム、さらに、医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠し、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育課程を編成し、6年間のカリキュラムマップを作成。  
・全国の医学教育に携わる学長、医学部長、各専門領域の教授による国際医療福祉大学医学部設置諮問委員会の議論をもとに、リベラルアーツの充実、医療プロフェッショナルリズムの教育、国際医療保健学の導入、1年次からの医療面接・身体診察の導入、基礎・臨床医学を統合した器官別統合カリキュラムの策定、さらに、4年次1学期から6年次1学期にかけて90週の診療参加型臨床実習の実施などを決定。

① 医療プロフェッショナルリズムの醸成

・入学者はオリエンテーション後すぐに、「医療入門・正常解剖演習」、「医療面接・身体診察Ⅰ」、「医療プロフェッショナルリズムⅠ」等の講義・演習を受講  
・1年次から医学・医療に関連する学修を行い、将来の医療現場の中心的な役割を自覚し、医師として必要なコミュニケーション、医療関連職種との役割や、患者家族のニーズを理解。  
・1年次の「医療プロフェッショナルリズムⅠ」で、行動科学、人との良好なコミュニケーション、信頼関係の形成の仕方、良い医師とは何かを考察。

② 英語で診療や議論ができる能力の養成

・入学時、学生の英語能力に相当の差があることを想定。  
・レベル別のクラスによる英語教育を集中的実施。  
・1年次の「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」は、医療に限らない多様なテーマで、読解力や聞く・話す能力を強化する一方で、医療現場で用いられる医療単語やフレーズを学習。  
・1・2年次の医療面接・身体診察は、英語でコミュニケーションと身体診察が行える事を目標に設定。

・1年次に自由科目として開講する「海外医療体験」は、夏期休暇に2週間程度、ベトナム、ミャンマー等のアジア諸国のうち1カ国で研修。

認可時の計画通りに履行している。国際性を身につけた臨床実践能力の高い医師を輩出するというアウトカムのために、国際共通語である前述の英語教育の充実、1年次2学期から2年次までは英語による科学・医学の授業、多数の留学生・外国人教員に日々触れ合いながら自然と国際性が身につく学習環境、臨床実践能力を高める為の基礎医学と臨床医学を統合した統合型カリキュラムで教育が行われている。令和2年4月からは、90週に及ぶ臨床実習が始まり、卒業時には研修医として即戦力となる臨床能力を2年半の実習で身につけさせる診療参加型臨床実習が組まれている。  
医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠したカリキュラム・ポリシーを踏まえた教育課程が編成され、科目間の関連、ディプロマポリシー、卒業時コンピテンシーなどとの関連についての学生の理解が深まるよう履修系統図を作成し、学生に提示している。

(資料)

・履修系統図(添付資料2)

「医療面接・身体診察Ⅰ」、「医療プロフェッショナルリズムⅠ」、「医療入門・正常解剖演習」等の授業を通して医学、医療に関連する学修が入学直後から始まり、入学生はモチベーションを高く保っている。医療面接・身体診察の1年次の授業では、アクティブラーニングを通して日英で患者さんとのコミュニケーションを学び、授業終了時には医療面接を一通り行える様になる。2年次の「医療面接・身体診察Ⅱ」では1年次の発展として、医療面接術の更なる向上に加え身体診察の基本を身につける。前述の1年次1学期からはじまる医療プロフェッショナルリズムの授業においても、毎回多様な価値観への理解を深めコミュニケーション能力を向上させている。

入学時の学生の英語能力に相当な差がある事を想定し、入学時のTOEFL ITPのヒアリング成績をもとにレベル別の4グループを作り英語教育を集中的に実施している。1年次の英語Ⅰ、英語Ⅱでは、医療に限らない文化、芸術、国際社会、時事問題、最新科学等のテーマを教材として使いながら読解力、聞く・話す能力を強化している。加えて1年次の英語教育の中の1つのテーマPatient Careでは、胸痛、頭痛、腹痛の3症状を使い患者さんへの英語での問診の仕方を教えている。入学時に加え毎学年末にTOEFL ITPを行い、毎年新たなレベル別グループ分けを行なっている。2年次必修の120時間の医学英語では20程度の主訴(下痢、黄疸、月経不順等)を取り上げ、これらの訴えで来院された患者さんと向き合うと想定し、鑑別診断を考えながらの適切な医療面接を行うトレーニングと英語によるカルテ記載、症例発表の指導をしている。平行して行われている器官別統合講義で扱う病態生理と医学英語で扱う主訴を揃える事により、学生が症候から疾患を考えることができる科目横断的な統合カリキュラムとなっている。

認可時の計画通りに履行している。平成29年度は13人、平成30年度は1人の学生が約2週間の海外研修に赴いた。令和元年度については、希望者がなく未開講となった。令和2年度は新たな研修先としてリトアニア健康科学大学が設定されたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により非開講となる見込みである。

③ 医師としてふさわしい人格を磨く充実したリベラルアーツ

- ・1～3年次に、人間系、社会系、全地球的な課題、数学・自然科学系の4分野で、必修13単位、選択必修2単位の医学・医療に必要なリベラルアーツの講義を開講。
- ・外国語系科目として、英語、第二外国語、留学生向けの日本語を設定。第二外国語はフランス語、ドイツ語、スペイン語の主要言語に加えて、アジアの言語を選択できるようにする。

④ 臨床医学との関係性を重視し、考え方の教育に重点を置く基礎医学教育

- ・臨床医学との関係性を重視し、基礎医学を常に臨床と結び付けて統合的に教育。
- ・少人数教育やグループディスカッションを通じて、学生に考え方を学ぶ機会を多く提供し、情報の批判的吟味、問題解決能力を強化。
- ・1年次1学期の「医療入門・正常解剖演習」は、三次元の人体解剖を理解すべく、3D人体解剖ソフトのディスプレイに表示される教材で、解剖の知識を修得。2年次3学期の人体解剖実習の事前学習と位置付け、教育効果を高めることを意図。
- ・1年次2学期の「発生・出産」は、発生から各種の臓器形成までの過程（ヒトで重要な受精と妊娠、分娩まで）を学修。
- ・1年次3学期以降の器官別統合講義では臨床医学との関係を重視した基礎医学と臨床医学を統合的に学修。1器官2～4週程度の集中講義を想定。
- ・カリキュラム・ポリシーの「d) 基礎医学と臨床医学を統合して教え、少人数教育を多用し、情報の批判的吟味、問題解決能力の強化を図る。」に対応。

認可時の計画に加え、さらに科目を追加した。総合教育科目のうち批判的な能力を育成するものや教養を涵養するもの等については日本語で実施することとしていたが、英語能力が高い日本人学生が一定数入学したこと、ならびに、日本語能力が十分でない一部の留学生に対する配慮のため、「人間系」の授業科目については、①に述べた「医療プロフェッショナリズムⅠ～Ⅲ」を、「社会系」では「法と医療」「社会保障と医療制度」を、および「全地球的な課題」では「国際医療保健学Ⅰ～Ⅲ」をそれぞれ必修科目として実施している。これらに加えて、選択科目の中から2単位を以上を選択必修としている。それぞれの系で1科目ずつ（「死生学」ならびに「国際機関論」）について英語を多用する講義とした。さらに、「社会系」の自由科目として新たに英語を多用する講義を1科目（「現代日本考-政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ-」）追加した。総合教育科目のうち数学・自然科学系科目の自由科目の一つである「数学」については、履修対象が主に留学生となることから、英語を多用する講義とした。第二外国語は自由科目であるが、1学期は計83人が履修登録し、アジアの言語についても中国語入門、韓国語入門、タイ語入門、ベトナム語入門、ビルマ語入門のすべての言語について履修登録があり開講している。

将来国際的に活躍できる医師を養成することを目指し、3学年にわたり国際医療保健学を開講している。1年次に開講した「国際医療保健学Ⅰ」では、国際保健の概念や、熱帯医学、国際保健医療等、国際保健の最新の動向について講義を行った。2年次に開講した「国際医療保健学Ⅱ」では、ベトナム、ミャンマー、モンゴル等から赴任している外国人教員が中心となり、アジアを中心とした世界各国の医療システムと現地で医療を実践するために必要な文化的背景についての講義を行った。さらに3年次で開講した「国際医療保健学Ⅲ」では、小グループにわかれて途上国を中心とした各国の医療事情と課題についてテーマを自由に選択し、調査研究と発表会を実施した。

1年次1学期の「医療入門・正常解剖演習」は、3D人体解剖ソフトに加え、より教育効果を高めるために骨格模型を用いた演習もあわせて実施している。また各回10名前後の教員が参加し、少人数教育およびアクティブラーニングを推進している。

1年次2学期の基礎医学総論では、各基礎医学分野の総論部分を分野ごとに集中講義の形で実施中である。特に臨床医学の理解の基盤となるよう、内容を厳選している。また基礎医学実習においては、習得した知識を自ら用いて問題解決に応用する方法を指導している。効率よく、かつ理解が深まるよう科目責任者が定期的に議論を重ね、各分野の重複や指導順序について調整を続けている。

同じく1年次2学期の「発生・出産」では、エコーを用いてファントムを観察することで、より臨床に近いセッティングでの発生過程の理解を促している。分娩過程についても、シミュレーターを用い、動的過程を学習している。

1年次3学期以降、2年次2学期までの器官別統合講義では、各コースの主に前半部分で（正常）解剖学および生理学を、中盤で各疾患の病態のまとめとして病理学について、各論の内容を指導している。これにより基礎医学と臨床医学を統合的に学習できるよう、シラバスを編成している。またコース開始前に各診療科および専門領域に渡る教員が討議を重ね、指導内容について調整を図っている。各コース間においては、各器官における指導レベルの調整および指導内容の確認をコースディレクターおよびアドバイザーを中心に行っている。

3年次の臨床医学に関する授業科目で、特に診断の基盤となる基礎医学との関係性をさらに重視するため、一部に基礎医学の内容を充実させた。

<p>⑤ 充実したシミュレーション教育、診療参加型臨床実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界最大級の医学教育シミュレーションセンターを活用し、学生は知識・技術・態度のバランスのとれた高い総合臨床能力を修得。</li> <li>・1年次の「医療面接・身体診察Ⅰ」で、日本語・英語の両方で、医療面接の基本的な流れ、正常身体診察を一人で実施できるようになることを目標として学修。</li> <li>・2年次の「医療面接・身体診察Ⅱ」で、日本語・英語の両方で、異常を含む身体診察を一人で実施できるようになることを目標として学修。3年次の「総合臨床医学」で診療科別に主要疾患の診断・治療を総合的に学修。「症候と臨床推論」で、実際のケースを用いて、高い診断推論能力を修得。</li> </ul>	<p>平成29年度以降シミュレーションセンターを利用して充実したシミュレーション教育を実施している。基礎医学科目、例えば1年次2学期の薬理学においては、薬の作用を知識として学んだ後、実際にシミュレーターでその作用を体験する事により教科書の知識を定着させる効果にとどまらず、臨床実習前教育と臨床実習をよりスムーズに連携させる事につなげている。1年次3学期からの器官別統合講義の臨床講義では、身体診察、エコー等、臨床現場により近いシミュレーション教育が組み込まれている。</p> <p>令和元年度は、次年度から開始する診療参加型臨床実習の為に、各臨床実習施設に臨床実習ディレクターを配置すると同時に医学教育統括センター内に臨床実習調整ディレクターを配置し、実習施設と医学部が一体となって臨床実習準備にあたった。加えて、実習全体を統括する臨床実習統括ディレクターを新たに配置し、教育効果の高い、そして患者さんにとって安全かつ有益な参加型臨床実習を行うために、臨床実習運営連絡協議会準備会を開催し上記の各ディレクター、実習先病院長等が準備を進めた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、感染拡大地域における通学時間が長時間とならないことに最大限配慮し、かつ多様な医療を体験できるように、当初の予定であった栃木エリアおよび東京・千葉エリアの実習配属先に加えて、九州エリアの2つのグループ病院を実習先として追加し、配属人数を調整した上で、当初計画では4月下旬であった実習開始時期を6月上旬に変更して開始、定期的に臨床実習運営連絡協議会を開催する予定である。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションセンター授業利用状況一覧 (添付資料3)</li> <li>・臨床実習の手引き、各エリア病院実習の手引き、臨床実習における学生の評価 (添付資料4)</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③教員組織の編成の考え方及び特色

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)教員組織編成の考え方</p> <p>外国人医師、北米等海外での臨床・教育経験が豊富な日本人教員を積極的に採用するため、東北を除く国の内外から広く公募を行った。選考にあたって、書類審査の他、役員面談、英語による模擬授業等を実施した。教員の採用は、「教育職員の職制及び任免に関する規程」に基づき、人格、学歴・職歴及び学術上、教育上の業績等を考慮して行った。国際的な医療人材育成のための医学部を新設するため、英語による臨床・教育実績及び臨床研究の実績を特に重視した。専任教員数は、設置基準で定める教員数160人に対して、開設時で教授147人、准教授44人、講師49人、助教38人の計278人を予定している。また、完成年度を迎える時点で、教授156人、准教授49人、講師57人、助教45人の計307人を予定している。</p> <p>本学医学部教員の研究分野は、基礎医学研究、臨床医学研究、及び社会医学研究に大別される。基礎医学研究では、生化学、分子生物学、免疫学、生理学、細胞生物学、薬理学、微生物学、解剖学、病理学等、教員の所属する分野の研究をさらに深める。臨床医学研究では、再生医療の推進、国際感染症や少子高齢化社会への対策、アルツハイマー病・精神疾患の治療等が重要な課題となる。社会医学研究では、感染症疫学、国際保健学、医療政策・管理学を中心とした体制を整備し、人間集団全体の健康増進や予防の推進、医学・医療の社会的側面の解明、医学研究の社会的還元促進等に関わる研究を行う。これらの多岐にわたる研究の中でも、最先端の臨床研究に加え、特に感染症、国際保健、介護ロボットを中心的な学問分野として位置付けている。</p> <p>(b)教員組織の年齢構成の考え方</p> <p>教員の年齢構成は、完成年度時点で30歳代15人、40歳代90人、50歳代115人、60歳以上87人となっており、年齢的に均衡のとれた配置となっており、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障が無い年齢構成となっている。</p>	<p>専任教員数は、教授166人、准教授53人、講師55人、助教55人の計329人が令和2年5月1日迄に着任し、令和2年3月には新たに専任教員23人を追加申請、5月には21人を追加申請予定としている。設置認可時の計画では本年度303人、完成年度で307人の専任教員数となっていることから、既に予定の教員体制を上回る組織編制となっている。なお、本年9月には更に30人の追加申請を行う予定であり、今後も引き続き補正申請を進めることにより教育研究体制の強化を図る予定でいる。</p> <p>基礎医学研究分野は、平成30年に完成したⅡ期棟内に基礎医学研究センターが設置され、成田キャンパス内での研究活動を本格的に開始した。また、世界最先端の次世代シーケンサーやゲノムインフォマティク解析のためのコンピュータシステムが整備された「ゲノム医学研究所」を設置し、高精度のヒトゲノム解析技術を利用した研究プロジェクトが進行中である。臨床医学研究では、「高度生殖医療リサーチセンター」を開設した。同センターは本学附属病院および臨床医学研究センターの臨床部門と連携し、高齢不妊や卵巣機能不全に対する治療法の開発と臨床試験に取り組んでいる。その他、臨床各科で治験や、上記ゲノム医学研究所と連携し精密医療の実装を目指した橋渡し研究が展開されつつある。社会医学研究においては、「感染症国際研究センター」を開設し、感染症対策の国際拠点としての活動を行っている。また本学の幅広い国際提携校のネットワークを生かし、国際保健分野の研究も進めている。</p> <p>令和2年5月1日現在の専任教員332人の完成年度時点の年齢構成は、30歳代28人、40歳代91人、50歳代123人、60歳以上90人となっており、認可時計画と比較して30歳～50歳代の年齢構成比率が高まっている。今後の追加申請にあたっては、より30歳代、40歳代の若手・中堅の教員配置を進める予定であり、前述の令和2年3月、5月、9月の専任教員追加申請では、40歳代30人、30歳代29人、20歳代1人を予定しており、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図る。</p>

④履修指導の方法(入学から卒業までどのように教育するのか)

認可時の計画	履行状況
<p>(a) 標準終了年限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年(学則第15条の2)</li> </ul> <p>(b) 卒業要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育科目で必修21単位(人間系4単位、社会系2単位、全地球的な課題3単位、数学・自然情報系4単位、外国語系8単位)、選択2単位(人間系1単位、全地球的な課題1単位)、専門基礎科目で必修73単位、専門科目で必修160単位、計256単位。</li> <li>・進級・卒業判定については、医学教育統括センターが成績管理・卒業判定委員会に諮り、代表者会議で承認。</li> </ul> <p>(c) 進級要件、履修科目の登録の上限</p> <p>令和2年度からは医学教育統括センター長の下に、臨床実習担当副センター長、海外実習担当副センター長、臨床実習前教育担当副センター長の3名副センター長体制となり、センター業務の運営体制を強化した。令和2年度、医学教育統括センターの事務職員は専従で7人を配置し、教員・職員が一体となって授業や会議等の運営に当たっている。システム担当として、成田キャンパスに常駐する情報教育専門の教授およびシステム担当職員3人が医学部と連携をしe-learningの運用などを管理している。医学教育統括センター会議体制は、医学教育統括センター専任教員が参加する毎週の医学教育統括センター運営会議にて教育現場の情</p> <p>(d) 成績評価法、基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価方法は科目によって異なるが、出席状況や発言内容、自己学習に対する積極性や態度を重視し、小テスト、筆記試験、レポート等を総合的に評価。</li> <li>・成績評価はコース・ディレクター及び実習ディレクターが実施し、医学教育統括センターが取り纏めた上で、単位を認定。</li> </ul> <p>(e) 既修得単位の認定方法等</p> <p>学則(第32~34条)に基づき次のように規定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他大学における授業科目の履修等については、学則で規定している。本学に入学する以前に他の大学、短大、高等専門学校または大学設置基準第29条第1項の規定による専修学校において履修した授業科目の単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、与えることがある。</li> <li>・本学に入学後は、放送大学で修得した単位が30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができるが、卒業に必要な単位への換算は6単位までとしている。</li> <li>・本学入学後に他の大学・短大等において履修した授業科目について修得した単位の認定がある場合は、放送大学と併せて30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。</li> </ul>	<p>修業年限は、学則第15条第2項に6年と定めている。なお、在学年限は学則第16条に12年と定めている。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則(提出資料③ P6)</li> </ul> <p>卒業要件は、国際医療福祉大学の授業科目等及び卒業に必要な単位を定める規程 別表2 及び国際医療福祉大学医学部履修規程(以下、「医学部履修規程」という)第9条に定め、履行しており、特に変更はない。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則(提出資料③ P25, 57-60)</li> </ul> <p>医学部履修規程第15条において進級条件を定めている。履修については、1)適切な学習時間 2)使用する言語 3)学修志向による選択科目、自由科目の履修 の3つの点から教員が学生に対しオリエンテーションで説明した。その上で学生の求めに応じ、教員及び事務職員が個別に指導を行った。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則(提出資料③ P27, 30)</li> </ul> <p>認可時の計画に変更はなく、評価について学則第29条及び医学部履修規程第12条に定め、実施している。平成29年度~令和元年度の開講科目においては、ほとんどの科目で総括評価試験(定期試験)の他に小テスト、レポート、授業参加姿勢を組み合わせて総合的に評価している。申請時の計画に記載したコース・ディレクターに加えて、科目アドバイザーを配置し、科目間あるいはカリキュラム全体的な授業の立案、実施、評価を行っている。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則(提出資料③ P26)</li> </ul> <p>既修得単位の認定については、学則第32~34条、医学部履修規程第14条に定め認定している。学生にはオリエンテーションの際に、手続きを含めた申請に関する事項を周知の上、期間を設けて申請を受け付けている。</p> <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則(提出資料③ P8, 26-27)</li> </ul>



⑤各施設、学生の自習室等の考え方

認可時の計画	履行状況
<p>(a) 講義・演習室</p> <p>講義室は、162人収容可能な階段教室を4室整備する。少人数教育を実施するための施設として、TBL室(32人用)14室、SGD室(8人用)44室を整備する。情報・語学関係では、80人収容可能なPC教室を2室、40人収容可能な語学教室4室を整備する。</p> <p>解剖実習室には、人体解剖を統合教育の手法を用いて行い、器官ベースで学習するため、ホルマリン対応解剖台を学生4人につき1台、計36台を整備する。さらに、80体収容可能な保管庫、新鮮凍結献体を用いた教育研究施設のクリニカルアナトミーラボ等、解剖実習に関連する施設を整備する。</p> <p>基礎医学演習を十分に実施するため、バーチャルスライド対応のマルチメディア実習室(顕微鏡実習室160席)の他、レーザー顕微鏡室2室、蛍光顕微鏡室2室、光学顕微鏡室1室、中央実験室8室、実験室20室等を整備する。</p> <p>また、動物実験関係の施設は、感染実験室、TG(遺伝子組換え)実験室、SPF(無菌飼育)実験室、動物管理室等を整備する。</p> <p>さらに、日本の医科大学として最大規模(約5,200㎡)の医学教育シミュレーションセンターを整備する。当センターには、診察室(22室)、診察モニター室、BLS室(3室)、ERシミュレーション室、ガウンテクニック室(サージカルスキル演習室)、オペレーション室、ICUシミュレーション室、模擬病室(2室)等を備え、各種シミュレータを整備し、診療に必要な知識やスキルを、実践を通して学ばせる。臨床実習前だけでなく、臨床実習中も繰り返して使用できる環境を整備する。</p> <p>学生の健康管理やメンタルサポートに関係する施設として、「学生健康管理センター」を設置することとしている。</p> <p>(b) 自習室</p> <p>図書室は、医学部校舎に図書閲覧室(90席)を整備すると共に、隣接する成田看護学部・成田保健医療学部の図書室(閲覧席235席)を共用する。加えて、自習室を、医学部校舎に156席を整備する。</p>	<p>医学部で使用する建物はⅠ期とⅡ期の2棟に分かれている。Ⅰ期棟(WB棟)は平成29年2月28日に、Ⅱ期棟(WA棟)は平成29年12月15日に引き渡しを受け、教育学習設備・機器を整備し授業に活用している。</p> <p>162人収容の階段教室は4室整備済み。TBL室14室は自在に設置・開放できる可動間仕切りを備え教育内容によって柔軟にその大きさを変えて使用している。SGD室は44室、PC教室は3室を整備した。語学教室4室は全てⅠ期棟に整備済みである。</p> <p>解剖学実習室はⅠ期棟の1階に整備。教員分も含めて37台のホルマリン対応解剖台を設置済みであり、医学部開設に合わせて献体の会を発足させ会員の募集を始めている。献体用の保管庫(80体用)も設置済み。クリニカルアナトミーラボもⅠ期棟に整備済みである。</p> <p>Ⅰ期棟ではマルチメディア実習室を整備、3D解剖台・バーチャルスライドシステムを備えた。その他のレーザー顕微鏡室、蛍光顕微鏡室、光学顕微鏡室、電子顕微鏡室(TEM・SEM)、中央実験室、実験室、動物実験室はⅡ期棟で整備した。</p> <p>医学教育シミュレーションセンターは、Ⅰ期棟とⅡ期棟同一階(4階:約5,300㎡)に整備した。Ⅰ期棟には模擬診察室22室、診察モニター室に加え、エコー・内視鏡シミュレーション室、フィジカルアセスメントシミュレーション室を設置した。Ⅱ期棟には、ER⇒オペ⇒ICU⇒模擬病床室という流れに沿ったシミュレーション室と、BLS室3室(3室繋げて使用も出来る)、高機能シミュレーター7台を含めた各種シミュレーターを完備した。</p> <p>さらにこの階にはeラーニング教材開発用に収録スタジオも設けている。</p> <p>学生健康管理センターはⅡ期棟に整備済である。</p> <p>図書閲覧室(71席)は既に完備し、自習室(156席)の整備をⅡ期棟で進めている。</p> <p>加えて、学生は既存の成田看護学部・成田保健医療学部の既設の図書館や、医学部Ⅰ期棟2階の学生ラウンジ、SGD室を活用している。</p> <p>また、電子教科書やeラーニング用の教材などは自宅からでもアクセスできるようにIT設備を整えている。</p>

(c) 図書(データベース等含む)

完成年度までに専門図書13,500冊(和書10,200冊、洋書3,300冊)、学術雑誌130誌(国内雑誌90誌、外国雑誌40誌)、視聴覚資料280点を整備する。  
キャンパスアグリーメントにより、多数のデジタルデータベース、電子ジャーナルの整備を計画している。  
本医学部では学生が利用する参考図書について電子書籍を積極的に活用する。具体的には、医学教育ではよく知られており、以前から定評のあるHarrisonの内科学やLANGEシリーズ等、85タイトル以上の主要な医学書を集約した「AccessMedicine(アクセスメディシン)」という電子教材集を採用する予定である。これらは紙の書籍に比べ頻繁にコンテンツの更新が行われるため、記載されている情報の信頼性は高く、PubMedなど医学文献データベース等への関連情報へのアクセスも容易で、利便性も極めて高いと評価されている。さらに、これ以外に必要な参考図書についてもeテキストとして閲覧・学習が可能な環境を整備する。また、電子書籍以外の教科書・参考図書については、海外の医学部に多く採用されている英語書籍に加えて、3年次以降の講義や国家試験に向けた学習で必要になる日本語書籍についても、質がよく低廉な価格の書籍を選定する。

(d) 情報設備

講義室にインターネットアクセスが可能なPCを用意し、円滑な議論や効率的な成果物の作成を行えるように、プロジェクタやホワイトボードを整備する。  
講義室内に、プレゼンテーションやインターネットを見ることが出来るプロジェクタを整備する。大講義室及びシミュレーションセンターで行われる講義は、原則として全て講義映像を記録し、イントラネット等にアップロードして、学生が繰り返し学習したり、教員が授業の内容やその重複をチェックしたりすることが出来るようにする。  
学内全域に無線LAN環境が整備され、学生は授業中や自主学習において、個人のタブレットやPCからこれらのコンテンツにいつでもアクセスでき、また、本医学部で選定された電子書籍プラットフォームについてはその費用を本学で負担し、学生へ負担を求めない予定である。これにより、医学部教育において非常に高額になりがちな学生の書籍に対する費用が大幅に低下し、負担の軽減を図ることができる。

図書の整備は学年進行に合わせ順次進めている。  
これまでに、専門図書約17,000冊(うち洋書約5,600冊)を整備し、医学図書館に配架。成田看護学部・成田保健医療学部で整備している約30,000冊の図書と合わせて学生の学習の便宜を図っている。また、学術雑誌については約10,200タイトルが閲覧可能であり当初計画を大幅に上回っている。学術雑誌のほとんど約9,900タイトルは電子ジャーナルであり、うち洋雑誌が約8,400タイトルを占める。視聴覚資料については講義用にeラーニング資料を教員自ら作成している。  
電子教科書として当初より計画していた「AccessMedicine」に加えて「ClinicalKey」も導入した。更に臨床実習において有用な「UpToDate」も既に整備している。また、eBookも約5,400冊導入、これらのサービスを導入したことにより参照できる書籍タイトルが大幅に充実し、教育の質の向上に大きく寄与している。

講義・演習・実習を行う階段教室・マルチメディア実習室・PC教室・語学教室・TBL室・解剖学実習室のすべてにプロジェクタ、ホワイトボード、AV操作卓、スクリーンを設置。講義・演習用に貸し出すノートPCも20台準備している。SGD室には大型のホワイトボードと55インチモニタを備えて円滑にアクティブラーニングが可能なように配慮している。  
館内全体にWi-Fi設備を構築しており、学生が持つ端末から電子教科書やeラーニング教材、インターネットにアクセスすることが可能である。  
階段教室と模擬診察室で行われる講義・演習・実習はVODシステムに収録しており、振り返り学習などに使用する。またeラーニング支援のためクリッカーも導入し効果を高めている。  
これら整備済みのシステムに、更に導入予定のポータルシステムや電子書籍管理システムなどを今後統合していき、総合的な電子教育支援システムを構築する予定である。  
なお、電子教科書として上述の「ClinicalKey」を追加したこともあり学生より1人当たり年額9,000円のコンテンツ費用を徴収することとしたが、冊子でそれぞれ揃えた場合に比べ大幅に少なく、学生の教科書をはじめとする書籍の実質的な負担を大きく軽減している。

⑥入学者選抜の概要

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a) 入学者選抜の概要            医学部では、選抜方法として一般入試、大学入試センター試験利用入試、留学生特別選抜入試を予定している。</p> <p>1) 入学者選抜方法</p> <p>① 一般入試では、第一次試験（学力試験）合格者について、第二次試験（面接・小論文）を行う。第一次試験（学力試験）の入試科目は、英語と数学（数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、数学Ⅲ）の2科目を必修とするとともに、理科（物理、化学、生物）のうち2科目を選択とし、計4科目とする。第一次試験では、入学する学生の英語能力を一定程度担保するため、英語の配点を大きくする。第一次試験合格者に対して実施する第二次試験では、学生の資質をより正しく評価するため、面接試験と小論文試験で合否を判定する。</p> <p>② 大学入試センター試験利用入試では、指定した5教科7科目の大学入試センター試験の成績結果により、第一次試験の合否を判定する。第一次試験合格者について、第二次試験（面接・小論文・英語の学力試験）を行う。</p> <p>③ 留学生の受入れは、A) 東南アジアを中心とした各国の政府機関や大学等からの推薦を経て入学する場合が主となるが、その他、B) 政府機関や大学等からの推薦はないが本学の奨学金を受けて入学する場合、C) 私費で入学する場合とがある。留学生特別選抜入試として、それぞれ以下の方法で選抜を行う。            A) : 本学と覚書を締結した東南アジア諸国等の政府機関や大学等からの推薦を経て、学力等を総合的に判断して合否を判定する。            B) 及び C) : 学力試験に加え、母国への医療貢献の意欲について時間をかけて面接を行い、将来母国のリーダーとなりうる人材を選抜する。</p>	<p>設置計画に従い、入学者選抜を実施した。            募集定員に対する入学者数の割合は1.00倍となり、設置計画通りの入学者数を確保することができた。また、入試区分別には、それぞれ特色のある選抜方法によって以下のとおりの入学者数を確保した。</p> <p>◆平成29年度 入学者数</p> <p>医学部 医学科 : 140人 (140人)            * ( ) 内は募集定員</p> <p>○ 一般入試及び大学入試センター試験利用入試 :            募集定員 120人 志願者数 3,393人            受験者数 3,273人 合格者数 263人            入学者数 120人</p> <p>○ 留学生特別選抜入試 :            募集定員 20人 志願者数 85人            受験者数 83人 合格者数 21人            入学者数 20人            * 留学生特別選抜入試による入学者の内訳            A) 政府機関等の推薦を経て入学した者 13人            B) 推薦はないが本学奨学金を受け入学した者 0人            C) 私費で入学した者 7人</p> <p>◆平成30年度 入学者数</p> <p>医学部 医学科 : 140人 (140人)            * ( ) 内は募集定員</p> <p>○ 一般入試及び大学入試センター試験利用入試 :            募集定員 120人 志願者数 3,291人            受験者数 3,189人 合格者数 314人            入学者数 117人</p> <p>○ 留学生特別選抜入試 :            募集定員 20人 志願者数 99人            受験者数 94人 合格者数 21人            入学者数 19人            * 留学生特別選抜入試による入学者の内訳            A) 政府機関等の推薦を経て入学した者 16人            B) 推薦はないが本学奨学金を受け入学した者 0人            C) 私費で入学した者 3人</p> <p>○ 帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試 :            募集定員 若干名 志願者数 63人            受験者数 63人 合格者数6人            入学者数 4人(うち、留学生1名を含む)</p>

	<p>◆平成31（令和元）年度 入学者数</p> <p>医学部 医学科：140人（140人） *（ ）内は募集定員</p> <p>○ 一般入試及び大学入試センター試験利用入試： 募集定員 120人 志願者数 4,030人 受験者数 3,909人 合格者数 354人 入学者数 119人</p> <p>○ 留学生特別選抜入試： 募集定員 20人 志願者数 98人 受験者数 87人 合格者数 20人 入学者数 20人 * 留学生特別選抜入試による入学者の内訳 A) 政府機関等の推薦を経て入学した者 16人 B) 推薦はないが本学奨学金を受け入学した者 0人 C) 私費で入学した者 4人</p> <p>○ 帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試： 募集定員 若干名 志願者数 64人 受験者数 62人 合格者数 1人 入学者数 1人</p> <p>すべての入試区分について、書類審査および1人の受験生につき約30分の面接試験を2回実施するなど、学力だけでは測ることができない人物についての評価も加味した選抜を行った。また、2018年度入学試験からは「帰国生および外国人学校卒業生特別選抜」の入試区分を設けることで、留学生以外にも多様な学修歴をもつ入学者の受け入れを行っている。</p>
	<p>◆令和2年度 入学者数</p> <p>医学部 医学科：140人（140人） *（ ）内は募集定員</p> <p>○ 一般入試及び大学入試センター試験利用入試： 募集定員 120人 志願者数 3,859人 受験者数 3,747人 合格者数 388人 入学者数 117人</p> <p>○ 留学生特別選抜入試： 募集定員 20人 志願者数 102人 受験者数 95人 合格者数 22人 入学者数 20人 * 留学生特別選抜入試による入学者の内訳 A) 政府機関等の推薦を経て入学した者 17人 B) 推薦はないが本学奨学金を受け入学した者 0人 C) 私費で入学した者 3人</p> <p>○ 帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試： 募集定員 若干名 志願者数 40人 受験者数 40人 合格者数 3人 入学者数 3人</p> <p>すべての入試区分について、書類審査および1人の受験生につき約30分の面接試験を2回実施するなど、学力だけでは測ることができない人物についての評価も加味した選抜を行った。また、2018年度入学試験からは「帰国生および外国人学校卒業生特別選抜」の入試区分を設けることで、留学生以外にも多様な学修歴をもつ入学者の受け入れを行っている。</p>

<p>(b) アドミッション・ポリシー</p> <p>本学医学部は、以下のアドミッション・ポリシーに基づき、将来医師として、国際的に活躍することを志向する優秀な学生を募るため、国内外から志願者を受け付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際医療福祉大学及び医学部の基本理念と教育理念とを十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志をもつ者であること</li> <li>2 優れた学業実績や英語能力を有し、将来、国際性を身につけ、国内外の医療需要に応じて、母国及び国際社会における保健、医療、福祉分野の発展に貢献したいという強い意志をもつ者であること</li> <li>3 自ら積極的に学ぶ意欲をもち、保健、医療、福祉分野における科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するための努力を継続できる者であること</li> <li>4 幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける者であること</li> <li>5 あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる者であること</li> </ol> <p>(c) 社会人受け入れのための具体的方策</p> <p>特に社会人を対象とした入試制度の計画はない。</p>	<p>本学および本学医学部のアドミッションポリシーを以下の資料により明示し、設置計画どおりに履行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学案内／医学部パンフレット (提出資料⑦ P45／P2)</li> <li>・入試要項 (提出資料⑩ P1)</li> </ul> <p>なお、上記パンフレット及び学生募集要項は、以下URLの本学医学部ホームページ上でも閲覧・ダウンロード可能としている。 (<a href="http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/">http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/</a>)</p> <p>また、オープンキャンパス、医学部見学会のほか、各地で開催した医学部説明会、個別入試相談会、高校及び予備校での進学説明会等の場においても、受験生およびその保護者、高校・予備校の教員等に直接説明・周知を行った。</p> <p>特に社会人受験生を対象とした入試は実施していない。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑦情報の公表

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>○学内(学生・教職員向け)</p> <p>実施方法            本学は、年報を年1回1,200部発行し、大学行事や受験者・卒業生等のデータ、就職状況等を掲載している。IUHW学会誌は年2回750部発行し、教員の研究成果や大学院の博士学位論文用紙等を掲載している。これらは教職員や附属・関連施設の職員などに配布している。            大学広報誌IUHWは年4回、約40,000部ずつ発行し、学生や教職員、卒業生、保護者等に配布している。大学行事や役員・新任教員の挨拶等、様々な記事を掲載している。</p> <p>○学外(受験生・地域社会向け)</p> <p>実施方法            大学における教育研究活動等の状況について、学校教育法第113条などに基づいて次のとおり積極的に情報を提供しており、医学部においても同様に実施する。            (1)事業報告書の公表            本学は、私立学校法第47条に基づき、5つの財務諸表について、学内での閲覧を可能にするとともに、ホームページで公開している。            (2)教育情報の公開            学校教育法施行規則に基づき、教育研究活動等に関する情報として学則・専任教員数などの基礎的な情報のほか入学者数・卒業生数、シラバス、履修要項等の修学上の情報をホームページで公表している。            (http://www.iuhw.ac.jp/about/information.html)            (3)年報・広報誌等による教育研究活動の公開            大学の年報は実習施設、入学者の多い高校等に配布し、IUHW学会誌も他大学や研究施設等に配布している。広報誌IUHWは官公庁や医師会等にも配布している。ホームページ等による情報発信のほかに、受験生や医療福祉関係者、一般市民等を対象にした研修会なども数多く開催し、生涯学習の拠点としての役割を担うとともに、本学の理念である「社会に開かれた大学」の実現に努めている。</p>	<p>学内の情報提供は大学ホームページ (http://www.iuhw.ac.jp/index.html) のほか広報誌IUHWなどの紙媒体で行っている。このほか教職員に対し、一斉メール等を活用して学内の行事や附属病院の医師人事など様々な情報を随時、周知している。            学生に向けては学生便覧、学内情報システム「UNIVERSAL PASSPORT」でカリキュラムやシラバス、成績等の情報を迅速に提供するとともに、学内の掲示版も併用している。医学部でも同様の方法で迅速・的確な学生への周知に努めている。</p> <p>医学部についても学校教育法等に基づき、情報を提供している。</p> <p>大学のホームページでは財務諸表や教育情報を順次、更新して公開しているほか、医学部専用のホームページを開設している。</p> <p>受験生や地域社会など外部への情報提供を質・量共に一層充実させることにしている。            医学部入試説明会は今年度も各地で開催し、国際性を重視したカリキュラムや養成する人材像等をていねいに説明する方針である。            また、医学部棟の見学ツアーを実施し受験生だけでなく地域住民にも情報を提供して好評を博している。            さらに、成田キャンパスとしては、医学部を含む学部・学科による公開講座を今年度も相次いで開催するほか、住民や自治体関係者等の見学を積極的に受け入れている。</p>

⑧管理運営の考え方

認可時の計画	履行状況
<p>(a) 組織体制</p> <p>学校教育法第93条等に基づいて、教学面の管理運営を行うために管理運営委員会、教授会（代表者会議）、各種委員会を置いている。医学部においても同様に実施する。</p> <p>(b) 審議事項</p> <p>1. 管理運営委員会            本学では大学全体の教学面の管理運営の審議機関として「管理運営委員会」を置いている。学長が議長となり、副学長、大学院長、学部長、附属病院長等で構成される。各キャンパスをテレビ会議で結ぶ遠隔システムにより原則として毎月1回開催し、学則等重要な規則の制定・改廃、重要な組織の設置・廃止に関する事項、学生の定員に関する事項等を審議している。</p> <p>2. 教授会（代表者会議）            学部の教学に関する重要事項は教授会で審議される。本学では教授会規程に基づき、学部ごとまたは複数学部にまたがって学長が指名した教員による「代表者会議」を置き、代表者会議の議決をもって教授会の議決としている。代表者会議の審議事項は学生の身分に関する事項、卒業・進級の課程の終了に関する事項等である。なお、平成26年6月の学校教育法改正により、本学においても学長がリーダーシップを発揮できる体制を構築した。</p> <p>3. 各種委員会            教授会の下部組織として教務委員会、FD委員会、学生委員会等の各種委員会を置いている。医学部においても同様に設置する。</p>	<p>管理運営委員会（学則第7条）は、毎月1回、全学で開催している。</p> <p>教授会（代表者会議）は成田看護学部・成田保健医療学部で組織しているのとは別に、医学部として独自に設置した。（学則第9条、国際医療福祉大学教授会規程）</p> <p>各種委員会のうち、学生委員会・FD委員会・図書委員会・衛生委員会・地域交流委員会・国際交流委員会等は医学部を含む成田キャンパス一体で運営している。</p> <p>このほか、学則第8条による「学部長・学科長会議」は成田キャンパス一体で設置し、毎月1回開催している。</p> <p>（資料）            ・学則（提出資料③ P4）            ・教授会規程（提出資料④）</p> <p>認可時に計画した管理運営組織に加え、医学部で日々発生する懸案や重要事項について迅速に対処するため、学長・学事顧問・大学院長・副学長・医学部長・副医学部長・医学教育統括センター長・基礎医学研究センター長及び事務局の幹部による会議を毎週金曜に開催し、医学部運営のガバナンスに万全を期すとともに問題の速やかな解決を図っている。</p> <p>1. 管理運営委員会            管理運営委員会には医学部からは医学部長・副医学部長が出席し、全学で共有すべき医学部の動きを周知するとともに他キャンパスや附属病院と連携する場にもなっている。</p> <p>2. 教授会（代表者会議）            医学部の教授会（代表者会議）も他学部と同様に、学生の入学、卒業及び課程の修了等、教学面の重要事項について学長が決定を行うに当たり意見を述べる機能を果たしている。成田キャンパスと附属病院等を結ぶ遠隔システムにより開催し、病院勤務の教授との情報共有・意見交換の機会としても活用している。</p> <p>（資料）            ・教授会規程（提出資料④）</p> <p>3. 各種委員会            成田キャンパス一体で組織する各種の委員会では医学部からそれぞれ専門性を生かせる教授クラスの教員が委員となり、他学科と緊密に連携しながら審議に加わっている。</p> <p>4. 学部長・学科長会議            成田キャンパス全体の教学に関する事項等について、3学部6学科合同の学部長・学科長会議で協議している。</p>

⑨その他(当該年度の状況が以下の事項に該当する場合は、それぞれの事項ごとの観点に照らして対応状況を説明してください。)

事 項	対 応 状 況
<p>(a) 当該年度の受入学生数が入学定員を著しく下回っている(0.5倍未満)もの</p> <p><b>【観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入学生数が入学定員を著しく下回っている点を踏まえ、今後の学生募集方法等の改善方策について説明すること(今年度の入試が実施済の場合は、その状況も付記すること)。</li> </ul>	該当なし
<p>(b) 未開講科目数が著しく多い(5科目以上)もの</p> <p><b>【観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未開講科目数が著しく多い点を踏まえ、当初の設置構想に照らして、教育課程が適切に運営されているかについて説明すること。又、履修指導への配慮等を含む改善のための具体的な方策についても説明すること。</li> </ul>	該当なし
<p>(c) 当該専攻の入学定員超過率が1.3倍以上のもの</p> <p><b>【観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学定員を著しく超過している点を踏まえ、授業の方法(少人数教育等への配慮)、学生の学習環境(自習室の確保等)について、十分な教育効果をあげることができるよう適切に配慮されているかについて説明すること。</li> </ul>	該当なし



## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

学則に基づき大学としてFD委員会を置き、成田キャンパスには「成田キャンパスFD委員会」を設置している。  
（資料2「国際医療福祉大学FD委員会規程」）

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度は医学部、成田看護学部、成田保健医療学部合同で12人の委員によるFD委員会を11回開催した。令和2年度も医学部、成田看護学部、成田保険医療学部合同で12人の委員によるFD委員会を開催している。医学教育統括センター長が委員長を務めているほか、医学部独自にも令和2年度からは医学部FD委員会が発足しFD活動を展開している。委員会は原則毎月1回開催している。

#### c 委員会の審議事項等

成田キャンパスFD委員会は、研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施などを審議する。

### ② 実施状況

#### 1. 成田キャンパス全体としての取り組み

平成31年2月に成田キャンパス合同FD研修会を開催し、「学習意欲を高めるための教育方法」というテーマで、4人の講師のうち、医学部の教員1名が講師を務めた。約100人の教員が参加し、学生の学習意欲を高めるための授業方法等について研鑽を積んだ。令和2年度はオンライン授業に役立つ情報提供を行う為に、「オンライン授業におけるベーシックスキル」、「オンラインによるアクティブラーニング」、「オンラインのセキュリティ」、「オンライン臨床実習」、「オンラインによる試験・評価」という5つのテーマのもとVODを作成し、成田キャンパス教員FD研修とした。令和2年度には9月に第1回キャンパス合同教員研修会が「発達障害学生に対する組織的な修学・就職支援の取り組み—実践例をもとにした具体的対策について—」というテーマで外部講師をお招きして開催される。SDとしては、職員の採用時や半年後に新入職員の研修を行っているほか、役職への昇格時に事務管理やコンプライアンスなどをテーマに研修を実施している。

#### 2. 医学部独自の取り組み

##### a 実施内容

開学以来、毎週水曜日にミニFDに加え、医学部として年2回のFDを開催してきたが、令和2年度には新型コロナウイルス感染防止の為、対面のFDの代わりに、毎月FD VODを医学部FD委員会が作成し医学部教員に発信する事とした。医学部のビジョンについての医学部長へのインタビュー、令和2年度から開始される臨床実習について医学教育統括センター長へのインタビュー、令和元年度に全学の「グッドティーチング賞」を受賞した英語教育チームへのインタビュー、学生が考える効果的な授業、より良い試験問題の作り方等のテーマで毎月VOD配信が始まっている。

##### b 実施方法

これまで対面での毎週のミニFDでは教育経験豊かな医学教育統括センター所属の日本人教員や外国文教員がそれぞれ講師役を務め、様々な医学教育テーマについて教員教育を行うと同時に、世界各国の医学教育紹介、医学教育学会参加報告などをおこなった。医学部を超えた成田キャンパス、そして大学主催FDでは、パネルディスカッション方式で学生のモチベーションを高める為の方策等の教員研修が行われた。VODによるFDでは、上記の様なトピックスで、毎回のビデオは視聴しやすい30分程度とし、視聴後にアンケートに回答してもらう方式とした。加え令和2年度には、医学部FD委員会が、医学教育の主要論文を数本紹介し、教員は読んだ後に感想文を提出する方式のFDも行なっている。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度まで行っていた各30分ずつのミニFDでは毎回15人程度の教員が参加していた。専門教育科目の授業のためのFDは、平成31年2月7日に1回目、平成31年2月28日に2回目を実施し、合わせておよそ80名の医学部教員が参加した。また、成田キャンパス合同FDは平成31年2月27日に実施し全体で92名の教員が参加しており、全キャンパス合同FDは平成30年9月12日に第1回、平成31年3月19日に第2回を実施し、それぞれ87名、113名の教員が成田キャンパスから参加した。  
なお、令和2年度の大学全体の研修会、VOD及び論文読書による成田キャンパスFD及び医学部FD参加状況は現在進行中で参加者人数がまだ確定されていない。

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎週のミニFDでは講師役と受講者双方のスキル向上、医学部全般の教育の質向上、そして国際的な教員コミュニティーの相互理解、協力、親睦を深める事を目指していた。医学部FDでは関連病院で臨床ベースの教員が、キャンパスで行われている基礎医学教育や主に2年次での器官別統合講義と3年次から新たにはじまる臨床の授業との連携を更に確認する事となり、医学部の様々な授業の連携に効果を上げた。医学部を超えたキャンパスそして大学主催のFDは、広い視点から学生の教育を支援する為のノウハウを、他学部、他学科の教員と共に研鑽する事ができた。令和2年度成田キャンパスFDでは、新型コロナウイルス感染防止の為に急遽取り入れる事となったオンライン授業を効果的なものとする事を目指してVODによるFDを実施した。一方令和2年度医学部FD VODでは、インタビュー形式を取り入れ、より突っ込んだ質問等を通して、医学部や医学教育のミッションやビジョンを多角的に教員間で共有することを目指している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

開学時より実施している。授業向上を目指すアンケートは基本的に毎授業ごとに、カリキュラム向上を目指すアンケートは学期終了時及び学年終了時に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

無記名の授業アンケート結果は、授業担当教員等が授業終了直後から閲覧可能となっており、自らの授業振り返りに役立てると同時に、医学教育統括センターでモニターし、問題の早期発見、効果的な授業のノウハウの共有などを通して授業向上に役立てている。令和元年度からは医学部も全学科目アンケートに参加し、その結果は各キャンパスから選ばれるグッドティーチング賞の対象となった。初年度医学部でグッドティーチング賞を受賞した1年次の「英語II」科目責任者、担当者による医学部FDでは、受賞に至った理由や科目で工夫された点などを共有する事により、全ての授業の質向上を目指している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 学部・学科等の特色について

○本学医学部の特色

基礎・臨床統合カリキュラムについては、更なる充実のため、科目担当者である診療科主任教授を中心とする会議を開催した上で、申請時を上回る教員体制を整備するため、追加教員を順次、申請している。医学教育シミュレーションセンターについては、計画どおり、先行して竣工したI期棟(WB棟)に加えII期棟(WA棟)の4階部分を竣工させ、授業を実施中である。英語による医学教育についても、計画どおり平成29年度1年次の1学期から一部の日本語で行う授業科目を除き、「英語」および「日本語または英語」で実施していることに加え、2学期以降の専門基礎教育科目は全て英語で実施した。海外の臨床実習の準備状況については、留意事項に関する別項で説明した。医学教育統括センターを学長直属の組織として設置し、学生オリエンテーション、e-learningシステムの運営、学生支援室の設置、学生相談教員との連携による学生サポートの開始、コース・ディレクターとの連携による授業アンケートに基づく教員サポートの開始、アクティブ・ラーニングに関するFD等を実施した。さらには、医学教育に関する研究について国内外の学会で発信し、科学研究費補助金に採択される等、様々な業務を開始している。

○大学院医学研究科公衆衛生学専攻の設置

医学専攻博士課程とともに医学研究科を構成する公衆衛生学専攻修士課程として設置申請が認可され、平成30年4月に開学した。令和2年3月に留学生2名を含む一期生12名が修了した。

○ゲノム医学研究所・高度生殖医療リサーチセンター・感染症国際研究センターなど

医学部II期棟(WA棟)の竣工により、基礎医学研究実験センター・ゲノム医学研究所、高度生殖医療リサーチセンター、感染症国際研究センター、リサーチパーク等が本格稼働を開始している。本年度は成田病院の稼働により、臨床医学分野に所属する教員の医学研究への更なる参加が期待され、より一層の充実が見込まれる。医学研究に興味を持つ学生に対して、時間割の見直しを図り、放課後や休暇期間など課外の時間において、各自の希望に基づいて研究活動への参加がしやすい体制を整えた。

2. 教育課程の編成について

○教育課程の編成

1コマ60分授業で設置の趣旨どおり授業を開始している。授業科目については、日本語で実施する旨申請した、総合教育科目の人間系・社会系・全地球的な課題の授業科目のうち2科目について英語を多用する授業に変更し、さらに英語を多用する自由科目を2科目追加した。英語を多用する人間系・社会系・全地球的な課題の授業は、留学生だけでなく日本人学生も受講している。また、平成29年度に総合教育科目「社会系」に、英語で実施する「現代日本考-政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ」、および平成30年度に「経済成長をめぐる世界の諸問題」を追加した。これらを踏まえ、設置の趣旨を上回る教育課程の編成が実現していると考えている。

また、留学生への配慮として、日本語で実施している授業科目については、予習課題や授業資料、授業中の説明を英語で追加したり、一部英語による補習を行ったりしている。英語教育については、入学直後のオリエンテーションでTOEFL-ITPを実施し、その結果で「英語I(入門)・II(応用)」を能力別に4クラスに分け、授業を実施している。

「海外医療体験」(自由科目)は、我が国の医療事情と比較検討して、我が国を含めて将来の望ましい姿を議論し理解することを目的としている実習科目で、初年度13人が海外で実習を行った。入学まで外国を訪問したり、交流したりする機会の少なかった学生にとっては、早い段階で海外に目を向ける格好の機会となっており、本学の開設の趣旨でもある国際的な医療人材の育成においても有用な科目であると考えている。しかし、2018年度入学生から他学部と歩調を揃えるため、2年次での履修としたところ、履修者は各年数名ずつと大幅に減少した。その理由は、この科目以外にも授業外で魅力的な海外研修プログラムがあり、毎年多数の学生が参加していること、東日本医科大学体育大会への参加者が増えたこと、2年次は英語による専門科目が佳境を迎えており、1年次よりも学業が多忙であることなど、複合的な要因が考えられる。6年次の海外臨床実習が必修であるため、この自由科目への参加者が減少すること自体は大勢に影響はないと考えられる。今後、医学部学生にとって、さらに魅力的なプログラムを目指すこととしていたが、令和2年度「海外医療体験」は新型コロナウイルス感染拡大の影響で非開講となる予定である。

#### ○医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応関係

医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応関係については、平成28年度改訂版が公表されたため、本学カリキュラムとの対応関係を確認し、適用される学年平成30年度以降の学生の教育に反映させることとした。カリキュラムマップについては、各授業科目と、建学の精神、アドミッション・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーとの関連、さらには英語を多用する授業の実施や授業科目相互の関連を、より明確にする「履修系統図」を作成し、学生に示したほか、授業科目のシラバスには、ディプロマ・ポリシーに加えて、卒業時コンピテンシーとの関連を明示した。平成29年度入学者が共用試験CBT、OSCEを受験し、臨床実習前のカリキュラムについて、全国の医学部との比較が可能となった。本学のカリキュラムは医学の専門科目を英語で学ぶため、ある程度のハンディはあるものの、最終的にはそんな色のない結果であったが、幾つかの科目で配当年次変更を行った。

#### ○学力不振者への対応

学力不振者を早期に発見し対応するため、医学教育統括センターにおいて、出席状況、授業内で実施しているレポート、試験結果等について週単位で情報を収集し、科目担当者および学生相談教員との連携をとりながら学力不振者への対応をしている。相談教員は、クラブ活動、アルバイト等も含めて生活一般に関するヒアリングを学生から行い必要なサポートや指導を行なった。科目を超えての学力不振者、遅刻や学習態度に問題が続く学生に対しては学生、年間を通して保護者と教員で3者面接を実施した。いずれの面談においても学生の自己評価をまず共有することで教育効果があったと考える。共用試験CBTの再試験受験者に対するサポートを行った。令和2年度は3年生科目の実施時期と連携性を大幅に見直し、成績不振者の早期に発見し自覚を促す対応をとっている。

#### ○留学生への対応

日本語を未修得の留学生への対応として、来日後医学部入学までの平均5か月余りの期間、奨学金留学生は留学生別科の日本語授業を受講した。これに加え、希望者に対しては、生物学などの自然科学系の事前学習を履行した。1年次1学期の講義に関して、日本語能力が十分なレベルに達していない留学生が一部いることに配慮し、日本語で行われる科目について、平行して英語による同内容授業の開講、講義内容の概要・要点について英語版と日本語版の資料作成、講義中や補習として英語で随時補足説明を行う事、更に試験は日本語と英語で出題し、解答は英語でも可とする配慮をしている。また、物理学のように国によって高校で履修する範囲や内容に大きな差のある科目については、講義開始前に学力試験を実施し、レベルの把握をした上で講義を行っている。大半の留学生については継続的な日本語教育により、日本語能力が十分なレベルに達しつつある。

#### ○医学教育統括センター

令和2年度からは医学教育統括センター長の下に、臨床実習担当副センター長、海外実習担当副センター長、臨床実習前教育担当副センター長の3名副センター長体制となり、センター業務の運営体制を強化した。令和2年度、医学教育統括センターの事務職員は専従で7人を配置し、教員・職員が一体となって授業や会議等の運営に当たっている。システム担当として、成田キャンパスに常駐する情報教育専門の教授およびシステム担当職員3人が医学部と連携をしe-learningの運用などを管理している。医学教育統括センター会議体制は、医学教育統括センター専任教員が参加する毎週の医学教育統括センター運営会議にて教育現場の情報共有、問題把握に基づき、包括的かつ一貫性のある具体的な対策を迅速に検討し、医学教育統括センターとしての意思決定を行ないつつ、現場の医学教育を主導している。又この会議では、中期的及び長期的展望に立ち、これからの本学の医学教育のあり方の審議を継続的に行っている。他に医学教育統括センターはカリキュラム委員会、成績管理・卒業判定委員会、臨床実習運営連絡協議会を定期的に開催し、それぞれカリキュラム、成績、そして臨床実習にまつわる様々な案件を審議、決定している。更に医学教育統括センター(Office of Medical Education, 通称OME)では授業外の学生の学びを積極的にサポートし、令和元年よりOME Luncheon Seminar を昼休みに開催し、学生の学外の活躍などを広く学生、教職員とシェアする機会を設けている。加えて、学生有志主導で平成31年度から準備を進めていたものの新型コロナウイルスにより延期となったIUHW Narita TEDxを令和2年9月に無観客で主催として開催予定である。

#### 3. 施設、設備等の整備計画

Ⅱ期棟を平成29年12月15日に引き渡しを受けた。Ⅱ期棟に配置すべき学習設備・機器を順次整備し4月より2期生(新1年生)と1期生(新2年生)の授業を開始した。Ⅱ期棟にはTBL10室とSGD室22室があり、Ⅰ期棟とあわせて計画を達成した。図書の整備は学年進行に従って整備している。今期は昨年に続いて教員より推薦を受けた図書のうち医学部図書室に配架すべきものとされたもの約1,800冊を追加した。現時点では昨年分の図書とあわせて既存の図書館内に書架をわけて配架している。学術雑誌は当初の計画を大きく上回って昨年整備、購読したものを本年度も継続購読として学生の勉学の助けとしている。ただし、視聴覚資料については個別のコンテンツとして導入せず、e-learningシステムの充実を図った。教科書は、昨年整備した「AccessMedicine」、「ClinicalKey」を引き続き活用している。また追加した図書約1,800冊のうち、700冊は電子ブックであり、昨年度に引き続き、教科書・参考書の電子化、ICTを活用した学習・教育環境の充実をはかっている。学生は、学内全域はもとより、VPN接続により自宅からのアクセスも可能である。また、より実践的な学習環境とすることから、専門図書のみならず専門学術雑誌の充実をはかっている。Wi-Fi設備もⅡ期棟各室に配備し、Ⅰ期棟と合わせ館内どこでもアクセスできるようにした。e-learningシステムに関しては、配信サーバーを増設し、e-learningシステムの本体であるmoodleのプラグインを新たに開発して機能拡充を行い、アクティブ・ラーニング活用の支援強化をはかった。

#### 4. 入学者選抜について

令和2年度は、募集人数105人の一般入試に、2,887人が志願し2,798人が受験した。一次選考で選抜した600人に対してアドミッション・ポリシーに合致した入学者を選抜するために、書類選考および一人あたり30分の面接試験を2回実施した。これらの学力だけでは測ることができない人物も加味した二次選考により、249人の正規合格者と282人の補欠候補者を選抜した。一方、募集人数15人のセンター試験利用入試には、972人が志願し949人が受験した。一次選考で選抜した230人に対して、一般入試と同様の二次選考により、30人の正規合格者と47人の補欠候補者を選抜した。また、平成30年度に新設した帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試に40人が志願し、40人が受験した。一次選考で選抜した3人に対して、筆記試験および小論文試験、面接試験等からなる二次選考により、3人の正規合格者を選抜した。さらに、募集人数20人の留学生特別選抜入試には、102人が志願し95人が受験した。一次選考で選抜した25人に対して、筆記試験および小論文試験、面接試験等からなる二次選考により、20人の正規合格者と2人の補欠候補者を選抜した。以上、一般入試とセンター試験利用入試および帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試から120人、留学生特別選抜入試から20人の入学者を選抜した。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は平成30年5月に公表済みである。

##### b 公表方法

大学ホームページに掲載のほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配布し本学への外部からの意見の収集に努める。

#### ③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和2年8月31日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）の有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）の有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

国際医療福祉大学医学教育統括センター規程

(目的)

第1条 医学教育統括センターは、学長直属の組織として医学部に設置し、医学教育について企画・指導及び必要な調整を行うと同時に、学生の情報収集・分析、そして医学教育の研究・情報発信を行い、医学教育の統括と向上を図ることを目的とする。

(医学教育統括センター長)

第2条 医学教育統括センターに、医学教育統括センター長を置く。

2 医学教育統括センター長は、医学教育統括センターを代表し業務を統括する。業務にあたっては医学部長、副医学部長及び学務部長と協議し、業務を遂行するものとする。

3 医学教育統括センター長は、専任の教授のうちから学長の推薦に基づき理事長が任命する。

4 医学教育統括センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(組織・運営)

第3条 センターの行う業務は、別表第1のとおりとする。

第4条 センターに、学長の指名する教員を置く。

2 前項の教員の数は、理事長が別に定める。

第5条 センター長は、前条の教員のうちからコース・ディレクター及び実習調整ディレクターを指名する。

第6条 コース・ディレクターは、別表第1の教育・カリキュラム部門の第1欄、第2欄及び第6欄の業務を主として担当する。

2 コース・ディレクターの数は、別表第1の教育・カリキュラム部門の第2欄に掲げるコースの数とする。

第7条 実習調整ディレクターは、別表第1の教育・カリキュラム部門の第3欄の業務を主として担当する。

2 実習調整ディレクターの数は10人以上とし、そのうち附属病院・関連教育病院担当を6人以上、海外実習病院担当を4人以上とする。

第8条 センター長は、第3条の教員のうちから別表第1のシミュレーション教育部門の業務を担当する者を3人指名する。

第9条 センターにカリキュラム委員会、臨床実習運営連絡協議会及び成績管理・卒業判定委員会を置く。

2 前項の委員会の役割、委員及び開催頻度は、別表第2のとおりとする。

第10条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、別に定める。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別表第1 センターの行う業務(第3条関係)

教育・カリキュラム部門																	
1	<p>カリキュラムの策定・評価・改定に関すること。</p> <p>各学生の各授業における日々の成績や授業評価、医師国家試験の結果、その他に関する情報を収集し、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに照らして問題の発見、評価、改定の立案を行い、カリキュラム委員会で報告・審議し、PDCA サイクルを推進する。</p>																
2	<p>コースの運営に関すること。</p> <p>各授業が連携を取り合い効率的・効果的に進めるため、類似の授業をまとめて、次に掲げるコースとし、各コースの企画・実施管理・成績集計とその一次判定を行う。</p> <p><b>【コース】</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">① リベラルアーツ（文系）コース</td> <td style="width: 50%;">⑨ 基礎医学（機能系）コース</td> </tr> <tr> <td>② リベラルアーツ（理系）コース</td> <td>⑩ 産婦人科コース</td> </tr> <tr> <td>③ 外国語系コース</td> <td>⑪ 基礎臨床総合コース</td> </tr> <tr> <td>④ 日本語系コース</td> <td>⑫ 専門臨床コース</td> </tr> <tr> <td>⑤ 医療プロフェッショナルリズムコース</td> <td>⑬ 多職種連携教育（IPE）コース</td> </tr> <tr> <td>⑥ 国際医療保健コース</td> <td>⑭ 社会医学コース</td> </tr> <tr> <td>⑦ 医療面接・身体診察コース</td> <td>⑮ 応用臨床コース</td> </tr> <tr> <td>⑧ 基礎医学（構造系）コース</td> <td></td> </tr> </table>	① リベラルアーツ（文系）コース	⑨ 基礎医学（機能系）コース	② リベラルアーツ（理系）コース	⑩ 産婦人科コース	③ 外国語系コース	⑪ 基礎臨床総合コース	④ 日本語系コース	⑫ 専門臨床コース	⑤ 医療プロフェッショナルリズムコース	⑬ 多職種連携教育（IPE）コース	⑥ 国際医療保健コース	⑭ 社会医学コース	⑦ 医療面接・身体診察コース	⑮ 応用臨床コース	⑧ 基礎医学（構造系）コース	
① リベラルアーツ（文系）コース	⑨ 基礎医学（機能系）コース																
② リベラルアーツ（理系）コース	⑩ 産婦人科コース																
③ 外国語系コース	⑪ 基礎臨床総合コース																
④ 日本語系コース	⑫ 専門臨床コース																
⑤ 医療プロフェッショナルリズムコース	⑬ 多職種連携教育（IPE）コース																
⑥ 国際医療保健コース	⑭ 社会医学コース																
⑦ 医療面接・身体診察コース	⑮ 応用臨床コース																
⑧ 基礎医学（構造系）コース																	
3	<p>臨床実習の運営に関すること。</p> <p>学生に対し臨床実習のオリエンテーションを行う。</p> <p>実習日程や配属先など全般的な事項を企画、臨床実習運営連絡協議会で報告・審議し、実習ディレクター（各附属病院・関連教育病院・海外実習病院の各診療科に所属する臨床実習の責任者をいう。別表第2において同じ。）とともに、屋根瓦方式の教育体制を含む実習計画の立案、準備、実施中の連絡、情報収集、事後の評価、再立案を行い、PDCA サイクルを推進する。</p>																
4	<p>教材の企画・開発及び ICT 活用教育に関すること。</p> <p>共通教材及び教材を配布・閲覧する ICT システム等について、直接企画・開発する。その他、個別の授業教材について、各授業の担当教員や学生による企画・開発を支援する。</p>																
5	<p>臨床実習前の CBT、OSCE、卒業時 OSCE に関すること。</p> <p>医学教育モデル・コア・カリキュラムをもとに、臨床実習前に修得しておくことが必要とされる知識・技能・態度を評価する CBT (computer-based testing)</p>																

	及び OSCE (objective structured clinical examination)、さらには卒業時 OSCE について、シミュレーション教育部門とともに、立案、準備、実施、事後の評価、再立案を行い、試験の質に関する PDCA サイクルを推進する。
6	成績管理及び卒業判定に関すること。 各学生の各授業における日々の出欠状況及び成績に関する情報を収集し、成績管理・卒業判定委員会で報告・審議し、その結果を代表者会議で報告する。
7	学生相談に関すること。 学生に対し、主に心療内科、精神科等の医師、臨床心理士との連携の下、生活・健康・修学に関する相談窓口を設けるほか、学生の生活・健康・修学に関するパンフレットやウェブサイトを作成し、学生への周知を行う。さらに、各学生の各授業における出欠状況及び成績の情報、生活・健康・修学に関する情報収集を行い、問題の早期発見・早期介入を行う。
8	FD・SD の企画・運営に関すること。 教職員のニーズや授業評価等、学生の授業に対するニーズに関する情報収集を行い、教職員研修の立案、教材作成、準備、実施、事後の評価、再立案を行い、PDCA サイクルを推進する。
9	入学者選抜の管理に関すること。 学外の情報収集、アドミッション・ポリシーに則った入学者選抜に関する企画立案を行い、入学試験システム委員会に提案する。また、学生の入学後の修学・成績状況、卒業後の進路等の情報を収集し、選抜制度の見直しを行う。
10	多職種連携教育に関すること。 学内の他学部・学科の教職員との連携の下、他学部・学科の授業に関する情報や関連学術会議等の情報を収集し、本学の多職種連携教育に関する授業等の立案、準備、実施、事後の評価、再立案を行い、PDCA サイクルを推進する。
11	学外の医学教育の情報収集に関すること。 各業務及び大学の方針への反映に資するため、国内外の他の医科大学、他の医療専門職の教育機関等による発信情報、及び学術会議、全国医学部長病院長会議、医師会等の非政府機関による医学教育に関する方針、さらには文部科学省、厚生労働省、内閣府等の政府・行政機関、WHO、WFME 等の国際機関による医学教育に関する政策等の情報を収集し管理する。
12	医学教育の IR に関すること。 将来的に各ポリシーをはじめとする医学教育全般及び大学全体の運営方針の改善に資するため、各学生の入学から在学中、卒業後の進路等に関する情報を収集、分析し管理する。
13	医学教育の研究に関すること。 本学の医学教育に関する種々の試みを実証し、国内外の医学教育の質向上に資するため、センターの全教員及び一部の職員は、担当する業務に応じた研究課

	<p>題を設定し、研究の進捗状況を共有する。一方、次に掲げる国内外の医学教育に関する学術団体に所属し情報収集に努め、これらの学術集会、学術雑誌等に研究成果を発信する。</p> <p>日本医学教育学会、日本シミュレーション医療教育学会、日本医学英語教育学会、日本保険医療福祉連携教育学会、医療系全国eラーニング交流会、AMEE（欧州医学教育学会）、AAMC（米国医科大学協会）、APMEC（アジア太平洋医学教育学会）等</p>
14	<p>医学教育の情報発信に関すること。</p> <p>医学教育の質向上及び説明責任を果たすため、学内の学生、教職員、及び国内外の社会を対象として、ウェブサイト、SNS、その他の手段により、センターの業務に関する情報を発信する。</p>
15	<p>その他、医学教育・カリキュラムに関すること。</p>
シミュレーション教育部門	
1	<p>シミュレーション教育に係るカリキュラムの策定・評価・改定に関すること。</p> <p>シミュレータや模擬患者等を活用する総合教育、専門教育の授業等の策定・評価及び改定を行う。</p>
2	<p>シミュレータの選定・管理に関すること。</p> <p>国内外の医療系教育機関及び学術集会等でシミュレーション教育やシミュレータの情報を収集し、シミュレータの選定及び故障時や消耗品等の管理を行う。</p>
3	<p>模擬患者（SP）の養成に関すること。</p> <p>学外の地域住民等と連携し、模擬患者の養成、登録、研修、及び模擬患者参加型授業やOSCE等の試験を担当する教職員へのFD・SDを実施した上で、各授業への派遣を行う。</p>
4	<p>その他、シミュレーション教育に関すること。</p>

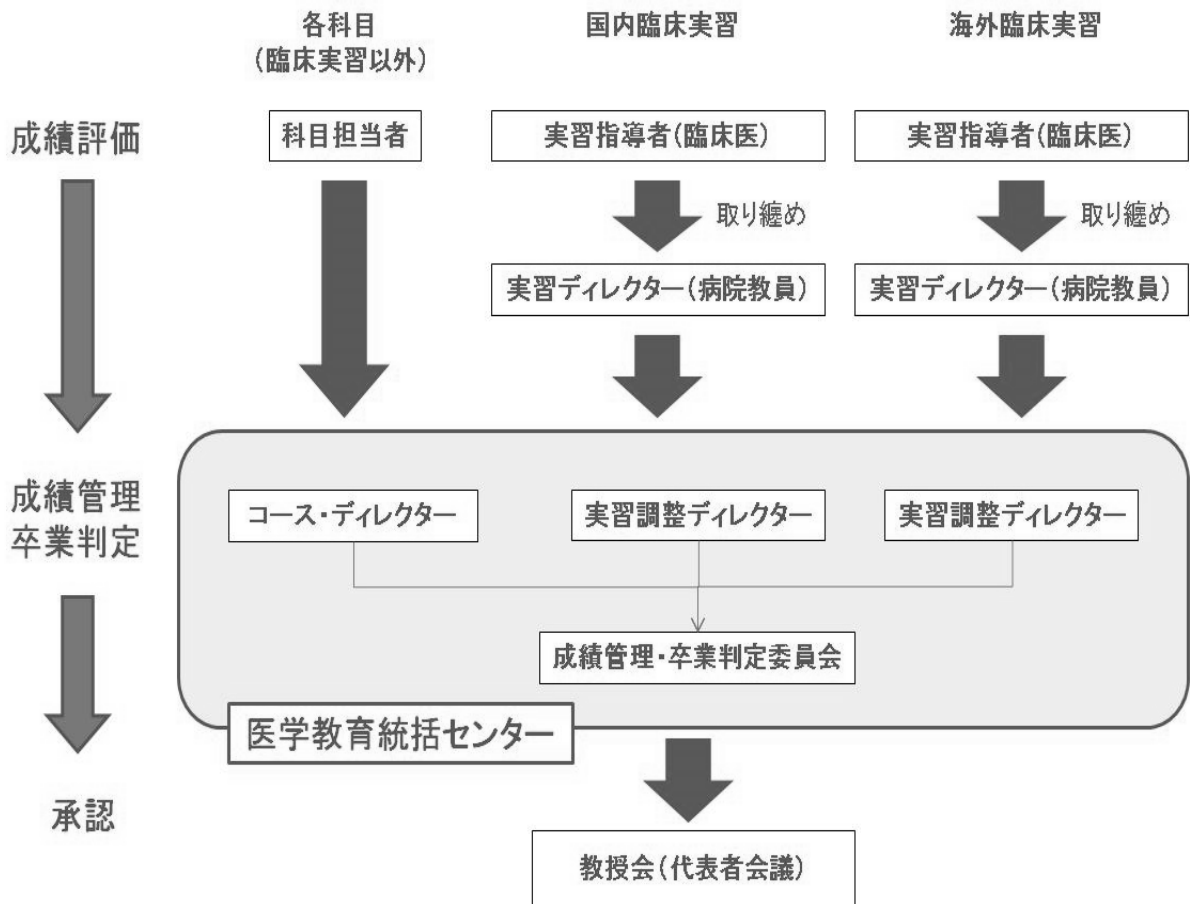


別表第2 委員会の役割、委員及び開催頻度(第9条関係)

カリキュラム委員会	
役割	カリキュラムの策定・実施・評価・改定に関する重要事項を審議
委員	センター長（委員長） コース・ディレクター 実習調整ディレクター シミュレーション教育部門の担当教員 その他センター長が指名する教職員
開催頻度	年3回以上
臨床実習運営連絡協議会	
役割	臨床実習の運営に関する重要事項の審議、連絡調整等
委員	センター長（委員長） 実習調整ディレクター 実習ディレクター 附属病院長 その他センター長が指名する教職員
開催頻度	年3回以上
成績管理・卒業判定委員会	
役割	成績管理・卒業判定に関する重要事項を審議 同委員会で、別紙のフローに従い、各学生の成績や卒業の判定について協議を行い、教授会の承認を得る。
委員	センター長（委員長） コース・ディレクター 実習調整ディレクター その他センター長が指名する教職員
開催頻度	年3回以上

成績管理・卒業判定のフロー(別表第2 関係)

医学教育統括センター 成績管理のフロー



## 国際医療福祉大学 FD 委員会規程

### (設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディベロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

### (委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員
- 二 学長が指名した者
- 三 理事長が推薦した者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

### (委員会の成立)

第5条 委員会は、過半数の委員の出席により成立する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

### (委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### (小委員会の設置)

第7条 各キャンパスにFD小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会の運営については別に定める。

### (事務処理)

第8条 委員会の事務は、大田原事務部教務事務主管課が取り扱い、小委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課が取り扱う。

### (雑則)

第9条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

### (改廃)

第10条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。